2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	体の症状とヘルスケア Body Symptoms and Health Care	必修選択	必修	年次	1	担当教員	鬼塚　龍
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	木曜　1時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ヘルスケアアドバイザーは、生活者に運動や栄養・生活などの正しい情報を提供することによって、生活者自らの健康を維持・増進するための手助けを行うことが主な業務となる。体の症状は人によってさまざまであり、ヘルスケアアドバイザーは、相談者の話をよく聞き出し、聞き出した情報をよく確認した上で、適切なOTCで症状を緩和させたり、食事や日常生活上のさまざまな注意点をアドバイスし、病気の予防や症状の改善を図り、医師への受診勧告を含めたヘルスケアのアドバイスを行うことが大切である。
体の症状とヘルスケアでは、それぞれの症状の概要、セルフケアの領域、セルフケアについて説明できるようになることを目標とする。

＊実務者経験：薬剤師として、平成19年4月～平成24年5月急性期医療病院、平成24年6月～調剤薬局に勤務

【到達目標】

・ヘルスケアアドバイザー検定・体の症状とヘルスケアの合格点への到達
・体の症状の概要、セルフケアの領域、セルフケアについて説明できるようになる

授業計画・内容	
1回目	頭髪・頭皮の症状について説明できる
2回目	頭・耳の症状について説明できる
3回目	眼・鼻の症状について説明できる
4回目	口・歯の症状について説明できる
5回目	歯肉・のどの症状について説明できる
6回目	首・肩・胸部の症状について説明できる
7回目	背中・腰・腰部の症状について説明できる
8回目	手・足・骨・筋肉の症状について説明できる
9回目	皮膚・爪の症状について説明できる
10回目	脈・肛門・便・尿の症状について説明できる
11回目	女性・子供の症状について説明できる
12回目	全身の症状について説明できる
13回目	試験対策
14回目	定期試験
15回目	試験解説
準備学習時間外学習	この授業を受けるには、ヘルスケアアドバイザー検定に出題される、体の症状の概要、セルフケアの領域、セルフケアについてどのようなことがあるか予習が必要です
評価方法	定期試験にて知識の到達評価を行う
受講生へのメッセージ	授業では前半に講義を行い、後半に確認の小テストと解説を行います

【使用教科書・教材・参考書】

・　ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト　ヘルスケアに関する実践知識編　第4巻　（日本チェーンドラックストア協会）

2023年度　授業概要

学　科：　薬業科

科目名	薬とヘルスケア	必修選択	必修	年次	1	担当教員	姪原　裕子
						実務経験	○
（英）	Medicine and Health Care	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	共通			（単位）	2	曜日・時限	木曜日3限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ヘルスケアアドバイザーは、健康の維持・増進に対して、生活者自らの判断・決定、行為などに役立つ、正しい情報を提供しなければならない。一般用医薬品は厚生労働省の一般用医薬品承認審査合理化検討会の中間報告「セルフメディケーションにおける一般用医薬品のあり方について」の定義（第1巻61頁）にみるように、薬剤師等から提供された適切な情報に基づき、自らの判断で購入し、自らの責任で使用する医薬品である。それだけに適切な情報提供が求められる。そのため、自分の症状や体質などに合った適切な商品を選び、それを正しく使うことは重要な意味をもっている。ヘルスケアアドバイザーはセルフメディケーションの限界を知り、必要と思われる場合は、受診を勧めるといった視点を忘れてはならない。この授業では一般用医薬品の性質を学ぶとともに、一般用医薬品で対応できる症状か否かを学習していく。

※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

・ヘルスケアアドバイザー検定試験の合格、また授業内容を応用して、実際の店舗での業務でお客様に説明することができる。

授業計画・内容	
1回目	一般用医薬品の基本的な考え方・ヘルスケアアドバイザーの役目を説明できる。
2回目	かぜ薬・解熱鎮痛薬・小児鎮静薬に配合された成分がそれぞれどう働くか、そして医療用医薬品との相互作用を説明することができる。
3回目	消化器官用薬に配合された成分について説明することができる。
4回目	循環器・血液・呼吸器官用薬に配合された成分について説明することができる。
5回目	泌尿器生殖器及び肛門用薬に配合された成分について説明することができる。
6回目	滋養強壮保健薬に配合されたビタミンの種類とその働き、また医療用医薬品その相互作用を説明することができる。
7回目	アレルギー用薬に配合されている抗ヒスタミン薬について説明することができる。
8回目	外皮用薬に用いられる成分とその働きについて説明することができる。
9回目	点眼薬の違いや作用について説明することができる。
10回目	耳鼻科用薬について説明することができる。
11回目	生薬名からその特徴と薬効を説明できる。
12回目	前期の授業のおさらい
13回目	試験対策
14回目	前期期末試験
15回目	前期期末試験の解説
準備学習時間外学習	登録販売者の業務において基本的な知識となるところです。忘れやすい専門用語は教科書を用いて復習を行ってください。
評価方法	・定期テスト(80%) ・小テスト(10%) ・出席（10%） ※授業の前に前回の授業の内容の小テストを行います。 ※出席率や授業態度を考慮し成績評価を行います。
受講生へのメッセージ	ヘルスケアアドバイザー検定試験に向けて、今のうちからわからない用語の復習や、効率的な学習を行うために体調管理を心がけてください。

【使用教科書・教材・参考書】

ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト　ヘルスケアに関する基礎知識編　第3巻

2023年度 授業概要

学 科 ： 薬業科

科目名	病気とヘルスヘア	必修選択	必修	年次	1	担当教員	姪原 裕子
						実務経験	○
（英）	Sickness and Herlth Care	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	共通			（単位）	2	曜日・時限	木曜日2限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

近年、高齢化に伴い、病気と上手につきあいながら、日常生活を送っている人が増加している。また「未病」といって、「未だ、病にあらず」という状態ながら、将来大きな病気を発病する可能性を持ちながら生活する人も増加している。これらの発病前段階の状態を早期に発見し、より多くの人が「未病」のままで生涯を終わらせることができるヘルスケアのアドバイスが極めて重要である。この授業ではこれらの重要な役割を担うために、病気の予防・改善、健康の維持・増進を図るためにアドバイスを行なえるよう学習していく。

※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

・ヘルスケアアドバイザー検定試験の合格、また授業内容を応用して、実際の店舗での業務でお客様に説明することができる。

授業計画・内容	
1回目	循環器疾患の症状について説明することができる。
2回目	呼吸器・消化器疾患の症状について説明することができる。
3回目	内分泌疾患について説明することができる。
4回目	泌尿器系疾患の症状との症状と食生活のポイントを説明できる。生殖器系疾患の発生原因を説明できる。
5回目	脳・神経・骨の疾患における症状と原因を説明できる。
6回目	皮膚の疾患の各症状の発生場所や特徴を説明できる。
7回目	貧血の原因別タイプやOTCで 用いる治療法を説明できる。感染症疾患の症状や多発年齢(月 齢)を説明できる。
8回目	花粉症における時期別の原因となる植物を説明できる。膠原病の原因や治療の目的を説明できる。
9回目	耳の病気の発生秩序を説明できる。鼻・喉・眼の疾患の症状や原因について説明できる。
10回目	口内の疾患の症状や原因について説明できる。
11回目	小児特有の疾患の症状とOTCで用いてはいけない医薬品成分の種類を説明できる。女性特有の疾患の症状や原因について説明できる。
12回目	精神疾患の症状を説明できる。環境による病気の対策法を説明できる。
13回目	寄生体による感染症の種類とその感染経路を説明できる。
14回目	前期期末試験
15回目	前期期末試験の解説
準備学習時間外学習	登録販売者の業務において基本的な知識となるところです。忘れやすい専門用語は教科書を用いて復習を行ってください。
評価方法	・定期テスト(80%) ・小テスト(10%) ・出席(10%) ※授業の前に前回の授業の内容の小テストを行います。 ※出席率や授業態度を考慮し成績評価を行います。
受講生へのメッセージ	ヘルスケアアドバイザー検定試験に向けて、今のうちからわからない用語の復習や、効率的な学習を行うために体調管理を心がけてください。

【使用教科書・教材・参考書】

ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト ヘルスケアに関する基礎知識編 第3巻

2023年度 授業概要

学 科 ：薬業科

科目名（英）	一般用医薬品論Ⅰ Over the Counter Drugs Theory Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	三浦公義
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	金曜日、2時限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせて、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、個々の一般用医薬品の知識を得る前に、まず「薬」というものについて理解していることが必要です。本講座は、全く「薬」に関しての知識が無い状態の方が登録販売者として業務が出来るための第一歩である「薬」に関する基礎的知識を理解することを目的として、講座終了時には一般用医薬品を学ぶための基礎的事項が説明できるようになる。

※実務経験：三浦公義　2001年1月にとして調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

医薬品に関する基本的事項（個々の薬品ではなく、医薬品全体としての概論）を理解する。

授業計画・内容	
1回目	医薬品の定義について説明が出来る
2回目	医薬品の名称について説明が出来る
3回目	医薬品の販売規制について説明が出来る
4回目	一般用医薬品の定義について説明が出来る
5回目	劇薬・毒薬について説明が出来る
6回目	麻薬・覚せい剤について説明が出来る
7回目	医薬品以外の薬機法規制対象薬について説明が出来る
8回目	医薬品の分類について説明が出来る
9回目	医薬品の保管について説明が出来る
10回目	添付文書の意味について説明が出来る
11回目	添付文書の用語について説明が出来る
12回目	薬の代表的な薬理作用について説明が出来る
13回目	薬物動態について説明が出来る
14回目	試験
15回目	試験の解答及び解説
準備学習時間外学習	この授業を受けるには、今までに聞いたことが無い言葉が沢山出てきます。授業を理解するうえで、授業内容の予習も必要ですが、意味の不確かな語句等のチェックと確認の準備が重要ですので、そのためにも1回以上の授業範囲の音読をして授業に臨んでもらう事が必要です。そして、授業後は、正確に理解が出来ているかの確認の為の復習が必要です
評価方法	定期テストにて成績評価を行う。（100%）
受講生へのメッセージ	本講座で身につける知識は、薬に関係する仕事に従事する人において、必要最低限の事項です。他の講座のベースともなる内容ですので、難しくはありませんがしっかり理解することが重要です。そのためにも体調等の自己管理に気をつけて、欠席をしないようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト　ヘルスケアに関する基礎知識編　第2巻

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	一般用医薬品論Ⅱ Over the Counter Drugs Theory Ⅱ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	三浦公義
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	金曜日、3時限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせて、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、個々の一般用医薬品の知識を得る前に、まず「薬」というものについて理解していることが必要です。本講座は、全く「薬」に関しての知識が無い状態の方が登録販売者として業務が出来るための第一歩である「薬」に関する基礎的知識を理解することを目的として、講座終了時には一般用医薬品を学ぶための基礎的事項が説明できるようになる。

※実務経験：三浦公義　2001年1月にとして調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

医薬品に関する基本的事項（個々の薬品ではなく、医薬品全体としての概論）を理解する。代表的な医薬品成分の簡単な説明が出来る。

授業計画・内容	
1回目	有害事象・副作用の意味について説明が出来る
2回目	薬の投与量・服用量の意味について説明が出来る
3回目	医薬品の胎児への影響について説明が出来る
4回目	医薬品の乳汁移行について説明が出来る
5回目	アレルギーについて説明が出来る
6回目	代表的な臓器障害について説明が出来る
7回目	薬物依存について説明が出来る
8回目	その他の副作用について説明が出来る
9回目	医薬品の種差・人種差の薬効・毒性への影響について説明が出来る
10回目	医薬品の高齢者の生理機能と薬効について説明が出来る
11回目	医薬品の小児の生理機能と薬効について説明が出来る
12回目	医薬品の妊娠時の生理機能の変化と薬効について説明が出来る
13回目	医薬品の成分解説と情報提供について説明が出来る
14回目	試験
15回目	試験の解答及び解説
準備学習時間外学習	この授業を受けるには、今までに聞いたことが無い言葉が沢山出てきます。授業を理解するうえで、授業内容の予習も必要ですが、意味の不確かな語句等のチェックと確認の準備が重要ですので、そのためにも1回以上の授業範囲の音読をして授業に臨んでもらう事が必要です。そして、授業後は、正確に理解が出来ているかの確認の為の復習が必要です
評価方法	定期テストにて成績評価を行う。（100%）
受講生へのメッセージ	本講座で身につける知識は、薬に関係する仕事に従事する人において、必要最低限の事項です。他の講座のベースともなる内容ですので、難しくはありませんがしっかり理解することが重要です。そのためにも体調等の自己管理に気をつけて、欠席をしないようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト　ヘルスケアに関する基礎知識編　第2巻

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	一般用医薬品論Ⅲ Over the Counter Drugs TheoryⅢ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	三浦公義
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせ、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、各々の一般用医薬品について理解していることはもちろん、患者の不具合の原因または要因を推測するための、人の身体に対する知識や各病気に対する知識、そして、その対処法に対する知識を持つことが必要です。そして、それが出来たうえで更に、それら個々の知識を総合的に判断して患者の不具合に対する適切な対応策（一般用医薬品の使用や生活習慣の改善等）を考えることが出来るようになるスキルが必要です。本講座終了時には、そのスキルを身につけるために、領域別に基本的な薬剤の知識を得、併せて代表的な病態生理を理解することで、基本的な病態に関して適切な薬品の選択が出来るようになる。

※実務経験：三浦公義　2001年1月にとして調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

各領域における代表的な疾患とそれに対する一般用医薬品の知識と選択方法を習得する。

〈具体的な目標〉

目標①　各領域における代表的一般用医薬品の成分の薬効・薬理を説明できる。

目標②　各領域における代表的疾患の病態・生理を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	風邪の病態について説明が出来る。①
2回目	風邪の病態について説明が出来る。②
3回目	かぜ薬について説明が出来る。①
4回目	かぜ薬について説明が出来る。②
5回目	かぜ薬について説明が出来る。③
6回目	発熱の仕組み・炎症の病態について説明が出来る。①
7回目	発熱の仕組み・炎症の病態について説明が出来る。②
8回目	発熱の仕組み・炎症の病態について説明が出来る。③
9回目	解熱鎮痛薬について説明が出来る。①
10回目	解熱鎮痛薬について説明が出来る。②
11回目	睡眠の仕組みについて説明が出来る。
12回目	眠気を促す薬について説明が出来る。
13回目	眠気を防ぐ薬について説明が出来る。
14回目	試験
15回目	試験の解答及び解説
準備学習時間外学習	この授業の理解をより効率的に行うには、人体の解剖・生理の知識が必要です。そのために、授業範囲の必要と思われるそれら範囲の予習が必要です。また、複数の領域で用いられる成分については、最初に出できた時のみ説明がさせるので、後に成分名のみ紹介されたり、簡単な追加説明しかされなかった場合には、各自でそれらの成分についての個々の理解度に合わせた復習が必要です。
評価方法	定期テストにて成績評価を行う。（100%）
受講生へのメッセージ	魅力：本講座は登録販売者としての業務をするうえで、最低限必要な知識です。この知識を得て、更にコミニュケーション等の他のスキルを得て、そしてそれらを総合的に活用してはじめて患者の苦しみ取り除く手助けができるようになります。この患者の苦しみを軽減するという直接的な成果を獲得することが、個人の仕事に対する「やりがい」に直結することはもちろんですが、一般用医薬品の普及は地域医療、そして日本全体として見た時野の医療に対する貢献ができている事を意味します。　　授業計画：本講座で身につける知識は、量・質ともにとても重要で難解です。授業に真摯に取り組むことで、少しでも容易に知識を得ることが出来ます。そのためにも、体調管理に気をつけて欠席や居眠りをしないようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　下巻

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	接客カウンセリング Service Study	必修選択	必須	年次	2	担当教員	矢野隆子
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】

登録販売者は顧客一人ひとりの商品を買う目的、さらに、ライフスタイル、悩みや問題などの情報を伺いその顧客にとって最も役立つ商品を提供し安心を与えるのが仕事である
そのためには顧客の話をよく聴き、共感して顧客との信頼関係を築くことが重要である。この授業ではカウンセリングの知識技法を習得、顧客にとって最も望ましい販売員になるための姿勢、態度を身に付ける。以上のことから授業ではカウンセリングの基礎や技法を学ぶほか、自他において柔軟な視点を持つために、できるだけグループワークやロールプレイを取り入れて授業を進める。

実務者経験：　平成5年より、産業カウンセラー、教育カウンセラーとして教育現場、行政機関、企業などのカウンセリング、傾聴研修に実務30年携わる。

「到達目標」
相談者が抱える問題の相談に対応できるカウンセリングの方法を理解し、実践できる。
現場における相談者の問題に対して対応策を設定してそれを説明ができるようになる。
援助者として身につけるカウンセリングマインドを理解し、具体的な場面で実践できる。
カウンセリングのスキルを身につけ、相談された際にどのように対応したらよいかが説明できる。
他からの助言がなくても相談者の持つ心理的、社会的側面へ配慮することができる。

rikaisi

授業計画・内容	
1回目	科目ガイダンス　教科の目的と授業法　構成的グループエンカウンターが実践できる。
2回目	接客カウンセリングの基礎基本　定義　　基本的態度を説明できる。
3回目	接客カウンセリングの基礎基本　② カウンセリングのプロセス、始め方・終わり方を説明できる。
4回目	演習　自己理解・他社理解　自分の対人関係のあり方を分析、説明できる。
5回目	接客カウンセリングの基礎基本　受容・共感　・自己一致を説明できロールプレイを行うことができる。
6回目	顧客の心をつかむ聴き方・話し方を説明できる。
7回目	接客カウンセリングの非言語的コミュニケーションについて説明できる
8回目	顧客対応のカウンセリング技法　繰り返し・感情の反射・質問を説明できる
9回目	接客カウンセリングに役立つカウンセリング理論を説明できる
10回目	ビデオから学ぶ「こもりびと」
11回目	アサーショントレーニング相互尊重の自己表現を理解、分析ができる
12回目	カウンセリング理論　演習「人生態度」を実践できる
13回目	職場の人間関係「青山令子さんのケース　」まとめ、発表　　振り返りを行うことができる
14回目	接客カウンセリング試験
15回目	接客カウンセリングふりかえり
準備学習時間外学習	・教科書の音読で授業内容の予習が必要です。その際に意味の不確かな語句等のチェックと準備が重要です。そして、授業後に正確に理解ができているかの確認と復習が必要です。
評価方法	期末テスト100%
受講生へのメッセージ	魅力：現代社会においてカウンセリング能力はプライベートの関係性、仕事上の関係性を問わず、信頼関係を構築する重要な技法となります。 カウンセリングの基本や技法を学ぶことにより自他の変化を捉える観察力が向上し、人間関係を大事にする姿勢が身につきます。 授業の中で行う事例研究やグループワークはメンバー相互間の影響を受け、個人が成長、発達をする援助の過程なので積極的に参加して欲しい。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書　医療／福祉／保育のカウンセリング
参考書　入門カウンセリングワークブック

2023年度 授業概要

学 科 ：薬業科

科目名（英）	解剖生理学Ⅰ（体の構造と働き） Anatomy and Physiology Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	水津 伸大
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	水曜 2時限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

体の構造と働き（解剖生理学）は解剖学と生理学とからなる。ドラッグストアなどの仕事においては医薬品の高度な知識が必要であるが、その医薬品の使用は患者の病理状態の把握が必要である。病理状態を把握する為にはその基礎となる解剖学・生理学を学ばなければならない。最終目標は登録販売者試験の合格レベルの知識をつける事であるが、その為の前段階として大まかなヘルスケアに関する基礎知識をつける。

※実務経験：水津伸大　1995年6月に薬剤師を取得。2012年に医薬品の店舗販売業を開設し現在に至る。また、2004年4月にはり師・きゅう師を取得。2014年3月に柔道整復師を取得し、現在まで実務を行っている。

【到達目標】

ヘルスケアアドバイザー試験の「ヘルスケアに関する基礎知識」の問題に臨めるように為るための知識（身体の全体像（解剖生理学の概論））が解るようになる。また、実際の医薬品の販売現場において薬剤師や医薬品登録販売者がどのように働いているかを解剖生理学の面から理解できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	人体の区分や部位が説明できる。特に四肢（上肢、下肢）の部位名が判ること。
2回目	細胞、組織、器官、器官系に関する用語及び、細胞から器官系までの関係が説明できる。
3回目	人体を構成する骨の名称とその形状が説明できる。
4回目	人体を構成する関節の名称と仕組みを説明できる。
5回目	体性感覚（下降性伝導路）について説明できる。
6回目	特殊感覚（視覚）および眼球の構造について説明できる。
7回目	特殊感覚（聴覚）および外耳・中耳・内耳（特に蝸牛）について説明できる。
8回目	特殊感覚（平衡感覚）について説明できる。とくに半規管と前庭についての説明ができるようになる。
9回目	特殊感覚（味覚）について説明できる。舌乳頭と味蕾の説明が簡単に出来るようになる。
10回目	特殊感覚（嗅覚）と鼻の構造について説明できる。
11回目	人体を構成する筋の存在部位と名称が一致する。
12回目	神経系の働きを系統別に説明できる。
13回目	中枢神経系（脳と脊髄）について説明できる。
14回目	末梢神経系（脳神経と脊髄神経）について説明できる。
15回目	体性神経系（運動神経と感覚神経）について説明できる。
準備学習時間外学習	目標）この授業内容を理解し知識とする為には、必ず、授業後早めの復習が必要です。必ず、授業後その週末までには内容を理解しなければならない。
評価方法	定期テスト（100%）で評価をする。
受講生へのメッセージ	解剖生理学の必要性）多くのドラッグストアや相談薬局などにおいて、医薬品に限らず、お客さま（患者さん）から多くの質問や相談を受ける事がある。その相談内容として今現在の疾病に対する不安だけでなく、これから健康を維持して行く為には、どうすれば良いのかなど様々である。セルフメディケーションが叫ばれている現在、このような相談を受けた際に、基本的な解剖生理学の知識があるという事がお客さま（患者さん）の信頼につながり、安心感を与える事ができる、そうしてはじめて相互のコミュニケーションが維持できる。笑顔や声かけは、資格所有者でなくとも当然のことではあるが、医薬品に関わる資格や技能を学ぶことで、そうした知識による信頼というものを得ることができる。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書）ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト（第1巻）（JACDS）　　参考書）ぜんぶわかる人体解剖図（成美堂出版）

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	解剖生理学Ⅱ（体の構造と働き） Anatomy and Physiology Ⅱ	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	水津　伸大
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	水曜　3時限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

体の構造と働き（解剖生理学）は解剖学と生理学とからなる。ドラッグストアなどの仕事においては医薬品の高度な知識が必要であるが、その医薬品の使用は患者の病理状態の把握が必要である。病理状態を把握する為にはその基礎となる解剖学・生理学を学ばなければならない。最終目標は登録販売者試験の合格レベルの知識をつける事であるが、その為の前段階として大まかなヘルスケアに関する基礎知識をつける。

※実務経験：水津伸大　1995年6月に薬剤師を取得。2012年に医薬品の店舗販売業を開設し現在に至る。また、2004年4月にはり師・きゅう師を取得。2014年3月に柔道整復師を取得し、現在まで実務を行っている。

【到達目標】

ヘルスケアアドバイザー試験の「ヘルスケアに関する基礎知識」の問題に臨めるように為るための知識（身体の全体像（解剖生理学の概論））が解るようになる。また、実際の医薬品の販売現場において薬剤師や医薬品登録販売者がどのように働いているかを解剖生理学の面から理解できるようになる。

	授業計画・内容
1回目	循環器系の概要（役割・仕組み）について説明できる。
2回目	心臓の主な働き（リズムと酸素供給）と構造について説明できる。
3回目	血管・リンパの働きと構造について説明できる。
4回目	呼吸器系の概要（役割・仕組み）について説明できる。
5回目	鼻腔・咽頭の働きと構造について説明できる。
6回目	気管・気管支・肺胞の働きと構造について説明できる。
7回目	消化器系の概要（役割・仕組み）について説明できる。
8回目	口腔・食道の働きと構造について説明できる。
9回目	胃の働き（機械的消化と化学的消化）とその構造について説明できる。
10回目	小腸・膵臓・肝臓の消化に関わる働きと構造について説明できる。
11回目	大腸の働き（蠕動運動や水の吸収、排便）とその構造について説明できる。
12回目	生殖器系の概要（役割・仕組み）について説明できる。
13回目	泌尿器系の概要（役割・仕組み）について説明できる。
14回目	内分泌系の概要（役割・仕組み）について説明できる。
15回目	循環器・呼吸器・消化器のつながりについて説明できる。酸素や栄養素の吸収と分布についての説明ができるようになる。
準備学習時間外学習	目標）この授業内容を理解し知識とする為には、必ず、授業後早めの復習が必要です。必ず、授業後その週末までには内容を理解しなければならない。
評価方法	定期テスト（100%）で評価をする。
受講生へのメッセージ	解剖生理学の必要性）多くのドラッグストアや相談薬局などにおいて、医薬品に限らず、お客さま（患者さん）から多くの質問や相談を受ける事がある。その相談内容として今現在の疾病に対する不安だけでなく、これから健康を維持して行く為には、どうすれば良いのかなど様々である。セルフメディケーションが叫ばれている現在、このような相談を受けた際に、基本的な解剖生理学の知識があるという事がお客さま（患者さん）の信頼につながり、安心感を与える事ができる、そうしてはじめて相互のコミュニケーションが維持できる。笑顔や声かけは、資格所有者でなくとも当然のことではあるが、医薬品に関わる資格や技能を学ぶことで、そうした知識による信頼というものを得ることができる。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書）ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト（第1巻）（JACDS）　　参考書）ぜんぶわかる人体解剖図（成美堂出版）

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	解剖生理学Ⅲ Anatomy and PhysiologyⅢ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	水津伸大
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

解剖生理学Ⅲは解剖学と生理学からなる。ドラッグストアなどの仕事においては医薬品の高度な知識が必要であるが、その医薬品の使用には患者の病理状態の把握が必要である。病理状態を把握する為にはその基礎となる解剖学・生理学を学ばなければならない。最終目標は解剖学・生理学分野においての登録販売者試験合格レベルの知識をつけるて、身体の機能と構造について説明ができる。

※実務経験：水津伸大　1995年6月に薬剤師を取得。2012年に医薬品の店舗販売業を開設し現在に至る。また、2004年4月にはり師・きゅう師を取得。2014年3月に柔道整復師を取得し、現在まで実務を行っている。

【到達目標】

医薬品の登録販売者試験の『解剖生理学』分野の問題に臨めるようになる為の知識を身につけて身体の構造と働きについて説明ができる。

授業計画・内容	
1回目	消化器系の構造と働きについて説明ができる。
2回目	呼吸器系の構造と働きについて説明ができる。
3回目	循環器系の構造と働きについて説明ができる。
4回目	泌尿器系の構造と働きについて説明ができる。
5回目	目（視覚器）系の構造と働きについて説明ができる。
6回目	鼻（臭覚器）の構造と働きについて説明ができる。
7回目	耳（聴覚器）の構造と働きについて説明ができる。
8回目	外皮系の構造と働きについて説明ができる。
9回目	骨格系の構造と働きについて説明ができる。
10回目	筋組織の構造と働きについて説明ができる。
11回目	中枢神経系の構造と働きについて説明ができる。
12回目	末梢神経の構造と働きについて説明ができる。
13回目	自律神経の構造と働きについて説明ができる。
14回目	期末試験（内臓諸器官の全体像について説明ができる。）
15回目	期末試験解説（神経系の全体像について説明ができる。）
準備学習時間外学習	目標）この授業内容を理解し知識とする為には、必ず、授業後の早い段階での復習が必要です。必ず、授業後その週末までには内容を理解しなければならない。
評価方法	定期テスト（100%）で評価する
受講生へのメッセージ	解剖生理学の必要性）多くのドラッグストアや相談薬局などにおいて、医薬品に限らず、お客さま（患者さん）から多くの質問や相談を受ける事がある。その相談内容として今現在の疾病に対する不安だけでなく、これから健康を維持して行く為には、どうすれば良いのかなど様々である。お客様（患者さん）とより良いコミュニケーションを可能にする為には、まず、身体に関する知識が必要である。その為に解剖生理学を更に深く学んで登録販売者試験の合格レベルの内容を身につけて下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書）登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　改訂版　上巻　（一般社団法人　日本薬業研修センター）　　参考書）ぜんぶわかる人体解剖図（成美堂出版）

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	解剖生理学Ⅳ Anatomy and PhysiologyⅣ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	水津伸大
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】

臨床医学は、医薬品の体内動態や副作用について学ぶ。医薬品の種類によって副作用も様々である。患者さんが安心して、医薬品を使用できるように、販売者は医薬品の体内動態や副作用について幅広く知っておかなければならない。その為の知識をつける為、登録販売者試験の内容に準拠して知識をつけ、実際の現場で副作用の説明ができるようになる。

※実務経験：水津伸大　1995年6月に薬剤師を取得。2012年に医薬品の店舗販売業を開設し現在に至る。また、2004年4月にはり師・きゅう師を取得。2014年3月に柔道整復師を取得し、現在まで実務を行っている。

【到達目標】

ドラッグストアの店頭で、医薬品を販売した際に、その副作用や剤形についてせつめいできるようになる。

授業計画・内容	
1回目	ショック（アナフィラキシー）、アナフィラキシー様症状について説明できる。
2回目	重篤な皮膚粘膜障害について説明できる。
3回目	肝機能障害について説明できる。
4回目	偽アルドステロン症について説明できる。
5回目	病気に対する抵抗力の低下について説明できる。
6回目	精神神経障害について説明できる。
7回目	無菌性髄膜炎について説明できる。
8回目	消化器系に現れる副作用について説明できる。
9回目	呼吸器系に現れる副作用について説明できる。
10回目	循環器系に現れる副作用について説明できる。
11回目	泌尿器系に現れる副作用について説明できる。
12回目	感覚器系に現れる副作用について説明できる。
13回目	皮膚に現れる副作用について説明できる。
14回目	期末試験（薬の剤形について説明できる）
15回目	期末試験解答解説（薬の体内動態について説明できる）
準備学習時間外学習	目標）この授業内容を理解し知識とする為には、必ず、授業後の早い段階での復習が必要です。必ず、授業後その週末までには内容を理解しなければならない。
評価方法	定期テスト（100%）で評価する
受講生へのメッセージ	臨床医学の必要性）多くのドラッグストアや相談薬局などにおいて、医薬品に限らず、お客さま（患者さん）から多くの質問や相談を受ける事がある。その相談内容として今現在の疾病に対する不安だけでなく、これから健康を維持して行く為には、どうすれば良いのかなど様々である。お客様（患者さん）とより良いコミュニケーションを可能にする為には、医薬品の剤形や体内動態及び副作用に関する知識が必要である。その為に臨床医学を深く学んで登録販売者試験の合

【使用教科書・教材・参考書】

教科書）登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　改訂版　上巻　（一般社団法人　日本薬業研修センター）　　参考書）ぜんぶわかる人体解剖図（成美堂出版）

2023年度 授業概要

学 科 ：薬業科

科目名（英）	病態生理学 Pathophysiology	必修選択	必修	年次	1	担当教員	松本 澄久
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	月曜・2限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実務経験： 病院・医務室で30年の臨床経験。准看護学院等で講義の実績。
授業の学習内容： 登録販売者として必要な医学的知識を習得し、お客さんに適切な情報提供ができるようになる

【到達目標】

ヘルスケアアドバイザー検定試験に合格できる

授業計画・内容	
1回目	病態生理、病気の内因（年齢、性別、遺伝、先天異常、体質）が理解できる。
2回目	病気の内因（免疫、身体の抵抗、アレルギー，心因）が理解できる。
3回目	病気の外因（栄養素の不足、栄養素の過剰、物理的要因）が理解できる。
4回目	病気の外因（化学的要因、喫煙、飲酒、奇生体）が理解できる。
5回目	原因が不明な病気（腫瘍、膠原病）が理解できる。
6回目	主な疾病の特徴、炎症（炎症の原因、生体防御反応）が理解できる。
7回目	炎症（炎症の兆候と病変、治療）が理解できる。
8回目	循環器系障害（虚血、充血、うっ血）が理解できる。
9回目	循環器系障害（出血、血栓、塞栓）が理解できる。
10回目	代謝異常（代謝）が理解できる。
11回目	腫瘍（腫瘍の分類、悪性腫瘍の発育、悪性腫瘍の発育抑制）が理解できる。
12回目	進行性病変と退行性病変（進行性病変、退行性病変）、奇形が理解できる。
13回目	老化、老化とは（生理的老化、病的老化、老化に伴う形態・身体機能・生化学的変化）が理解できる。
14回目	臨床検査、検査（基準範囲、検査値の変動、体の基本的計測）が理解できる。
15回目	終講試験で理解度を確認する。
準備学習時間外学習	高等学校の生物学の教科書を見返す。
評価方法	基本的にはペーパーテスト100%。 しかし、出席状況、受講態度などでの加算も考慮する。
受講生へのメッセージ	ヘルスケアアドバイザー検定試験の合格を目指して頑張ろう。

【使用教科書・教材・参考書】

ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト、ヘルスケアに関する基礎知識編（第2巻）

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	臨床医学Ⅰ Clinical Medicine Ⅰ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	水津　伸大
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

基礎知識の更なる定着を目指し、登録販売者試験の演習問題の解答解説をする事で、登録販売者に必要な人体の働きと医薬品の働く仕組みを合わせて学習する。それにより、人体の働きや医薬品の働く仕組みが説明できる。特に、近年の登録販売者試験には『主な医薬品とその作用』との関連問題が出題されるような傾向にあるように思われる。よって解剖生理と医薬品との関係が理解できるように授業をすすめていきたい。

※実務経験・・・1995年6月に薬剤師を取得。2012年に医薬品の店舗販売業を開設し現在に至る。また、2004年4月にはり師・きゅう師を取得。2014年3月に柔道整復師を取得し、現在まで実務を行っている。

【到達目標】

登録販売者試験「人体の働きと医薬品」の問題が合格水準に到達する。基本的な解剖名とその働きを理解できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	登録販売者試験の問題演習。人体の区分や部位が説明できる。各々の細胞・組織・器官の働きが説明できる。
2回目	登録販売者試験の問題演習。人体の系統（器官系）に関する用語が説明できる。
3回目	登録販売者試験の問題演習。人体を構成する骨（特に上肢や下肢）の名称が説明できる。
4回目	登録販売者試験の問題演習。人体を構成する関節の名称と仕組みを説明できる。
5回目	登録販売者試験の問題演習。体性感覚（上行性伝導路）について一般の人に説明できる。
6回目	登録販売者試験の問題演習。特殊感覚（視覚）と眼球の構造と働きについて一般の人に説明できる。
7回目	登録販売者試験の問題演習。特殊感覚（聴覚）と外耳・中耳・内耳（主に蝸牛）について一般の人に説明できる。
8回目	登録販売者試験の問題演習。特殊感覚（平衡感覚）特に半規管等について一般の人に説明できる。
9回目	登録販売者試験の問題演習。特殊感覚（味覚）特に舌乳頭と味蕾について説明できる。
10回目	登録販売者試験の問題演習。特殊感覚（嗅覚）特に嗅球と嗅神経について説明できる。
11回目	登録販売者試験の問題演習。人体を構成する筋の存在部位と名称が一致する。
12回目	登録販売者試験の問題演習。神経系の働きを系統別（体性神経と自律神経）に一般の人に説明できる。
13回目	登録販売者試験の問題演習。中枢神経系（脳と脊髄）等について一般の人に説明できる。
14回目	登録販売者試験の問題演習。末梢神経系（脳神経と脊髄神経）等について一般の人に説明できる。
15回目	登録販売者試験の問題演習。体性神経系（運動神経と感覚神経）等について一般の人に説明できる。

準備学習時間外学習	目標）この授業内容を理解し知識とする為には、正解出来なかった問題や、正解したがその正解理由が解らなかった場合は、必ず、授業内で解決して下さい。
評価方法	定期テスト（100%）で評価をする。
受講生へのメッセージ	登録販売者試験の資格取得は、都道府県レベルで行われる試験であり、厚生労働省がその基準を設けている。こういった試験に合格することは、資格者としての信用は勿論のこと、その水準に到達した事でその知識自体が、お客様（患者さん）とのコミュニケーションの最低必要条件を得る為のツールとなる。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書）登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　上巻（日本薬業研修センター）　　参考書）ぜんぶわかる人体解剖図（成美堂出版）

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	薬事関係法規（関係法規・制度/自己責任とセルフメディケーション） The Drugs' Cosmetics and Medical Instrument Relevant Statute	必修選択	必修	年次	1	担当教員	姪原　裕子
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	火曜日1限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

薬局やドラックストアは様々な形で社会に存在・貢献し、地域に根付いています。しかし、ドラッグストアの増加で、本来あるべき姿である薬局・ドラッグストアでの「医薬品を販売する」ことがスーパーやコンビニエンスストアのようにごく当たり前な風景になり、登録販売者・薬剤師が一般人にセルフケア（セルフメディケーション）に関して指導する場面が減っているように感じます。これから登録販売者・薬剤師に関する関係法規・制度を学び、薬局・ドラッグストアでどのように医薬品を扱い販売しているか、またそこで登録販売者は一般人に対しどのようにセルフケアに対し指導し、接するべきか考えられる人間になってほしいです。登録販売者試験における薬事関係法規の問題は年々難化していく一方です。教科書には難しい言葉や制度に関する事がたくさん記載されており、みなさんが苦手とする教科であり、避ける学問ではありますが、社会に出て薬局やドラッグストアのみならず役に立つ知識も多いので地道に学んでいきましょう。
今期の授業では登録販売者制度、医薬品等の販売に関する規則、医療関係者・医療機関の種類、医療保険制度や高齢者・介護保険制度が理解でき、説明できるようになるようになりましょう。
※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

登録販売者制度を通して、薬事関係法規に関する事（医薬品等の販売に関わる規則・医薬品の販売方法）、医療関係者・医療機関の種類、医療保険制度を理解し、説明することが出来る。
≪具体的な目標≫
目標①医薬品等の販売に関わる規則を理解し記することが出来る。
目標②医療関係者・医療機関の種類が説明できる。
目標③医療保険制度について説明することが出来る。
目標④自己責任とセルフメディケーションについて理解し登録販売者はどうあるべきか述べることが出来る。

授業計画・内容	
1回目	（目標①）登録販売者制度を理解し、登録販売者、薬剤師、ヘルスケアアドバイザーについて説明することが出来る。
2回目	（目標①）医薬品等の販売に関わる規則（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）について理解し、医薬品の販売について説明する事が出来る。
3回目	（目標①）医薬品等の販売に関わる規則（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）について理解し、医薬品の取り扱いについて説明する事が出来る。
4回目	（目標①）医薬品を扱う者への規制(薬剤師法)について理解し、医薬分業法について説明することが出来る。
5回目	（目標②）医療関係者の種類について説明することが出来る。
6回目	（目標②）医療機関の種類について説明する事が出来る。
7回目	（目標③）医療保険制度と給付制度について理解し説明することが出来る。
8回目	（目標③）国民医療費の動向について理解し、高齢者医療制度について説明することが出来る。
9回目	（目標③）介護保険制度について理解し、その種類やサービスについて説明することが出来る。
10回目	（目標③）診療報酬制度の仕組み、公的年金制度について理解し説明することが出来る。
11回目	（目標④）セルフメディケーションの求められる背景を理解し、自らの考えを述べる事が出来る。
12回目	（目標④）ヘルスケアと自己責任の現状を理解し、登録販売者のセルフメディケーションの在り方について述べることが出来る。
13回目	前期のまとめ
14回目	前期試験
15回目	前期試験解説
準備学習時間外学習	他の教科もそうですが試験前の一夜漬けはよくありません。授業後に一個一個の情報を覚えていくことが重要です。 （目標①）登録販売者制度、医薬品等の販売に関わる規則や販売方法などとても難しいので、授業後は復習を心掛けてください。 （目標②）登録販売者以外の医療関係者や医療機関など、薬局やドラッグストアで働く様になると耳になるようになりますので授業後は復習を心掛けましょう。　（目標③）様々な医療保険制度がありますが授業後に地道に復習していきましょう。
評価方法	・定期テスト(80%) ・小テスト(10%) ※授業の前に前回の授業の内容の小テストを行います。 ※出席率や授業態度を考慮し成績評価を行います。
受講生へのメッセージ	登録販売者試験での薬事関係法規の分野は年々難化しており、長文での出題や数字のみを変えた問題などの出題傾向にあります。知識や技術も大事ですが、文章の読解力をつけることも大事で、試験でも問題を早く読み解くことに繋がり、医薬品を購入しに来たお客さんへの商品の説明にも生かすことが出来ます。難しい分野ではありますが、社会での登録販売者の在り方をこの講義を通して理解してほしいと思います。

【使用教科書・教材・参考書】

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名	医薬品の適正使用・安全対策	必修選択	必修	年次	1	担当教員	姪原　裕子
						実務経験	○
（英）	Correct Use of Drugs Safety Measure	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	共通			（単位）	2	曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医薬品は製剤だけでなく、その適正使用の情報も伴わなければ単なる薬物に過ぎません。効果を引き出し、副作用を防ぐために存在するものが添付文書と製品表示です。これらは網羅的に記載されており一般生活者では十分な理解がなされない場合もあります。一般用医薬品を販売するものとして積極的に情報提供できるよう、正しい知識を身につけます。また、販売後の副作用の情報を知った時には、医療従事者としてその事実を報告しなければなりません。その際迅速に対応できるよう、報告先・報告の仕方を学びます。

※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

この講義は登録販売者試験問題（5章）の範囲です。適正使用と安全対策の基本的な知識を身につけ次年度に受験する資格試験の合格に向けて基礎を作っていきます。　〈具体的な目標〉添付文書・製品表示の読み方を説明できる。副作用情報の収集・評価・措置に関する制度を説明できる。医薬品副作用被害救済制度の説明ができる。副作用の発生事例を学び、その対策について説明できる。医薬品に関する啓発活動とその重要性について説明できる。

授業計画・内容	
1回目	一般用医薬品の添付文書・製品表示の役割を説明できる。
2回目	添付文書の記載項目を説明できる。
3回目	使用上の注意の項目事項について説明できる。
4回目	保管及び取扱い上の注意について説明できる。
5回目	製品表示の記載事項について説明できる。
6回目	専門家への受診勧奨に関する事項について説明できる。
7回目	消防法・高圧ガス保安法に基づく注意事項について説明できる。
8回目	緊急安全性情報について説明できる。
9回目	安全性速報について説明できる。
10回目	医薬品・医療機器等安全性情報について説明できる。
11回目	総合機構のホームページの活用法を説明できる。
12回目	副作用情報の収集・報告の仕方について説明できる。
13回目	医薬品副作用被害救済制度について説明できる。
14回目	試験
15回目	解説
準備学習時間外学習	普段使用している一般用医薬品の外箱や中にある添付文書に目を通してみる。それらを参照しながら講義を受講してもらうとより理解が深まるためぜひ持参してください。
評価方法	定期テスト（100%）
受講生へのメッセージ	この講義では、理解度を確認するため毎回、確認テストを行います。登販試験につながる部分ですので、わからないところをそのままにせずその都度苦手をつぶしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者対策テキスト

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	こころとヘルスケア Mind and Health Care	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	矢野隆子
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	火曜　3限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

現代社会はストレス社会と言われ、多くの心の病気の温床になっている。こころと体の病気を分けて考えがちになるが両者は密接に関連している。体の不調が改善しないのはこころの病気に起因していたというケースも見られ、体の病気の原因としての心の意義、疾患を持つ人を全人的に捉えることが不可欠である。この授業ではこころとヘルスケアの資格試験のための基礎知識を学ぶとともに、現場において健康の維持増進、病気の予防や改善のためのセルフケアや助言ができるようになることを目標に授業を進める。

実務者経験：　平成5年より、産業カウンセラー、教育カウンセラーとして教育現場、行政機関、企業などのカウンセリング、傾聴研修に実務30年携わる。

【到達目標】

・ストレス社会と心身症の関係が説明できる
・心身症の予防法について説明できる。
・心の病気の原因とセルフケアの説明ができる。
・「こころとヘルスケア」の検定試験の合格への到達

授業計画・内容	
1回目	ガイダンス（強化の目的と授業法）　構成的グループ　エンカウンターを実践できる
2回目	ストレス社会と心身の関係、ストレスマネジメント、良いストレスとよくないストレスを説明できる
3回目	心身症の原因、診断、治療、セルフケア、日常生活の注意点を説明できる。
4回目	うつ病の原因、診断、症状、家族の接し方について説明できる。
5回目	摂食障害の原因、診断、症状、予防法、家族の接し方について説明できる。
6回目	アルコール依存症の原因、症状が説明できる。
7回目	ニコチン依存症の原因、治療、セルフケア、日常生活の注意を説明できる。
8回目	薬物依存症の病気の症状と原因、予防法を説明できる。
9回目	不眠症の原因と不眠の症状分類、治療、セルフケアを説明できる。
10回目	外傷後ストレス障害の原因、症状、経過、診断治療の説明ができる。
11回目	子どものストレスの要因とその対応、子どもの行動異常、抑うつについて説明ができる。
12回目	医薬品による精神安定、抗不安薬・抗うつ薬について副作用の説明ができる。
13回目	代替補完医療のアニマルアステッドセラピー、アロマセラピー、アーユルベーダーについて説明ができる。
14回目	エステティック、赤外線療法～伝承療法について説明ができる。
15回目	期末テスト
準備学習時間外学習	教科書の音読で授業内容の予習が必要です。その際に意味の不確かな語句などのチェックと準備が重要です。
評価方法	期末テスト100%
受講生へのメッセージ	現代社会はストレス社会と言われ、多くの心の病気の温床となっている。ヘルスケアアドバイザーとしてストレスと心身の関係の重要性に気づくとともにこの学習を自分自身のこころと身体のコントロールの実践に役立たせてほしい。また、心身症の原因や治療法を理解し、現場でセルフケアの方法や日常生活の注意などを積極的に伝えていってほしい。

【使用教科書・教材・参考書】

ヘルスケアに関する実践基礎知識　第5巻「こころとヘルスケア」

2023年度　授業概要

学　科：　薬業科

科目名	介護・応急処置・運動	必修選択	必修	年次	1	担当教員	倉本　寿子
						実務経験	○
（英）	Nursing Care・First Aid・Exercise・Responding to Patients	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	共通			（単位）	2	曜日・時限	水曜　・1時限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

【介護】高齢化社会となった今、 介護は誰でも直面しうる問題である。ここでは介護の基礎知識と実際に役立つ介護のコツ、リハビリステーションなどについて説明ができるようになる。【応急処置】突発的な病気や事故、けがなどの際はいかに早く適切に処置をするかが重要である。いざというときのための応急処置の基礎知識について説明できる。【運動】身体活動と生活習慣病の説明ができ、一定の強化運動の実演ができるようになる。

※実務経験・・・2009年から2年間、ホームヘルパーとして訪問介護の事業所に勤務。

【到達目標】

ドラッグストアなどの接客の場面で、介護・応急処置・運動について正しく情報を伝えることができる。

授業計画・内容	
1回目	【介護】介護の基礎知識・食事と栄養について説明できる。
2回目	【介護】認知症、介護者の健康管理とリハビリテーションについて説明できる。①
3回目	【介護】認知症、介護者の健康管理とリハビリテーションについて説明できる。②
4回目	【応急処置】応急処置の必要性が説明できる。
5回目	【応急処置】心肺蘇生法の必要性が説明できる。①
6回目	【応急処置】心肺蘇生法の必要性が説明できる。②
7回目	【応急処置】止血法、外傷の種類と応急処置の基本、急病・発作の応急処置の説明ができる。
8回目	【応急処置】打撲傷・自己の応急処置が説明できる。
9回目	【運動】生活習慣病と身体活動について説明ができる。①
10回目	【運動】生活習慣病と身体活動について説明ができる。②
11回目	添削問題を解く
12回目	添削問題を解く
13回目	定期試験対策
14回目	定期試験
15回目	定期試験返却　・　解説
準備学習時間外学習	身近で起こりうる内容が多く含まれています。教科書で分からない語句などはチェックと確認の準備が必要です。
評価方法	定期試験にて成績評価を行う。（定期試験　100%）
受講生へのメッセージ	この講義は、ヘルスケアアドバイザー検定の合格を目指すものです。様々な状況下にあるお客様がいらっしゃることを理解し、個々に合わせた応対の方法を学んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト　第2巻・第5巻

2023年度 授業概要

学 科 ：薬業科

科目名（英）	一般用医薬品 Ⅳ Over the Counter Drugs TheoryⅣ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	三浦公義
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせて、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、各々の一般用医薬品について理解していることはもちろん、患者の不具合の原因または要因を推測するための、人の身体に対する知識や各病気に対する知識、そして、その対処法に対する知識を持つことが必要です。そして、それが出来たうえで更に、それら個々の知識を総合的に判断して患者の不具合に対する適切な対応策（一般用医薬品の使用や生活習慣の改善等）を考えることが出来るようになるスキルが必要です。本講座終了時には、そのスキルを身につけるために、領域別に基本的な薬剤の知識を得、併せて代表的な病態生理を理解することで、基本的な病態に関して適切な薬品の選択が出来るようになる。

※実務経験：三浦公義　2001年1月にとして調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

各領域における代表的な疾患とそれに対する一般用医薬品の知識と選択方法を習得する。

〈具体的な目標〉

目標① 各領域における代表的一般用医薬品の成分の薬効・薬理を説明できる。

目標② 各領域における代表的疾患の病態・生理を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	鎮暈薬（乗物酔い防止薬）について説明が出来る。
2回目	小児鎮静薬について説明が出来る。
3回目	咳と痰の発生について説明が出来る。①
4回目	咳と痰の発生について説明が出来る。②
5回目	鎮咳去痰薬について説明が出来る。
6回目	口腔咽喉薬・うがい薬について説明が出来る。
7回目	胃の働きについて説明が出来る。①
8回目	胃の働きについて説明が出来る。②
9回目	胃の薬（制酸薬・健胃薬・消化薬）について説明が出来る。①
10回目	胃の薬（制酸薬・健胃薬・消化薬）について説明が出来る。②
11回目	腸の働きについて説明が出来る。①
12回目	腸の働きについて説明が出来る。②
13回目	腸の薬（整腸薬・止瀉薬・瀉下薬）について説明が出来る。①
14回目	試験
15回目	試験の解答及び解説
準備学習時間外学習	この授業の理解をより効率的に行うには、人体の解剖・生理の知識が必要です。そのために、授業範囲の必要と思われるそれら範囲の予習が必要です。また、複数の領域で用いられる成分については、最初に出できた時のみ説明がさせるので、後に成分名のみ紹介されたり、簡単な追加説明しかされなかった場合には、各自でそれらの成分についての個々の理解度に合わせた復習が必要です。
評価方法	定期テストにて成績評価を行う。（100%）
受講生へのメッセージ	魅力：本講座は登録販売者としての業務をするうえで、最低限必要な知識です。この知識を得て、更にコミニュケーション等の他のスキルを得て、そしてそれらを総合的に活用してはじめて患者の苦しみ取り除く手助けができるようになります。この患者の苦しみを軽減するという直接的な成果を獲得することが、個人の仕事に対する「やりがい」に直結することはもちろんですが、一般用医薬品の普及は地域医療、そして日本全体として見た時野の医療に対する貢献ができている事を意味します。　　授業計画：本講座で身につける知識は、量・質ともにとても重要で難解です。授業に真摯に取り組むことで、少しでも容易に知識を得ることが出来ます。そのためにも、体調管理に気をつけて欠席や居眠りをしないようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　下巻

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	一般用医薬品Ⅴ Over the Counter Drugs TheoryⅤ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	三浦公義
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせ、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、各々の一般用医薬品について理解していることはもちろん、患者の不具合の原因または要因を推測するための、人の身体に対する知識や各病気に対する知識、そして、その対処法に対する知識を持つことが必要です。そして、それが出来たうえで更に、それら個々の知識を総合的に判断して患者の不具合に対する適切な対応策（一般用医薬品の使用や生活習慣の改善等）を考えることが出来るようになるスキルが必要です。本講座終了時には、そのスキルを身につけるために、領域別に基本的な薬剤の知識を得、併せて代表的な病態生理を理解することで、基本的な病態に関して適切な薬品の選択が出来るようになる。

※実務経験：三浦公義　2001年1月にとして調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

各領域における代表的な疾患とそれに対する一般用医薬品の知識と選択方法を習得する。

〈具体的な目標〉

目標①　各領域における代表的一般用医薬品の成分の薬効・薬理を説明できる。

目標②　各領域における代表的疾患の病態・生理を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	腸の薬（整腸薬・止瀉薬・瀉下薬）について説明が出来る。②
2回目	胃腸鎮痛鎮痙薬について説明が出来る。
3回目	浣腸薬について説明が出来る。
4回目	駆虫薬について説明が出来る。
5回目	排泄の仕組みについて説明が出来る。①
6回目	排泄の仕組みについて説明が出来る。②
7回目	痔の薬・その他泌尿器用薬について説明が出来る。
8回目	循環器の仕組みについて説明が出来る。①
9回目	循環器の仕組みについて説明が出来る。②
10回目	循環器の仕組みについて説明が出来る。③
11回目	強心薬について説明が出来る。
12回目	栄養素の利用について説明が出来る。①
13回目	栄養素の利用について説明が出来る。②
14回目	試験
15回目	試験の解答及び解説
準備学習時間外学習	この授業の理解をより効率的に行うには、人体の解剖・生理の知識が必要です。そのために、授業範囲の必要と思われるそれら範囲の予習が必要です。また、複数の領域で用いられる成分については、最初に出できた時のみ説明がさせるので、後に成分名のみ紹介されたり、簡単な追加説明しかされなかった場合には、各自でそれらの成分についての個々の理解度に合わせた復習が必要です。
評価方法	定期テストにて成績評価を行う。（100%）
受講生へのメッセージ	魅力：本講座は登録販売者としての業務をするうえで、最低限必要な知識です。この知識を得て、更にコミニュケーション等の他のスキルを得て、そしてそれらを総合的に活用してはじめて患者の苦しみ取り除く手助けができるようになります。この患者の苦しみを軽減するという直接的な成果を獲得することが、個人の仕事に対する「やりがい」に直結することはもちろんですが、一般用医薬品の普及は地域医療、そして日本全体として見た時野の医療に対する貢献ができている事を意味します。　　授業計画：本講座で身につける知識は、量・質ともにとても重要で難解です。授業に真摯に取り組むことで、少しでも容易に知識を得ることが出来ます。そのためにも、体調管理に気をつけて欠席や居眠りをしないようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　下巻

2023年度 授業概要

学 科 ：薬業科

科目名（英）	一般用医薬品 VI Over the Counter Drugs TheoryVI	必修選択	必修	年次	1	担当教員	三浦公義
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせ、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、各々の一般用医薬品について理解していることはもちろん、患者の不具合の原因または要因を推測するための、人の身体に対する知識や各病気に対する知識、そして、その対処法に対する知識を持つことが必要です。そして、それが出来たうえで更に、それら個々の知識を総合的に判断して患者の不具合に対する適切な対応策（一般用医薬品の使用や生活習慣の改善等）を考えることが出来るようになるスキルが必要です。本講座終了時には、そのスキルを身につけるために、領域別に基本的な薬剤の知識を得、併せて代表的な病態生理を理解することで、基本的な病態に関して適切な薬品の選択が出来るようになる。

※実務経験：三浦公義　2001年1月にとして調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

各領域における代表的な疾患とそれに対する一般用医薬品の知識と選択方法を習得する。

〈具体的な目標〉

目標① 各領域における代表的一般用医薬品の成分の薬効・薬理を説明できる。

目標② 各領域における代表的疾患の病態・生理を説明できる。

	授業計画・内容
1回目	高コレステロール改善薬について説明が出来る。
2回目	血液の役割について説明が出来る。①
3回目	血液の役割について説明が出来る。②
4回目	貧血用薬について説明が出来る。
5回目	女性のホルモンバランスについて説明が出来る。①
6回目	女性のホルモンバランスについて説明が出来る。②
7回目	婦人薬について説明が出来る。
8回目	免疫・アレルギーの概略が説明できる。①
9回目	免疫・アレルギーの概略が説明できる。②
10回目	アレルギー用薬について説明が出来る。
11回目	鼻に用いる薬について説明が出来る。
12回目	眼の解剖生理が説明できる。①
13回目	眼の解剖生理が説明できる。②
14回目	試験
15回目	試験の解答及び解説
準備学習時間外学習	この授業の理解をより効率的に行うには、人体の解剖・生理の知識が必要です。そのために、授業範囲の必要と思われるそれら範囲の予習が必要です。また、複数の領域で用いられる成分については、最初に出できた時のみ説明がさせるので、後に成分名のみ紹介されたり、簡単な追加説明しかされなかった場合には、各自でそれらの成分についての個々の理解度に合わせた復習が必要です。
評価方法	定期テストにて成績評価を行う。（100%）
受講生へのメッセージ	魅力：本講座は登録販売者としての業務をするうえで、最低限必要な知識です。この知識を得て、更にコミニュケーション等の他のスキルを得て、そしてそれらを総合的に活用してはじめて患者の苦しみ取り除く手助けができるようになります。この患者の苦しみを軽減するという直接的な成果を獲得することが、個人の仕事に対する「やりがい」に直結することはもちろんですが、一般用医薬品の普及は地域医療、そして日本全体として見た時野の医療に対する貢献ができている事を意味します。　　授業計画：本講座で身につける知識は、量・質ともにとても重要で難解です。授業に真摯に取り組むことで、少しでも容易に知識を得ることが出来ます。そのためにも、体調管理に気をつけて欠席や居眠りをしないようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　下巻

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	一般用医薬品論Ⅶ Over The Counter Drugs Theory Ⅶ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	三浦公義
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせ、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、各々の一般用医薬品について理解していることはもとろん、患者の不具合の原因または要因を推測するための、人の身体に対する知識や各病気に対する知識、そして、その対処法に対する知識を持つことが必要です。そして、それが出来たうえで更に、それら個々の知識を総合的に判断して患者の不具合に対する適切な対応策（一般用医薬品の使用や生活習慣の改善等）を考えることが出来るようになるスキルが必要です。本講座終了時には、そのスキルを身につけるために、領域別に基本的な薬剤の知識を得、併せて代表的な病態生理を理解することで、基本的な病態に関して適切な薬品の選択が出来るようになる。

※実務経験：三浦公義　2001年1月にとして調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

各領域における代表的な疾患とそれに対する一般用医薬品の知識と選択方法を習得する。

〈具体的な目標〉

目標①　各領域における代表的一般用医薬品の成分の薬効・薬理を説明できる。

目標②　各領域における代表的疾患の病態・生理を説明できる。

	授業計画・内容
1回目	風邪の病態について説明が出来る。①
2回目	風邪の病態について説明が出来る。②
3回目	かぜ薬について説明が出来る。①
4回目	かぜ薬について説明が出来る。②
5回目	発熱の仕組み・炎症の病態について説明が出来る。①
6回目	発熱の仕組み・炎症の病態について説明が出来る。②
7回目	解熱鎮痛薬について説明が出来る。①
8回目	睡眠の仕組みについて説明が出来る。
9回目	眠気を促す薬について説明が出来る。
10回目	眠気を防ぐ薬について説明が出来る。
11回目	鎮暈薬（乗物酔い防止薬）について説明が出来る。
12回目	小児鎮静薬について説明が出来る。
13回目	咳と痰の発生について説明が出来る。①
14回目	試験
15回目	試験の解答及び解説
準備学習時間外学習	この授業の理解をより効率的に行うには、人体の解剖・生理の知識が必要です。そのために、授業範囲の必要と思われるそれら範囲の予習が必要です。また、複数の領域で用いられる成分については、最初に出できた時のみ説明がさせるので、後に成分名のみ紹介されたり、簡単な追加説明しかされなかった場合には、各自でそれらの成分についての個々の理解度に合わせた復習が必要です。
評価方法	定期テストにて成績評価を行う。（100%）
受講生へのメッセージ	魅力：本講座は登録販売者としての業務をするうえで、最低限必要な知識です。この知識を得て、更にコミニュケーション等の他のスキルを得て、そしてそれらを総合的に活用してはじめて患者の苦しみ取り除く手助けができるようになります。この患者の苦しみを軽減するという直接的な成果を獲得することが、個人の仕事に対する「やりがい」に直結することはもちろんですが、一般用医薬品の普及は地域医療、そして日本全体として見た時野の医療に対する貢献ができている事を意味します。　　授業計画：本講座で身につける知識は、量・質ともにとても重要で難解です。授業に真摯に取り組むことで、少しでも容易に知識を得ることが出来ます。そのためにも、体調管理に気をつけて欠席や居眠りをしないようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　下巻

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	一般用医薬品論Ⅷ Over The Counter Drugs Theory Ⅷ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	三浦公義
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせて、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、各々の一般用医薬品について理解していることはもとろん、患者の不具合の原因または要因を推測するための、人の身体に対する知識や各病気に対する知識、そして、その対処法に対する知識を持つことが必要です。そして、それが出来たうえで更に、それら個々の知識を総合的に判断して患者の不具合に対する適切な対応策（一般用医薬品の使用や生活習慣の改善等）を考えることが出来るようになるスキルが必要です。本講座終了時には、そのスキルを身につけるために、領域別に基本的な薬剤の知識を得、併せて代表的な病態生理を理解することで、基本的な病態に関して適切な薬品の選択が出来るようになる。

※実務経験：三浦公義　2001年1月にとして調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

各領域における代表的な疾患とそれに対する一般用医薬品の知識と選択方法を習得する。

〈具体的な目標〉

目標①　各領域における代表的一般用医薬品の成分の薬効・薬理を説明できる。

目標②　各領域における代表的疾患の病態・生理を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	咳と痰の発生について説明が出来る。②
2回目	鎮咳去痰薬について説明が出来る。
3回目	口腔咽喉薬・うがい薬について説明が出来る。
4回目	胃の働きについて説明が出来る。①
5回目	胃の薬（制酸薬・健胃薬・消化薬）について説明が出来る。①
6回目	胃の薬（制酸薬・健胃薬・消化薬）について説明が出来る。②
7回目	腸の働きについて説明が出来る。①
8回目	腸の薬（整腸薬・止瀉薬・瀉下薬）について説明が出来る。①
9回目	胃腸鎮痛鎮痙薬について説明が出来る。
10回目	浣腸薬について説明が出来る。
11回目	駆虫薬について説明が出来る。
12回目	排泄の仕組みについて説明が出来る。①
13回目	痔の薬・その他泌尿器用薬について説明が出来る。
14回目	試験
15回目	試験の解答及び解説
準備学習時間外学習	この授業の理解をより効率的に行うには、人体の解剖・生理の知識が必要です。そのために、授業範囲の必要と思われるそれら範囲の予習が必要です。また、複数の領域で用いられる成分については、最初に出てきた時のみ説明がさせるので、後に成分名のみ紹介されたり、簡単な追加説明しかされなかった場合には、各自でそれらの成分についての個々の理解度に合わせた復習が必要です。
評価方法	定期テストにて成績評価を行う。（100%）
受講生へのメッセージ	魅力：本講座は登録販売者としての業務をするうえで、最低限必要な知識です。この知識を得て、更にコミニュケーション等の他のスキルを得て、そしてそれらを総合的に活用してはじめて患者の苦しみ取り除く手助けができるようになります。この患者の苦しみを軽減するという直接的な成果を獲得することが、個人の仕事に対する「やりがい」に直結することはもちろんですが、一般用医薬品の普及は地域医療、そして日本全体として見た時野の医療に対する貢献ができている事を意味します。　　授業計画：本講座で身につける知識は、量・質ともにとても重要で難解です。授業に真摯に取り組むことで、少しでも容易に知識を得ることが出来ます。そのためにも、体調管理に気をつけて欠席や居眠りをしないようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　下巻

2023年度 授業概要

学 科 : 薬業科

科目名（英）	一般用医薬品論Ⅸ Over The Counter Drugs Theory Ⅸ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	三浦公義
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせ、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、各々の一般用医薬品について理解していることはもとろん、患者の不具合の原因または要因を推測するための、人の身体に対する知識や各病気に対する知識、そして、その対処法に対する知識を持つことが必要です。そして、それが出来たうえで更に、それら個々の知識を総合的に判断して患者の不具合に対する適切な対応策（一般用医薬品の使用や生活習慣の改善等）を考えることが出来るようになるスキルが必要です。本講座終了時には、そのスキルを身につけるために、領域別に基本的な薬剤の知識を得、併せて代表的な病態生理を理解することで、基本的な病態に関して適切な薬品の選択が出来るようになる。

※実務経験：三浦公義　2001年1月にとして調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

各領域における代表的な疾患とそれに対する一般用医薬品の知識と選択方法を習得する。

〈具体的な目標〉

目標① 各領域における代表的一般用医薬品の成分の薬効・薬理を説明できる。

目標② 各領域における代表的疾患の病態・生理を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	循環器の仕組みについて説明が出来る。①
2回目	循環器の仕組みについて説明が出来る。②
3回目	強心薬について説明が出来る。
4回目	栄養素の利用について説明が出来る。①
5回目	高コレステロール改善薬について説明が出来る。
6回目	血液の役割について説明が出来る。①
7回目	血液の役割について説明が出来る。②
8回目	貧血用薬について説明が出来る。
9回目	女性のホルモンバランスについて説明が出来る。①
10回目	婦人薬について説明が出来る。
11回目	免疫・アレルギーの概略が説明できる。①
12回目	免疫・アレルギーの概略が説明できる。②
13回目	アレルギー用薬について説明が出来る。
14回目	試験
15回目	試験の解答及び解説
準備学習時間外学習	この授業の理解をより効率的に行うには、人体の解剖・生理の知識が必要です。そのために、授業範囲の必要と思われるそれら範囲の予習が必要です。また、複数の領域で用いられる成分については、最初に出できた時のみ説明がさせるので、後に成分名のみ紹介されたり、簡単な追加説明しかされなかった場合には、各自でそれらの成分についての個々の理解度に合わせた復習が必要です。
評価方法	定期テストにて成績評価を行う。（100%）
受講生へのメッセージ	魅力：本講座は登録販売者としての業務をするうえで、最低限必要な知識です。この知識を得て、更にコミニュケーション等の他のスキルを得て、そしてそれらを総合的に活用してはじめて患者の苦しみ取り除く手助けができるようになります。この患者の苦しみを軽減するという直接的な成果を獲得することが、個人の仕事に対する「やりがい」に直結することはもちろんですが、一般用医薬品の普及は地域医療、そして日本全体として見た時野の医療に対する貢献ができている事を意味します。　　授業計画：本講座で身につける知識は、量・質ともにとても重要で難解です。授業に真摯に取り組むことで、少しでも容易に知識を得ることが出来ます。そのためにも、体調管理に気をつけて欠席や居眠りをしないようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　下巻

2023年度 授業概要

学 科 ：薬業科

科目名（英）	一般用医薬品論X Over The Counter Drugs Theory X	必修選択	必修	年次	2	担当教員	三浦公義
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせ、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、各々の一般用医薬品について理解していることはもとろん、患者の不具合の原因または要因を推測するための、人の身体に対する知識や各病気に対する知識、そして、その対処法に対する知識を持つことが必要です。そして、それが出来たうえで更に、それら個々の知識を総合的に判断して患者の不具合に対する適切な対応策（一般用医薬品の使用や生活習慣の改善等）を考えることが出来るようになるスキルが必要です。本講座終了時には、そのスキルを身につけるために、領域別に基本的な薬剤の知識を得、併せて代表的な病態生理を理解することで、基本的な病態に関して適切な薬品の選択が出来るようになる。

※実務経験：三浦公義　2001年1月にとして調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

各領域における代表的な疾患とそれに対する一般用医薬品の知識と選択方法を習得する。

〈具体的な目標〉

目標① 各領域における代表的一般用医薬品の成分の薬効・薬理を説明できる。

目標② 各領域における代表的疾患の病態・生理を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	鼻に用いる薬について説明が出来る。
2回目	眼の解剖生理が説明できる。①
3回目	眼科用薬について説明が出来る。
4回目	皮膚の解剖生理が説明できる。①
5回目	皮膚に用いる薬について説明が出来る。①
6回目	歯や口中に用いる薬について説明が出来る。
7回目	ニコチン中毒について説明できる。
8回目	禁煙補助薬について説明が出来る。
9回目	滋養強壮保健薬について説明が出来る。
10回目	漢方処方製剤・生薬製剤について説明が出来る。①
11回目	漢方処方製剤・生薬製剤について説明が出来る。②
12回目	公衆衛生用薬について説明が出来る。
13回目	一般用検査薬について説明が出来る。
14回目	試験
15回目	試験の解答及び解説
準備学習時間外学習	この授業の理解をより効率的に行うには、人体の解剖・生理の知識が必要です。そのために、授業範囲の必要と思われるそれら範囲の予習が必要です。また、複数の領域で用いられる成分については、最初に出できた時のみ説明がさせるので、後に成分名のみ紹介されたり、簡単な追加説明しかされなかった場合には、各自でそれらの成分についての個々の理解度に合わせた復習が必要です。
評価方法	定期テストにて成績評価を行う。（100%）
受講生へのメッセージ	魅力：本講座は登録販売者としての業務をするうえで、最低限必要な知識です。この知識を得て、更にコミニュケーション等の他のスキルを得て、そしてそれらを総合的に活用してはじめて患者の苦しみ取り除く手助けができるようになります。この患者の苦しみを軽減するという直接的な成果を獲得することが、個人の仕事に対する「やりがい」に直結することはもちろんですが、一般用医薬品の普及は地域医療、そして日本全体として見た時野の医療に対する貢献ができている事を意味します。　　授業計画：本講座で身につける知識は、量・質ともにとても重要で難解です。授業に真摯に取り組むことで、少しでも容易に知識を得ることが出来ます。そのためにも、体調管理に気をつけて欠席や居眠りをしないようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　下巻

2023年度 授業概要

学 科 ：薬業科

科目名（英）	基礎漢方学Ⅰ Basic Oriental Medicine Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	三浦公義
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

東洋医学は、現在の日本における医学教育で行われている西洋医学とはまったく別の医学体系になります。そのため、漢方薬をより効果的に使用するためには、漢方薬の成り立ちの基礎である東洋医学の知識を得ることが必要となります。本講座終了じには、東洋医学の考え方駆使して、実際の患者の病態把握である「証」を立てることが出来るようになる。

※実務経験：三浦公義　2001年1月にとして調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

東洋医学独特の考え方を理解し、その説明が出来る。考え方に基づき病態の説明が出来る。

代表的な弁証法に基づいて「証」を立てることが出来る。

授業計画・内容	
1回目	東洋医学の考え方が説明できる。
2回目	「気」について説明できる。
3回目	「血」について説明できる。
4回目	「水」について説明できる。
5回目	「気血水弁証」について説明できる。
6回目	「肝」について説明できる。
7回目	「心」について説明できる。
8回目	「脾」について説明できる。
9回目	「肺」について説明できる。
10回目	「腎」について説明できる。
11回目	「臓腑弁証」について説明できる。
12回目	「六経弁証」について説明できる。
13回目	漢方薬の生薬構成意義を説明できる。
14回目	試験
15回目	試験の解答及び解説
準備学習時間外学習	東洋医学独特のはじめて聞く言葉や、聞いたことがある言葉でも意味が違うもの等、授業を受ける前に予習をしてチェックしておくことが、理解不足や誤った理解を防ぐ有効な手段となります。そのために、授業予定範囲の教科書部分の確認を予習として行うことが必要です。
評価方法	定期テストにて成績評価を行う。（100%）
受講生へのメッセージ	〈魅力〉現在は、漢方薬を東洋医学の考え方を習得せずに、記載されている効能効果に沿って、他の一般用医薬品と同様に西洋医学的見方により運用されることが多いのですが、東洋医学の考え方を習得することで、効能効果以外のその漢方薬の持つ力を理解し、さらに従来から勉強している西洋医学と併せて考えることで、登録販売者として患者のニーズにより幅広く・適切に応える事ができるようになり、このことが患者の苦痛を取り除くという本来の目的をより高い次元で達成し、そして患者の信頼感を得るという登録販売者としての能力向上に寄与することが出来る講座です。 〈授業計画〉限られた時間の中で、効率よく学習するため毎回新たな知識を学習していくことになります。体調管理に気をつけて欠席が無い様にしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

絵でみる和漢診療学：医学書院

漢方常用処方解説：三考塾叢刊

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	基礎漢方学Ⅱ Basic Oriental Medicine Ⅱ	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	三浦公義
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

東洋医学は、現在の日本における医学教育で行われている西洋医学とはまったく別の医学体系になります。そのため、漢方薬をより効果的に使用するための診断方法・運用方法にも東洋医学独自の方法が用いられます。これらの知識を得て、代表的な疾患における運用法を身につけることで、本講座終了時には、患者の訴えに対する適切な漢方薬の選択が出来るようになります。

※実務経験：三浦公義　2001年1月にとして調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

東洋医学独特の診断法を理解し、その説明が出来る。そして、その診断穂に基づき患者の病態の説明が出来る。

代表的な疾患における、東洋医学的病態把握に基づく漢方薬の選択が出来る。

授業計画・内容	
1回目	東洋医学的診察（患者観察法）が出来る①−総合−
2回目	東洋医学的診察（患者観察法）が出来る②−望診−
3回目	東洋医学的診察（患者観察法）が出来る③−聞診−
4回目	東洋医学的診察（患者観察法）が出来る④−問診−
5回目	東洋医学的診察（患者観察法）が出来る⑤−切診−
6回目	風邪の漢方薬の病態による選択が出来る。
7回目	更年期の漢方薬の病態による選択が出来る。
8回目	冷え性の漢方薬の病態による選択が出来る。
9回目	便秘の漢方薬の病態による選択が出来る。
10回目	関節痛の漢方薬の病態による選択が出来る。
11回目	疲労倦怠感の漢方薬の病態による選択が出来る。
12回目	食欲不振の漢方薬の病態による選択が出来る。
13回目	鼻炎の漢方薬の病態による選択が出来る。
14回目	試験
15回目	試験の解答及び解説
準備学習時間外学習	漢方薬を運用していくためには、東洋医学独特の考え方を理解しておくことが必要です。また、疾患名というキーワードに対して漢方薬の選択をしてゆく講義では、個々の疾患における西洋医学的な病態生理の知識が必要となります。そのために、授業予定範囲のそれらのことについての確認を予習として行うことが必要です。
評価方法	定期テストにて成績評価を行う。（100%）
受講生へのメッセージ	〈魅力〉現在は、漢方薬を東洋医学の考え方を習得せずに、記載されている効能効果に沿って、他の一般用医薬品と同様に西洋医学的見方によりに運用されることが多いのですが、東洋医学の診断方法を習得しそれに沿った漢方薬の選択をすることが出来るスキルを身につけることで、登録販売者として患者のニーズにより幅広く・適切に応える事ができるようになり、このことが患者の苦痛を取り除くという本来の目的をより高い次元で達成し、そして患者の信頼感を得るという登録販売者としての能力向上に寄与することが出来る講座です。 〈授業計画〉限られた時間の中で、効率よく学習するため毎回新たな知識を学習していくことになります。体調管理に気をつけて欠席が無い様にしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

絵でみる和漢診療学：医学書院

漢方常用処方解説：三考塾叢刊

2023年度　授業概要

学　科　：　薬業科

科目名	登録販売者特別講座Ⅰ	必修選択	必須	年次	2	担当教員	松本　澄久
						実務経験	○
（英）	Registered Drug Distrbutor License Specal Lecture I	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	共通			（単位）	2	曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

登録販売者試験の内容を中心に授業を行う。

※実務経験・・・病院・医務室で30年の臨床経験。准看護学院等で講義の実績。

【到達目標】

登録販売者試験の内容を理解し、7割以上正解できるようになる。また、登録販売者試験の知識を理解し、店舗での情報提供や相談対応ができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。
3回目	登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。
4回目	登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。
5回目	登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。
6回目	登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。
7回目	登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。
8回目	登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。
9回目	登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。
10回目	登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。
11回目	登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。
12回目	登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。
13回目	登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。
14回目	前期期末試験
15回目	前期期末試験の解説
準備学習時間外学習	登録販売者試験において基本的な知識となるところです。まだ理解していない専門用語は教科書を用いて復習を行ってください。
評価方法	・定期テスト(80%) ・小テスト(10%) ・出席（10%） ※授業の前に前回の授業の内容の小テストを行います。 ※出席率や授業態度を考慮し成績評価を行います。
受講生へのメッセージ	登録販売者試験に向けて、今のうちからわからない用語の復習や、効率的な学習を行うために体調管理を心がけてください。

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験 受験対策共通テキスト上下巻(日本薬業研修センター)

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	登録販売者特別講座Ⅱ Registered Drug Distributor License Special Lecture Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	姪原　裕子
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

この授業では添付文書の読み方について説明する事が出来るよう授業を行っていきます。一般用医薬品において重要となる添付文書ですが、我々が消費者に対して、医薬品の説明に使用したり、服用をする本人が読み、保管するのはもちろん、医療機関において受診する際、日頃どのような医薬品を服用していたか、また医薬品での事故が生じた際の非常に重要な証拠となります。また一般用医薬品での事故が生じた時に対処を行うのも我々です。消費者が来店時、普段この様な医薬品を飲んでいるが同じ商品がないといった場合、同成分から選別し、別の医薬品にスイッチする時にも必要になってきます。ややこしい用語や似ている用語がたくさん出てきますが、復習を繰り返しながら覚えていきましょう。

※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

医薬品の添付文書、製品表示について記載内容を的確に理解し、消費者に適切な情報提供や相談対応が出来るようになる。

≪到達目標≫

【目標①】一般用医薬品の添付文書での専門用語を理解し、「してはいけないこと」の内容を理解説明する事が出来る。

【目標②】一般用医薬品の添付文書での専門用語を理解し、「相談すること」の内容を理解説明する事が出来る。

【目標③】一般用医薬品での安全対策の概要を理解し、一般用医薬品でのトラブルが起きた際の対処法について説明する事が出来る。

授業計画・内容	
1回目	【目標①】【目標②】医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第52条の規定の内容の添付文書に記載されている内容の説明が出来る。
2回目	【目標①】添付文書での「してはいけないこと」での「次の人は使用（服用）しないこと」「次の部位に使用しないこと」の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。
3回目	【目標①】添付文書での「してはいけないこと」での「本剤を使用（服用）している間は次の医薬品を使用しないこと」等の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。
4回目	【目標②】添付文書での医薬品を使用する前に「相談すること」での「医師（歯科医師）の治療を受けている人」、妊娠、授乳中の人に対する注意事項の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。
5回目	【目標②】添付文書での医薬品を使用する前に「相談すること」での「高齢者」「アレルギー症状を起こした人」の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。
6回目	【目標②】添付文書での医薬品を使用する前に「相談すること」での「次の症状がある人」「次の診断を受けた人」の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。
7回目	【目標②】添付文書での医薬品を使用する後に「相談すること」での副作用に関するの説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。
8回目	【目標②】添付文書での医薬品を使用する後に「相談すること」での効能及び効果、用法・用量、成分分量に関するの説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。
9回目	【目標②】【目標③】添付文書での医薬品を使用する後に「相談すること」での養生訓、取り扱い上の注意事項の説明が出来る。
10回目	【目標③】添付文書での「製品表示」について説明する事が出来る。
11回目	【目標③】医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第68条の規定である安全性速報、緊急安全性情報の概要について説明する事が出来る。
12回目	【目標③】医薬品の安全対策での医薬品副作用被害救済制度について説明する事が出来る。
13回目	前期のまとめ
14回目	前期試験
15回目	前期試験解説
準備学習時間外学習	授業の都度、復習を行ってください。自宅にある一般用医薬品や、購入した一般用医薬品の中に入っている添付文書を積極的に熟読し、分からない用語を調べるようにしましょう。
評価方法	・定期テスト(80%) ・小テスト(10%) ※授業の前に前回の授業の内容の小テストを行います。 ※出席率や授業態度を考慮し成績評価を行います。
受講生へのメッセージ	登録販売者試験での薬事関係法規の分野は年々難化しており、長文での出題や数字のみを変えた問題などの出題傾向にあります。知識や技術も大事ですが、文章の読解力をつけることも大事で、試験でも問題を早く読み解くことに繋がり、医薬品を購入しに来たお客さんへの商品の説明にも生かすことが出来ます。難しい分野ではありますが、社会での登録販売者の在り方をこの講義を通して理解してほしいと思います。

【使用教科書・教材・参考書】

2023年度　授業概要

学　科：　薬業科

科目名	登録販売者特別講座Ⅲ	必修選択	必須	年次	2	担当教員	姪原　裕子
						実務経験	○
（英）	Registered Drug Distrbutor License Specal LectureⅢ	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	共通			（単位）	2	曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

登録販売者試験に基づいて、第1章「医薬品に共通する特性と基本的な知識」中心に授業を行う。

※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

第1章「医薬品に共通する特性と基本的な知識」の内容を理解し、9割以上正解できるようになる。また、第1章の知識を理解し、店舗での情報提供や相談対応ができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識での「医薬品概論」について説明することができる。
2回目	登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識での「医薬品の効き目や安全性に影響する要因（副作用）」について説明することができる。
3回目	登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識での「医薬品の効き目や安全性に影響する要因（相互作用や年齢に対する配慮）」について説明することができる。
4回目	登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識での「医薬品の効き目や安全性に影響する要因（妊娠・授乳中、医療機関で治療を受けている人）」について説明することができる。
5回目	登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識での「適切な医薬品選択と受診勧奨」について説明することができる。
6回目	登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識での「薬害の歴史」について説明することができる。
7回目	登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識を理解した上で練習問題と、問題の意図について説明することができる。
8回目	登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識を理解した上で練習問題と、問題の意図について説明することができる。
9回目	登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識を理解した上で練習問題と、問題の意図について説明することができる。
10回目	登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識を理解した上で練習問題と、問題の意図について説明することができる。
11回目	登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識を理解した上で練習問題と、問題の意図について説明することができる。
12回目	登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識を理解した上で練習問題と、問題の意図について説明することができる。
13回目	前期のまとめ
14回目	前期期末試験
15回目	前期期末試験の解説
準備学習時間外学習	登録販売者試験において基本的な知識となるところです。まだ理解していない専門用語は教科書を用いて復習を行ってください。また、医薬品の本質や、副作用については、実際の店舗でのお客様の相談に答える際に答えることが多い内容です。
評価方法	・定期テスト(80%) ・小テスト(10%) ・出席（10%） ※授業の前に前回の授業の内容の小テストを行います。 ※出席率や授業態度を考慮し成績評価を行います。
受講生へのメッセージ	登録販売者試験に向けて、今のうちからわからない用語の復習や、効率的な学習を行うために体調管理を心がけてください。

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験 受験対策共通テキスト上下巻(日本薬業研修センター)

2023年度 授業概要

学 科 ： 薬業科

科目名	登録販売者特別講座Ⅳ	必修選択	必須	年次	2	担当教員	姪原 裕子
						実務経験	○
（英）	Registered Drug Distrbutor License Specal Lecture Ⅳ	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	共通			（単位）	2	曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

この授業では添付文書の読み方について説明する事が出来るよう授業を行つていきます。一般用医薬品において重要となる添付文書ですが、我々が消費者に対して、医薬品の説明に使用したり、服用をする本人が読み、保管するのはもちろん、医療機関において受診する際、日頃どのような医薬品を服用していたか、また医薬品での事故が生じた際の非常に重要な証拠となります。また一般用医薬品での事故が生じた時に対処を行うのも我々です。消費者が来店時、普段この様な医薬品を飲んでいるが同じ商品がないといつた場合、同成分から選別し、別の医薬品にスイッチする時にも必要になつてきます。ややこしい用語や似ている用語がたくさん出てきますが、復習を繰り返しながら覚えていきましょう。

※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

医薬品の添付文書、製品表示について記載内容を的確に理解し、消費者に適切な情報提供や相談対応が出来るようになる。

≪到達目標≫

【目標①】一般用医薬品の添付文書での専門用語を理解し、「してはいけないこと」の内容を理解説明する事が出来る。

【目標②】一般用医薬品の添付文書での専門用語を理解し、「相談すること」の内容を理解説明する事が出来る。

【目標③】一般用医薬品での安全対策の概要を理解し、一般用医薬品でのトラブルが起きた際の対処法について説明する事が出来る

授業計画・内容	
1回目	【目標①】【目標②】医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第52条 の規定の内容の添付文書に記軍えされている内容を説明することが出来る。
2回目	【目標①】添付文書での「してはいけないこと」での「次の人は使用(服用)しないこと」「次の部位に使用しないこと」の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る
3回目	【目標①】添付文書での「してはいけないこと」での「本剤を使用(服用)し ている間は次の医薬品を使用しないこと」等の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。
4回目	【目標②】添付文書での医薬品を使用する前に「本目談すること」での「医師(歯科医師)の 治療を受けている人」、妊娠、授乳中の人に対する注意事項の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。
5回目	【目標②】添付文書での医薬品を使用する前に「本目談すること」での「高齢者」「アレルギー症状を起こした人」の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。
6回目	【目標②】添付文書での医薬品を使用する前に「相談すること」での「次の症状がある人」「次の診断を受けた人」の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。
7回目	【目標②】添付文書での医薬品を使用する後に「本目談すること」での副作用に関するの説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。
8回目	【目標②】添付文書での医薬品を使用する後に「相談すること」での効能及び効果、用法・用量、成分分量に関するの説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。
9回目	【目標②】【目標③】添付文書での医薬品を使用する後に「相談すること」での養生訓、取り扱い上の注意事項の説明が出来る。
10回目	【目標③】添付文書での「製品表示」について説明する事が出来る。
11回目	【目標③】医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第68条 の規定である安全性速報、緊急安全性情報の概要について説明する事が出来る。
12回目	【目標③】医薬品の安全対策での医薬品副作用被害救済制度について説明する事が出来る。
13回目	前期のまとめ
14回目	前期期末試験
15回目	前期期末試験の解説
準備学習時間外学習	授業毎に復習を行いましょう。一般用医薬品の成分表示や添付文書を熟読し、わからない用語は調べるようにしましょう。
評価方法	・定期テスト(80%) ・小テスト(10%) ・出席(10%) ※授業の前に前回の授業の内容の小テストを行います。 ※出席率や授業態度を考慮し成績評価を行います。
受講生へのメッセージ	登録販売者試験での薬事関係法規の分野は年々難化しており、長文での出題や数字のみを変えた問題などの出題傾向にあります。 知識や技術も大事ですが、文章の読解力をつけることも大事で、試験でも問題を早く言売み解くことに繋がり、医薬品を購入しに来たお客さんへの商品の説明にも生かすことが出来ます。難しい分野ではありますが、社会での登録販売者の在り方をこの講義を通して理解してほしいと思います。

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験 受験対策共通テキスト上下巻(日本薬業研修センター)

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	登録販売者特別講座Ⅴ Registered Drug Distributor License Spcial Lecture Ⅴ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	鬼塚　龍
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医薬品の適正使用・安全性対策のためには、効能・効果、用法・用量、副作用などの情報を知り、正しく使用することが不可欠です
また、医薬品による副作用で健康被害が発生してしまった場合に、医薬品副作用被害救済制度等への案内、窓口紹介を行うことができるようになったり、
医薬品の適正使用のための啓発活動が行えるようになる

＊実務者経験：薬剤師として平成19年4月～平成24年5月急性期医療病院、平成24年6月～調剤薬局に勤務

【到達目標】

・添付文書や製品表示に記載されている情報から、購入者に必要な情報をわかりやすく伝え、医薬品を適切に選択して使用してもらえるように説明できるようになる
・医薬品の副作用情報の収集精度や収集された副作用情報を評価し、対応できるようになる
・副作用による健康被害について、社会的な救済制度について説明できるようになる

	授業計画・内容
1回目	医薬品の適正使用情報について説明できる
2回目	医薬品の効果的・効率的な説明ができる
3回目	医薬品の添付文書を読み、説明できる
4回目	医薬品の添付文書を読み、説明できる
5回目	医薬品の製品表示を読み、説明できる
6回目	緊急安全性情報・安全性速報を理解し、説明できる
7回目	購入者等に医薬品の適正使用のための情報を説明できる
8回目	医薬品の安全対策について説明できる
9回目	医薬品による副作用の報告様式について説明できる
10回目	医薬品副作用被害救済制度について説明できる
11回目	医薬品副作用被害救済制度について説明できる
12回目	一般医薬品の有害事象について説明できる
13回目	医薬品の適正使用のための啓発活動について説明できる
14回目	医薬品の適正使用・安全対策について説明できる
15回目	医薬品の適正使用・安全対策について説明できる
準備学習時間外学習	この授業を受けるには、要指導医薬品又は一般用医薬品にはどのようなものがあるか、副作用として起こりうる事象についてどのようなことがあるか予習が必要です
評価方法	定期試験にて知識の到達評価を行う
受講生へのメッセージ	医薬品の効果を引き出し、副作用を防ぐために、添付文書や製品表示を購入者等にわかりやすく説明するスキルは、医薬品の専門家として最も重要な役割の一つです 授業では登録販売者試験対策として、問題を解いていただき、その後解説をいたします。

S

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	登録販売者特別講座Ⅵ Registered Drug Distributor License Spcial LectureⅥ	必修選択	必須	年次	2	担当教員	姪原　裕子
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

1～2年生にかけて行った学習のまとめを行っていきます。範囲は第4章薬事関係法規・制度のまとめを行い、過去に実際に出題された登録販売者の問題を解き、解説を行います。

※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

第4章薬事関係法規・制度、第5章医薬品の適正使用・安全対策の復習授業・練習問題を行います。
【目標①】薬事関係法規・制度を理解し、過去に実際に登録販売者試験で出題された問題を解答し、問題の意図を説明する事が出来る。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	【目標①】薬事関係法規・制度の内容、練習問題の意図を理解し解説することが出来る。
3回目	【目標①】薬事関係法規・制度の内容、練習問題の意図を理解し解説することが出来る。
4回目	【目標①】薬事関係法規・制度の内容、練習問題の意図を理解し解説することが出来る。
5回目	【目標①】薬事関係法規・制度の内容、練習問題の意図を理解し解説することが出来る。
6回目	【目標①】薬事関係法規・制度の内容、練習問題の意図を理解し解説することが出来る。
7回目	【目標①】薬事関係法規・制度の内容、練習問題の意図を理解し解説することが出来る。
8回目	【目標①】薬事関係法規・制度の内容、練習問題の意図を理解し解説することが出来る。
9回目	【目標①】薬事関係法規・制度の内容、練習問題の意図を理解し解説することが出来る。
10回目	【目標①】薬事関係法規・制度の内容、練習問題の意図を理解し解説することが出来る。
11回目	【目標①】薬事関係法規・制度の内容、練習問題の意図を理解し解説することが出来る。
12回目	【目標①】薬事関係法規・制度の内容、練習問題の意図を理解し解説することが出来る。
13回目	【目標①】薬事関係法規・制度の内容、練習問題の意図を理解し解説することが出来る。
14回目	期末試験
15回目	期末試験解説
準備学習時間外学習	薬事関係法規・制度の問題は言い回しが独特なところがあるので、要点をおさえて、内容を理解するようにしましょう。長文の文章問題の出題されることが非常に多いので、普段から登録販売者の過去問に目を通すようにしましょう。
評価方法	期末試験100%とします。
受講生へのメッセージ	文章の言い回しがややこしく、ひっかけ問題が多いので、練習問題を解く際は慌てず要点に下線を引きながら落ち着いて解くようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験受験対策共通テキスト上巻

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名	登録販売者特別講座Ⅶ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	姪原　裕子
						実務経験	○
（英）	Registered Drug Distributor License Spcial LectureⅦ	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	共通			（単位）	2	曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

人体の働きと医薬品（第2章）以下の項目について、講義と模試を実施し内容を定着する。

※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

登録販売者試験に合格する。

授業計画・内容	
1回目	【消化器系】名称、構造、主な働きについて説明できる。
2回目	【呼吸器系】名称、構造、主な働きについて説明できる。
3回目	【循環器系】名称、構造、主な働きについて説明できる。
4回目	【泌尿器系】名称、構造、主な働きについて説明できる。
5回目	【目】名称、構造、主な働きについて説明できる。
6回目	【鼻】名称、構造、主な働きについて説明できる。
7回目	【耳】名称、構造、主な働きについて説明できる。
8回目	【外皮系】名称、構造、主な働きについて説明できる。
9回目	【骨格系】名称、構造、主な働きについて説明できる。
10回目	【筋組織】名称、構造、主な働きについて説明できる。
11回目	【中枢神経系】名称、構造、主な働きについて説明できる。
12回目	【末梢神経系】名称、構造、主な働きについて説明できる。
13回目	試験対策
14回目	後期試験
15回目	試験返却・解説
準備学習時間外学習	残り2ヶ月で効率的に点数アップできるように、これまでの模試の結果から自分の弱点を絞り出しておくこと。
評価方法	定期試験100%
受講生へのメッセージ	模試を解いて終わりではなく、誤答箇所の確認と復習を反復してこそ点数アップに繋がります。日々努力して登録販売者試験に合格しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験対策テキスト上巻・下巻

2023年度　授業概要

学　科：　薬業科

科目名	実習指導Ⅱ	必修選択	必須	年次	1	担当教員	姪原　裕子
						実務経験	○
（英）	Clinical Guidance Ⅱ	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	共通			（単位）	2	曜日・時限	火曜日2限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

登録販売者に関する知識、登録販売者試験の勉強内容や登録販売者の実務経験など、登録販売者に関係する幅広い内容を学習する。

※実務経験・・・2017年4月にはり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

授業を通して、面接や実際に業務に対応し、授業内容を応用して接客や店舗における店内業務を行うことができる。

授業計画・内容	
1回目	登録販売者試験ついて説明することができる。
2回目	就職活動のための身だしなみや、面接でよく聞かれる質問に対応することができる。
3回目	登録販売者の概要ついて説明することができる。
4回目	医療用医薬品と一般用医薬品の違いを説明できる。
5回目	登録販売者のドラッグストア店舗業務内容について説明できる。
6回目	登録販売者のドラッグストア店舗業務内容であるPOPを作成することができる。
7回目	登録販売者のドラッグストア店舗業務内容である薬品棚の作成することができる。
8回目	医薬品を安全に使用してもらうための販売時の質問事項について説明できる。
9回目	特定保健用食品を含む保健機能食品の分類について説明できる。
10回目	栄養機能食品の表示対象となる栄養成分について説明できる。
11回目	市販薬としての漢方薬の役割について説明できる。
12回目	芳香療法(アロマテラピー)が持つ作用と活用方法について説明できる。
13回目	前期のおさらいと試験対策
14回目	前期期末試験
15回目	前期期末試験の解説
準備学習時間外学習	実務実習
評価方法	期末試験：80% 出席：20%
受講生へのメッセージ	実習着に着替えて参加してください。

【使用教科書・教材・参考書】

薬局・薬店のワークの基礎知識

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	情報処理Ⅰ Date Processing Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	森田　道稔
						実務経験	
		授業形態	実習	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

Windowsの基本操作の習得とWordアプリケーションソフトでのビジネス文書・地図などを作成する機能を習得する。
本授業終了後には各機能を操作出来るようになる。 毎回文書の入力練習を行う。(10分計測)

【到達目標】

Wordテキスト各章の内容を十分に理解し、Wordアプリケーションソフト操作が出来るようになる。
各章の復習問題が作成出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	Windowsの基礎知識　入力練習(10分計測)
2回目	ITリテラシー　入力練習(10分計測)
3回目	Word (Wordの基本操作、文章の編集)　入力練習(10分計測)
4回目	Word (文章の編集、表現力のある文書作成)　入力練習(10分計測)
5回目	Word (表現力のある文書作成、復習問題作成①)　入力練習(10分計測)
6回目	Word (図形の応用)　入力練習(10分計測)
7回目	Word (復習問題②)　入力練習(10分計測)
8回目	Word (表の作成)　入力練習(10分計測)
9回目	Word (表の作成、復習問題③)　入力練習(10分計測)
10回目	Word (Wordの便利な機能)　入力練習(10分計測)
11回目	Word (Wordの便意な機能、復習問題④)　入力練習(10分計測)
12回目	Word (文書をサポートする機能)　入力練習(10分計測)
13回目	Word (復習問題⑤)　入力練習(10分計測)
14回目	後期試験
15回目	総評
準備学習 時間外学習	マイクロソフトオフィスのWordアプリケーションソフトを使用するので、まずはアプリケーションソフトに慣れる必要があります。 パソコンを使用できる時間はWordアプリケーションソフトを使って操作練習を行って下さい。
評価方法	定期テスト(100%)
受講生へのメッセージ	講義はPC教室でWordアプリケーションソフトを使用する実習となります。 Wordアプリケーションソフトを使いこなせるようになりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

Word COMPUTER BASIC for windows

2023年度　授業概要

学　科　：　薬業科

科目名（英）	実習指導Ⅲ Clinical Guidance	必修選択	選択	年次	1	担当教員	有村　貴利
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】

ドラッグストアの実務実習を成功させるために、実習の心構え、マナー、身だしなみを身に付け、実習を成功させることができる。

【到達目標】

ドラッグストアでの留意点や技術向上のための知識・技術を習得する。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。ドラッグストアの実習について説明ができる。
2回目	ドラッグストア業界について、現場の働き方・役割を説明することができる。①
3回目	ドラッグストア業界について、現場の働き方・役割を説明することができる。②
4回目	ドラッグストア実習の目的を改めて見直し、目標設定を行うことができる。
5回目	グループワーク　～実習先の情報共有をすることができる～①
6回目	グループワーク　～実習先の情報共有をすることができる～②
7回目	グループワーク　～実習先での自身の課題に気付くことができる～①
8回目	グループワーク　～実習先での自身の課題に気付くことができる～②
9回目	ドラッグストアの企業研究①
10回目	ドラッグストアの企業研究②
11回目	ドラッグストアの企業研究③
12回目	ドラッグストアの企業研究④
13回目	ドラッグストア実習の目標設定を改めて見直し、目標の再設定をすることができる。
14回目	レポート制作①
15回目	レポート制作②
準備学習時間外学習	実習先以外のドラッグストアへ足を運び、お店の雰囲気や商品・スタッフの働き方をお客様目線またはスタッフ目線で考える。また、店舗比較をする。
評価方法	レポート（100%）
受講生へのメッセージ	この授業では、ドラッグストア実習について必要な課題に取り組みます。現場でスムーズに実習を始められるように実習生としての心構えなどの姿勢を学び、卒業後は即戦力をして活躍するために授業を進行していきます。日頃から各企業のドラッグストアへ足を運び、将来の姿をイメージしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料を使用

2023年度　授業概要

学　科　：　薬業科

科目名（英）	英会話 English Conversation and Terminology of Medical	必修選択	必須	年次	1	担当教員	ILC
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

国際社会になった昨今、医療従事者も英会話が必須となっている。
臨床現場で英会話がスムーズにできるようになる。
海外研修で英語で対応できるようになる。

【到達目標】

臨床現場に関係した英語表現に慣れ親しみ、実際に英会話が必要とされたときに対応できる能力を習得する。
海外研修時、英語で対応できるようにする。
〈具体的な目標〉
目標①医療現場で対象者に対して適切に英語で対応できる。
目標②問診等を英語で対応できる。
目標③検査・測定時、英語で対応できる。
目標④受付案内に英語で対応できる。

授業計画・内容	
1回目	目標①　受付で対象者と英語対応ができる。
2回目	目標①　病院案内を英語対応できる。
3回目	目標②　症状の痛みに対して英語対応できる。
4回目	目標②　様々な症状に対して英語対応できる。
5回目	目標②　問診で既往歴・家族歴を英語対応できる。
6回目	目標②　問診でアレルギー・生活習慣について英語対応できる。
7回目	目標③　身体測定について英語対応できる。
8回目	目標③　バイタルサイン時に英語対応できる。
9回目	目標③　検査・処置時に英語対応できる。
10回目	目標②　救急患者に対して英語対応できる。
11回目	目標③　整形外科疾患に対して英語対応できる。
12回目	目標④　高度な受付英会話に対応できる①
13回目	目標④　高度な受付英会話に対応できる②
14回目	目標④　処方箋・カルテに対して英語対応できる。
15回目	定期試験
準備学習時間外学習	（目標①）前提：この授業を受けるには、まず日本語で案内方法を予習しておくことが必要です。 （目標②）前提：この授業を受けるには、まず検査方法を予習しておくことが必要です。 （目標③）前提：この授業を受けるには、まず検査・測定を予習しておくことが必要です。 （目標①②③）講義後、学生同士で復習をしておくことが必要です。
評価方法	定期試験にて知識・技能の到達評価を行う。 ●定期試験（100%） 成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	魅力：グローバル化している現代社会において、英会話はコミュニケーションスキルとして必要となっている。臨床現場や海外研修時に英語で対応できるスキルを身に付けることで、より楽しい時間を過ごすことができます。英会話を楽しむことができるように授業展開して行きます。 授業計画：臨床現場や海外研修時に即実践できるよう、演習を交えながら授業を行いますので、体調管理には、気を付けて欠席をしないようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：ILC国際語学センター：医療英語コミュニケーション

2023年度　授業概要

学　科　：　薬業科

科目名	ホスピタリティ	必修選択	必須	年次	1	担当教員	松岡　尚美
						実務経験	
（英）	lecture in Hospitality	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	共通			（単位）	2	曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格を取得した講師から、教本をベースにホスピタリティのフレームを理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティ・マインドを学びます。様々な業界の事例を参考にし、自ら考え実践できることを目指します。

※実務者経験
藤田観光株式会社小倉ワシントンホテルにて4年半フロント課勤務。
日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格取得。

【到達目標】

＜具体的な目標＞
①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。
②業界で求められているホスピタリティを学び、相手を思いやる気持ちの表現の仕方や期待を超えるサービスの提供方法を考えることができる。
③現場でホスピタリティ・ビジネスを展開することができる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション：講義の説明　動画を視聴し「NOと言わないサービス」を理解できる
2回目	日本のおもてなし文化からサービスとホスピタリティの違いや語源について理解できる
3回目	「ザ・リッツカールトンクレド」と「ミスティーク」を理解し、理念浸透とホスピタリティ溢れるチーム作りを理解できる
4回目	ホスピタリティの実践①　お客様に好感を持っていただけるよう、「基本マナー」を身につける
5回目	ホスピタリティの実践②　効果的な「傾聴」を理解し医療現場で応用できる
6回目	顧客満足と顧客ロイヤルティの関係性を理解し、顧客の感情を動かすマーケティング戦略を考える
7回目	ご高齢者や障がいのある方への対応について理解できる
8回目	異文化コミュニケーション、医療で用いる「やさしい日本語」を学び、異文化適応力を身につける
9回目	クレームが起きる原因とお客様の心理を理解し、柔軟な対応ができる
10回目	「QSC」について理解し医療現場で応用することができる
11回目	ハラスメントやコンプライアンスについて正しく理解できる
12回目	組織力を上げるために必要な組織と社員（従業員）のホスピタリティ、リーダーシップの2つの要素について理解できる
13回目	パソコンを使いWordでレポートを作成する
14回目	期末試験　※レポート提出日
15回目	後期講義のまとめ
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身につけるためには、日頃から「相手の立場に立つ」ことや「相手を思いやる」ことを意識し行動することで身についていきます。 また、ホスピタリティに関する書籍を進んで読むことや、感動体験を積むなど、感性を磨いてください。
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」（2,000字以上/Word作成）・・・・締め切り厳守。 ①レポート提出期限日を含め最低10コマ出席を資格認定の基準とする。 ②資格認定と授業評価に必要なレポートですので、必ず期限を守って提出してください。 ※レポート作成にあたって、USBが必要です。作り方やWordの書式など細かいルールがあります。講義の中で丁寧に説明しますのでルールは必ず守ってください。
受講生へのメッセージ	ホスピタリティはどの業界においても必要とされており、新型コロナウィルス感染症により様々な対応を強いられている中でこそ、人の気持ちに寄り添えることができる人材が求められています。 本講義では抽象的に語られがちなホスピタリティをイメージしやすいよう、様々な事例や動画を視聴し理解を深めてもらいます。レポートを作成することにより講義で習得した知識と論理的な思考をアウトプットできるので将来への自分の投資だと思って作成してください。

【使用教科書・教材・参考書】
ホスピタリティ・コーディネータ教本/日本ホスピタリティ推進協会
※プリント適宜配布

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	コミュニケーションスキル Communication Skill	必修選択	必修	年次	1	担当教員	峯　江里子
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	月曜日3限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

社会人の基礎となるビジネスマナーを学びながら、円滑に人間関係形成を行うためのコミュニケーションを学ぶ。授業全体を通して、グループワークやディスカッションを交えながら、自ら考え、価値観を築いていっていただきます。（検定対策も有り）

◆実務経験
国家資格2級キャリアコンサルティング技能士の資格を有し、専門学校に13年従事。その後は、専門学校や企業の新人研修講師として、ビジネスマナー・メイク等について指導する。

【到達目標】

【目標①】基礎的な対人方法を理解し、社会ルールとして必要な知識を身につけ、行動に移すことが出来るようになる
【目標②】コミュニケーションについて理解を深めることにより、ご自身の価値観を築き、“心遣い”としてのマナーのある行動が出来るようになる
【目標③】コミュニケーションスキルアップ検定合格を目指す

授業計画・内容	
1回目	【オリエンテーション・全体像をつかむ】 受講の目的を明確に持ち、自身の「コミュニケーション」における価値観を知ることが出来る
2回目	【コミュニケーションとサービス】 コミュニケーションとサービスのそれぞれの特徴と社会的スキルを学び、習得することが出来る
3回目	【印象と挨拶】 ノンバーバルコミュニケーションと挨拶について学び、言葉の重要性と同時に言葉以外の表現方法を知り活用することが出来る
4回目	【基本の対話スキル1】 会話の種類について理解を深め、基本スキルを身につける
5回目	【基本の対話スキル2】 様々なパターンにおける相手の心情を読み解き、会話のスキルを身につける
6回目	【表現技術1】 一般的な対話でパターン別にポイントを押さえ、スキルを身につける
7回目	【表現技術2】 仕事上でよく使われる対話のポイントを押さえ、スキルを身につける
8回目	【トラブル対応】 人間関係におけるトラブルについて理解を深め、対処法を知ることができる
9回目	【ビジネススキル1】 ビジネスシーンにおける基本マナーについて学び、実践できるようになる
10回目	【ビジネススキル2】 ビジネスシーンにおける文書作成について基本マナーについて学び、実践できるようになる
11回目	【コミュニケーションスキルアップ検定対策】 これまで学んだことをもとに、試験対策として復習をする
12回目	【総合復習1】 これまでの学習を実践的にできるかをチェックし、復習していく
13回目	【総合復習2】 同上
14回目	【後期試験】
15回目	【後期試験フィードバック・総合復習】
準備学習時間外学習	必要に応じて課題のご提出をお願いいたします。検定もありますので、常に予習・復習を心がけてください。
評価方法	期末テスト＋中間テスト　と致します。 （70%）　　（30%）
受講生へのメッセージ	社会人になる楽しみと共に、インターンシップや就職活動へは緊張や不安があることかと思います。そんな気持ちを自信に変えていけるように、基本的なマナーとコミュニケーション方法を身につけていきましょう！授業の終盤では検定にチャレンジする機会があります。検定もご自身のアピールできる材料として、合格を目指しましょう！

ビジネス実務マナー検定（実務技能検定協会）、コミュニケーションスキルアップ検定（滋慶教育化学研究所）他

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	SPI Synthetic Personality Inventory	必修選択	必修	年次	1	担当教員	森田　道稔
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	薬業科					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

授業ではまずSPIの非言語問題、言語問題の解法説明を行います。
解法説明後、実際に非言語問題、言語問題を解いていきます。
本授業終了後には、SPIの非言語問題、言語問題を早く正確に解けるようになる。

【到達目標】

一般的な就職試験で出題される筆記試験（SPI、適正検査等）の問題を早く正確に解くことができる。

授業計画・内容	
1回目	適性検査問題
2回目	SPI3能力適性検査【非言語能力（計算①）】【言語能力（二語の関係・語句の意味①）】
3回目	SPI3能力適性検査【非言語能力（計算②）】【言語能力（二語の関係・語句の意味②）】
4回目	SPI3能力適性検査【非言語能力（計算③）】【言語能力（二語の関係・語句の意味③）】
5回目	SPI3能力適性検査【非言語能力（計算④）】【言語能力（二語の関係・語句の意味④）】
6回目	SPI3能力適性検査【非言語能力（計算⑤）】【言語能力（二語の関係・語句の意味⑤）】
7回目	SPI3能力適性検査【非言語能力（資料の読み取り①）】【言語能力（文章の並べ替え・長文読解①）】
8回目	SPI3能力適性検査【非言語能力（資料の読み取り②）】【言語能力（文章の並べ替え・長文読解②）】
9回目	SPI3能力適性検査【非言語能力（資料の読み取り③）】【言語能力（文章の並べ替え・長文読解③）】
10回目	SPI3能力適性検査【非言語能力（集合・順列・組合せ・確率①）】【言語能力（まとめ問題①）】
11回目	SPI3能力適性検査【非言語能力（集合・順列・組合せ・確率②）】【言語能力（まとめ問題②）】
12回目	SPI3能力適性検査【非言語能力（集合・順列・組合せ・確率③）】【言語能力（まとめ問題③）】
13回目	模擬問題【非言語能力問題】【言語能力問題】
14回目	前期試験
15回目	総評
準備学習時間外学習	授業で解いた非言語・言語問題の解き直しを行って下さい。
評価方法	定期テスト（100%）
受講生へのメッセージ	就職試験では必ずと言っていいほどSPI等の適正試験があります。それもほとんど1次試験で実施されます。 皆さんが2次試験、3次試験に進むためには、まずは1次試験を突破しないといけません。ぜひ、2次試験以降に進めるようにSPI等の適性試験問題を素早く、正確に解けるように何度も問題を解いて下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

SPI3問題集

2023年度　授業概要

学　科　：　薬業科

科目名（英）	実習指導Ⅰ Clinical Guidance	必修選択	必修	年次	1	担当教員	有村　貴利
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	水曜・4限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ドラッグストアの実務実習を成功させるために、面接指導をはじめ、実習中の心構えと身だしなみを身に付け、実習を成功させることが出来る。

【到達目標】

実習面接を成功させ、ドラッグストアでの留意点や技術向上のための知識・技術を習得する。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。ドラッグストアの実習について説明ができる。
2回目	ドラッグストア業界について、現場の働き方・役割を説明することができる。
3回目	実習面接のための履歴書作成することができる①
4回目	実習面接のための履歴書作成することができる②
5回目	実習面接のための履歴書作成することができる③
6回目	面接対策を行い、面接（実技）練習に臨むことができる。①
7回目	面接対策を行い、面接（実技）練習に臨むことができる。②
8回目	面接対策を行い、面接（実技）練習に臨むことができる。③
9回目	ドラッグストア実習の目標設定を立てることができる。
10回目	ドラッグストアの企業研究①　～登録販売者の役割を説明できる～
11回目	ドラッグストアの企業研究②　～各企業の特徴を説明できる～
12回目	グループワーク　～実習先の情報共有をすることができる～①
13回目	グループワーク　～実習先の情報共有をすることができる～②
14回目	レポート制作①
15回目	レポート制作②
準備学習時間外学習	実際にドラッグストアへ足を運び、お店の雰囲気や商品・スタッフの働き方をお客様目線またはスタッフ目線で考える。 各企業のドラッグストアに行き、店舗比較をする。
評価方法	レポート（100%）
受講生へのメッセージ	この授業では、ドラッグストア実習について必要な課題に取り組みます。現場でスムーズに実習を始められるように実習生としての心構えなどの姿勢を学び、卒業後は即戦力をして活躍するために授業を進行していきます。日頃から各企業のドラッグストアへ足を運び、将来の姿をイメージしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料を使用

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	栄養・食生活・妊娠・出産・育児 Nutrition and Dietary Habits and Cildcare	必修選択	必修	年次	1	担当教員	倉本　寿子
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	月曜日・1時限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

近年、日本の食生活は豊かになり、「栄養学」は健康や美容の維持・増進の要です。多様化する情報社会において、日常生活や仕事など様々な局面で、栄養についての正しい判断が必要となります。毎日の食事は自身の健康だけでなく、次世代への健康にも影響を与えることが分かってきています。

「妊娠・出産・育児」は女性だけのものではなく、パートナーと支え合いながら行うものです。

「栄養・食生活・妊娠・出産・育児」の基本を理解し、相談者への適切な情報提供ができるようになる。

【到達目標】

ヘルスケアアドバイザー検定試験に合格するため、「栄養・食生活・妊娠・出産・育児」の基礎的な知識を習得できる。

<具体的な目標>

目標①栄養素の種類や食事への取り入れ方などを学び、食から健康への関心を高めることができる。

目標②女性の健康、妊娠から出産、子育てについて学び、乳幼児の人形や子ども用品を取り入れながら、実践に近い知識を習得することができる。

授業計画・内容	
1回目	（目標①）三大栄養素、五大栄養素について説明することができる。
2回目	（目標①）糖質、たんぱく質、脂質について説明することができる。
3回目	（目標①）ミネラル、微量元素、電解質について説明することができる。
4回目	（目標①）ビタミンについて、説明することができる。
5回目	（目標①）食物繊維、その他の栄養素、水分について説明することができる。
6回目	（目標①）エネルギー代謝、成長期、成人、妊婦・授乳婦、老年期に必要な栄養素について説明することができる。
7回目	（目標①）食品群の種類、食品の表示、各食品の特徴、健康食品について説明することができる。
8回目	（目標②）女性の生理、妊娠のしくみ、妊娠中の生活の注意について説明することができる。
9回目	（目標②）妊娠中のトラブル、病気、出産、成長について説明することができる。
10回目	（目標②）育児、授乳、食事について説明することができる。
11回目	（目標②）睡眠、予防接種について説明することができる。
12回目	（目標①②）添削問題、総復習
13回目	（目標①②）試験対策
14回目	定期試験
15回目	定期試験　解説
準備学習時間外学習	目標①「栄養・食生活」の学習範囲は全部で141ページあります。目標②「妊娠・出産・育児」の学習範囲は全部で51ページあります。試験範囲が広く、学習内容が多いので、テキストは毎回必ず持ってきて下さい。毎回復習（配布プリント）をしましょう。
評価方法	●定期試験(100%)で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	食を通して、心身の健康を得ることに興味を持っていただきたいと思います。女性の健康や子育てに関心を持つことで、自分自身を大切にするきっかけになればと思います。ヘルスケアアドバイザー検定試験の合格という目標があります。テキストは忘れないようにして下さい。お休みがないよう、体調管理に気を付けて下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

- ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト　ヘルスケアに関する基礎知識編　第2巻　（日本チェーンドラックストア協会）
- ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト　ヘルスケアに関する実践知識編　第5巻　（日本チェーンドラックストア協会）
- 配布資料　（プリント）

2023年度 授業概要

学 科 ： 薬業科

科目名（英）	卒業研究Ⅱ Graduation StudyⅡ	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	有村 貴利 ・ 倉本 寿子
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】

産学連携を行い、企業の課題に対してチームで研究に取り組む。グループワークを積極的に行い、レポート制作、発表資料の制作など課題に合わせて柔軟な対応力を養い、チームで研究を行うことでチームワーク力と主体性、またプレゼンテーション力を身に付けることができる。

【到達目標】

チームワーク力と主体性、またプレゼンテーション力を身に付けることができる。
また学習したことや体得したことを個人またはグループでテーマを設定し発表をし、プレゼンテーション力を身に付けることができる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。研究の進捗状況を確認し、それを説明できる。
2回目	企業研究を行う（グループワーク）、情報共有をすることができる。①
3回目	企業研究を行う（グループワーク）、情報共有をすることができる。②
4回目	企業課題の取り組み①
5回目	企業課題の取り組み②
6回目	企業課題の取り組み③
7回目	企業研究を行う（グループワーク）、情報共有をすることができる。①
8回目	グループワーク①
9回目	企業研究を行う（グループワーク）、情報共有をすることができる。②
10回目	グループワーク②
11回目	各グループで問題提示をする。その解決方法を考えることができる。①
12回目	企業課題の取り組み①
13回目	企業課題の取り組み②
14回目	企業課題の取り組み③
15回目	企業課題の取り組み④
準備学習時間外学習	レポート・資料制作にはパソコンを使用するため、word、excel、powerpointの使い方も覚えておくと効率よく作業を進めることができる。
評価方法	研究課題のレポートと資料各種（100%）
受講生へのメッセージ	前期・後期を通して、卒業研究は進めていきます。医療業界をはじめ、社会情勢も知っていくことで研究に幅広く対応できます。授業・実習・様々な情報を活かしながら卒業研究に取り組んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

随時、資料を配布。

2023年度　授業概要

学　科：　薬業科

科目名（英）	卒業研究Ⅲ Graduation StudyⅢ	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	有村　貴利　・　倉本　寿子
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	共通				2	曜日・時限	

【授業の学習内容】

産学連携を行い、企業の課題に対してチームで研究に取り組む。グループワークを積極的に行い、レポート制作、発表資料の制作など課題に合わせて柔軟な対応力を養い、チームで研究を行うことでチームワーク力と主体性、またプレゼンテーション力を身に付けることができる。

【到達目標】

チームワーク力と主体性、またプレゼンテーション力を身に付けることができる。
また学習したことや体得したことを個人またはグループでテーマを設定し発表をし、プレゼンテーション力を身に付けることができる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。研究の進捗状況を確認し、それを説明できる。
2回目	企業研究を行う（グループワーク）、情報共有をすることができる。①
3回目	企業研究を行う（グループワーク）、情報共有をすることができる。②
4回目	企業課題の取り組み①
5回目	企業課題の取り組み②
6回目	企業課題の取り組み③
7回目	企業研究を行う（グループワーク）、情報共有をすることができる。①
8回目	グループワーク①
9回目	企業研究を行う（グループワーク）、情報共有をすることができる。②
10回目	グループワーク②
11回目	各グループで問題提示をする。その解決方法を考えることができる。①
12回目	企業課題の取り組み①
13回目	企業課題の取り組み②
14回目	企業課題の取り組み③
15回目	企業課題の取り組み④
準備学習時間外学習	レポート・資料制作にはパソコンを使用するため、word、excel、powerpointの使い方も覚えておくと効率よく作業を進めることができる。
評価方法	研究課題のレポートと資料各種（100%）
受講生へのメッセージ	前期・後期を通して、卒業研究は進めていきます。医療業界をはじめ、社会情勢も知っていくことで研究に幅広く対応できます。授業・実習・様々な情報を活かしながら卒業研究に取り組んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

随時、資料を配布。

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	情報処理Ⅱ Date Processing Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	森田　道稔
						実務経験	
		授業形態	実習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	共通				2	曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

Windowsの基本操作の習得とExcelアプリケーションソフトでの表の編集、グラフ作成、ワークシート作成、関数などの操作習得。
本授業終了後には各操作が出来るようになる。

【到達目標】

Excelテキストの各章の内容を十分に理解し、Excelアプリケーションソフトでの操作が出来るようになる。
各章の復習問題が出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	Windowsの基本操作　Excel（Excelの基本操作）
2回目	Excel（数式の作成①）
3回目	Excel（数式の作成②　数式の作成復習問題　表の編集①　）
4回目	Excel（表の編集②）
5回目	Excel（表の編集③　表の編集復習問題　グラフ作成①）
6回目	Excel（グラフ作成②）
7回目	Excel（グラフ作成③　グラフ作成復習問題　印刷）
8回目	Excel（ワークシートの操作①）
9回目	Excel（ワークシートの操作②　ワークシート復習問題　いろいろな関数①
10回目	Excel（いろいろな関数②）
11回目	Excel（いろいろな関数③　いろいろな関数復習問題）
12回目	Excel（データベース機能①）
13回目	Excel（データベース機能②　データベース機能復習問題）
14回目	後期試験
15回目	総評
準備学習時間外学習	マイクロソフトオフィスのExcelアプリケーションソフトを使用するのでまずは慣れる必要があります。 パソコンを使用できる時間はExcelアプリケーションソフトを使って操作練習を行って下さい。
評価方法	定期テスト（100%）
受講生へのメッセージ	講義はPC教室でExcelアプリケーションソフトを使用する実習となります。 Excelアプリケーションソフトを使いこなせるようになりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

Excel COMPUTER BASIC for windows

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	ビジネス文書 Bcusiness Practice Management	必修選択	選択	年次	2	担当教員	峯　江里子
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

1年次に学んだビジネスマナーを基礎に、ビジネスの現場で必須となる、文書作成力を実践的に身につけていく。
また、形だけの文書作成ではなく、心遣いや状況に応じた言葉遣いなども学び、より豊かな社会人生活をスタートできることを目指していく。

◆実務経験
国家資格2級キャリアコンサルタントの資格を有し、専門学校に13年従事。同時期に若者の自己肯定感をあげるべくメイクスクールにてヘアメイク技術を習得。現在は、ビジネスマナー・ビジネスメイクの講師として、専門学校や企業研修（リクルートグループ・西鉄グループ）等を行っている。

【到達目標】

【目標①】基本的なビジネス文書作成を習得する（基本の形を覚え、敬語や状況に応じた立場の違いなども学び、語彙力を上げていく）
【目標②】応用編として様々なケースに沿った文書（手紙）の書き方を習得する
【目標③】文書（手紙）を送る楽しさを体感する

授業計画・内容	
1回目	ガイダンス ／ 授業の趣旨を理解し、文書作成の必要性を理解できるようになる
2回目	【基礎】ビジネス文書を作ってみよう！ ／ 文書作成の目的と仕上がりのイメージを持つこと、自身のレベルチェック、一人一人目標を持つ
3回目	【基礎】ビジネス文書の種類・形式 ／ ビジネス文書の種類を知り、文書の基本形式（社外文書）が作成が出来る
4回目	【基礎】送付方法（送付方法の種類等） ／ 送付方法の種類（普通郵便他・メールのcc・Bcc等）を知り、送付状作成・封筒作成が出来る
5回目	【基礎】ビジネス文書を送ってみよう！ ／ 実例に合わせて、ビジネス文書の作成～送付まで出来る
6回目	【基礎】ビジネス向け用語・表現力① ／ ビジネス文書向けの用語を知り、基本的な表現力を身につける
7回目	【基礎】ビジネス向け用語・表現力② ／ ビジネス文書向けの用語を知り、様々なケースに対応できる様に表現力を身につける
8回目	【応用】手紙の基本的な書き方 ／ 基本的なマナーを学ぶ
9回目	【応用】手紙の基本的な書き方 ／ 基本を理解した上でケース別の手紙の書き方を学ぶ
10回目	【応用】社内文書 ／ 基本的な形式を復習し、実際に現場で必要とされることを学ぶ
11回目	【応用】社交文書 お礼状・詫び状・クレーム対応 ／ 様々なケースの事例を知り、心を込めた手紙の選び方から書き方までを学ぶ
12回目	【応用】社交文書 国際郵便 ／ 封筒や文書の作成方法を学び、実際に国際郵便の送付にチャレンジする
13回目	【総まとめ】全体の復習を行う
14回目	後期テスト
15回目	テスト返却・フィードバック
準備学習 時間外学習	授業内容に応じて、課題を出すことがあります。
評価方法	期末テストの結果を100%成績として評価といたします。
受講生へのメッセージ	ビジネス文書とはいっても決まった形式に沿って作成する文書から、心を込めて伝える手紙まで、実に様々です。 また、マナーは堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、実は、自分を表現するための大切な手段です。そして、社会経験が長くなるにつれ、心遣いも豊かに出来るようになってくると、形だけにはまらない、あなたらしい表現方法（マナー）が出来るようになっていきます。机上の勉強としてではなく、皆さんの内面の成長につながるような授業をしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いします。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：ビジネス文書検定受験ガイド1・2級
参考書：手紙の書き方とマナー

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名	登録販売者特別講座Ⅷ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	姪原　裕子
						実務経験	
（英）	Registered Drug Distributor License Spcial LectureⅧ	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	共通			（単位）	2	曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

登録販売者試験の第一章、第二章、第三章、第四章、第五章の範囲において各章の復習と出題問題の解説を繰り返し得点を伸ばすていきます。

【到達目標】

登録販売者試験に合格する。

※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

授業計画・内容	
1回目	1章の問題（1−1、1−2、1−3）を満点解答できる。
2回目	1章の問題（1−4、1−5）を満点解答できる。
3回目	2章の問題（2−1、2−2）を満点解答できる。
4回目	2章の問題（2−3、2−4）を満点解答できる。
5回目	2章の問題（2−5）を満点解答できる。
6回目	3章の問題（3−1、3−2）を満点解答できる。
7回目	3章の問題（3−3）を満点解答できる。
8回目	3章の問題(3−4)を満点解答できる。
9回目	3章の問題(3−5)を満点解答できる。
10回目	4章の問題(4−1、4−2、4−3)を満点解答できる。
11回目	4章の問題(4−4、4−5)を満点解答できる。
12回目	5章の問題（5−1、5−2、5−3）を満点解答できる。
13回目	5章の問題（5−4、5−5）を満点解答できる。
14回目	試験
15回目	解説
準備学習時間外学習	これまでの過去問解答の成績を自己分析して、苦手な部分を明確に把握しておくこと。間違えた問題は必ず復習すること。
評価方法	定期試験（100%）
受講生へのメッセージ	試験本番まで残り少なくなってきました。体調管理もしていきながら短いスパンで目標を立て、一つずつクリアして本番に自信を持って臨みましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者対策テキスト上巻・下巻

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名	登録販売者特別講座Ⅸ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	姪原　裕子
						実務経験	
（英）	Registered Drug Distributor License Spcial LectureⅨ	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	後期
コース	共通			（単位）	2	曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

以下項目について、講義と模試を実施しながら内容を定着する。（医薬品に共通する特性と基本的な知識・人体の働きと医薬品・主な医薬品とその作用・薬事に関する法規と制度・医薬品の適正使用と安全対策）

【到達目標】

登録販売者試験に合格する。

※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

授業計画・内容	
1回目	第2章人体の働きと医薬品　目、鼻、耳などの感覚器官
2回目	第2章人体の働きと医薬品　目、鼻、耳などの感覚器官（過去問解説）
3回目	第2章人体の働きと医薬品　脳や神経系の働き
4回目	第2章人体の働きと医薬品　脳や神経系の働き（過去問解説）
5回目	第2章人体の働きと医薬品　全身的に現れる副作用
6回目	第2章人体の働きと医薬品　全身的に現れる副作用（過去問解説）
7回目	第2章人体の働きと医薬品　精神神経系に現れる副作用
8回目	第2章人体の働きと医薬品　精神神経系に現れる副作用（過去問解説）
9回目	第2章人体の働きと医薬品　体の局所に現れる副作用
10回目	第2章人体の働きと医薬品　体の局所に現れる副作用（過去問解説）
11回目	第5章医薬品の適正使用・安全対策　「してはいけないこと」に該当する者と成分
12回目	第5章医薬品の適正使用・安全対策　「相談すること」に該当する者と成分
13回目	【模試】令和3年群馬県登録販売者試験（午前）
14回目	【解説】令和3年愛知県登録販売者試験（午前）
15回目	【解説】令和3年福井県登録販売者試験（午前）
準備学習時間外学習	1～12回はカテゴリー別で講義をしますので、内容を整理して試験で点数につながるように定着させてください。授業内で解説できる範囲は限られますので、その他誤答の問題は授業後に各自しっかりと自習をしましょう。点数管理をし弱点を把握しましょう。次模試の目標点数を定め、その点数に届くように復習をしましょう。
評価方法	模擬試験結果評価100%
受講生へのメッセージ	模試を解いて終わりではなく、誤答箇所の確認と復習を反復してこそ点数アップに繋がります。日々努力して登録販売者試験に合格しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験対策テキスト上巻・下巻

2023年度　授業概要

学 科 ： 薬業科

科目名（英）	就職指導 Career Guidance	必修選択	必修	年次	2	担当教員	有村　貴利
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	共通				2	曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

就職活動を成功させるために、企業研究・比較を実施し、面接・履歴書作成の指導を行う。また、選考を進むにあたってグループワークを取り組みながら、主体性・チームワーク力を養う。各選考の指導を行い、就職内定を獲得することができる。

【到達目標】

主体性・チームワーク力を養い、希望する企業より就職内定を獲得することができる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。就職活動を説明することができる。
2回目	就職活動の流れ・スケジュールについて理解をし、自身の活動計画を説明することができる。
3回目	企業研究　～各企業の特徴を説明することが出来る～
4回目	自身の活動計画を説明することができる。また証明写真などの準備物を揃える。
5回目	履歴書の制作①
6回目	履歴書の制作②
7回目	履歴書の制作③
8回目	面接について、身だしなみを習得できる。
9回目	面接練習①
10回目	面接練習②
11回目	面接練習③
12回目	面接について、ビジネスマナーを習得できる。
13回目	グループワーク①（自身の経験を周囲と共有をし、改善点に気づくことができる）
14回目	グループワーク②（自身の経験を周囲と共有をし、改善点に気づくことができる）
15回目	振り返りと反省、レポートを作成する。
準備学習時間外学習	実際にドラッグストアなどの店舗へ足を運び、お店の雰囲気や商品・スタッフの働き方をお客様目線またはスタッフ目線で考える。 各企業のドラッグストアに行き、店舗比較をする。
評価方法	レポート（100%）
受講生へのメッセージ	この授業では、就職活動を成功させるために必要な課題に取り組みます。就職活動では各種選考が行われるため、自己アピールや志望動機などまとめていかなければなりません。そのために授業内でそれを考える授業を展開していきます。より成功させるためには、日頃からの積極的な行動が今後の強みになりますので、様々な経験を積んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料を使用

2023年度　授業概要

学　科　：　薬業科

科目名（英）	卒業研究 I Graduation Study I	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	有村 貴利／倉本 寿子
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	共通					曜日・時限	

【授業の学習内容】

卒業研究を通じ、プレゼンテーション能力、主体性、計画性、課題発見力を身につける。
グループで課題に取り組み目標達成することで、実務における仕事のマネジメントについて理解を深める。
産学連携を行い、企業の課題に対してチームで研究に取り組む。

【到達目標】

自分自身で課題をみつけ掘り下げて物事を考える事ができるようになる。
伝わるプレゼンテーション力として、人前に立つ事、PPTの活用ができるようになる。
抄録集の制作を通じて自分自身で論文を作成できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。卒業研究の主旨を説明できる。
2回目	文献・調査研究を行い、研究のテーマを設定することができる。①
3回目	文献・調査研究を行い、研究のテーマを設定することができる。②
4回目	文献・調査研究を行い、研究のテーマを設定することができる。③
5回目	企業研究を行い（グループワーク）、情報共有をすることができる。①
6回目	企業研究を行い（グループワーク）、情報共有をすることができる。②
7回目	各グループで問題提示をし、その解決方法を考えることができる。①
8回目	各グループで問題提示をし、その解決方法を考えることができる。②
9回目	前期発表に向けて、テーマに沿ったパワーポイントを作成することができる。①
10回目	前期発表に向けて、テーマに沿ったパワーポイントを作成することができる。②
11回目	前期発表に向けて、テーマに沿ったパワーポイントを作成することができる。③
12回目	前期発表に向けて、テーマに沿ったパワーポイントを作成することができる。④
13回目	前期発表に向けて、テーマに沿ったパワーポイントを作成することができる。⑤
14回目	前期発表として、プレゼンテーションを行う。
15回目	前期発表を通して出てきた課題を各グループで挙げ、後期の授業に向けて再構築する。
準備学習 時間外学習	レポート・資料制作にはパソコンを使用するため、word、excel、powerpointの使い方も覚えておくと効率よく作業を進めることができる。
評価方法	研究課題のレポート、前期発表（100%）
受講生へのメッセージ	前期・後期を通して、卒業研究は進めていきます。医療業界をはじめ、社会情勢も知っていくことで研究に幅広く対応できます。授業・実習・様々な情報を活かしながら卒業研究に取り組んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

随時、資料を配布。

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	販売士Ⅰ Serviceperson　Certification Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	森田　道稔
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	くすり登録販売者コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

マーケティングの基本的な考え方などの知識や技術を身に付け、販売担当者として接客や売り場づくりができるようになる。
ドラッグストア等で必要な知識を習得し、遠保運営や販売の仕事に役立てることができるようになる。（小売業の類型、マーチャンダイジング）

【到達目標】

マーケティングの基本的な考え方などの知識や技術を学習し、ドラッグストア等の店舗運営に役立てる。
ドラッグストア等での販売担当者として必要な知識を習得する。

授業計画・内容	
1回目	小売業の類型①　流通と小売業の役割の説明ができる。
2回目	小売業の類型②　組織形態別小売業の運営特性の説明ができる。
3回目	小売業の類型③　店舗形態別小売業の運営特性の説明ができる。
4回目	小売業の類型④　中小小売業の課題と商業集積の方向性の説明ができる。
5回目	小売業の類型⑤　小売業の類型まとめ
6回目	マーチャンダイジング①　マーケティングの戦略的展開の説明ができる。
7回目	マーチャンダイジング②　商品計画の戦略的立案の説明ができる。
8回目	マーチャンダイジング③　販売計画の戦略的立案の説明ができる。
9回目	マーチャンダイジング④　仕入計画の策定と仕入活動の戦略的展開の説明ができる。
10回目	マーチャンダイジング⑤　販売政策の戦略的展開の説明ができる。
11回目	マーチャンダイジング⑥　商品管理政策の戦略的展開、物流政策の戦略的展開の説明ができる。
12回目	小売業の類型・マーチャンダイジングのまとめ①
13回目	小売業の類型・マーチャンダイジングのまとめ②
14回目	前期試験
15回目	総評
準備学習時間外学習	講義の中で問題集の問題を解いていきます。一度解いた問題を何度も解き直して下さい。
評価方法	定期テスト（100%）
受講生へのメッセージ	講義では問題集の問題を中心に行っていきます。

【使用教科書・教材・参考書】

リテールマーケティング　2級問題集　最新版Part1（一ツ橋書店）　小売業の類型、マーチャンダイジング編

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	販売士Ⅱ Serviceperson　Certification Ⅱ	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	森田　道稔
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	くすり登録販売者コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

マーケティングの基本的な考え方などの知識や技術を身に付け、販売担当者として接客や売り場づくりができるようになる。
ドラッグストア等で必要な知識を習得し、遠保運営や販売の仕事に役立てることができるようになる。（ストアオペレーション、マーケティング、販売・経営管理）

【到達目標】

マーケティングの基本的な考え方などの知識や技術を学習し、ドラッグストア等の店舗運営に役立てる。
ドラッグストア等での販売担当者として必要な知識を習得する。

授業計画・内容	
1回目	ストアオペレーション①　戦略的ストアオペレーションの展開視点、店舗運営サイクルの実践と管理の説明ができる。
2回目	ストアオペレーション②　戦略的ディスプレイの実施方法、レイバースケジューリングプログラム（LSP）の役割と仕組み①の説明ができる。
3回目	ストアオペレーション③　レイバースケジューリングプログラム（LSP）の役割と仕組み②、人的販売の実践と管理の説明ができる。
4回目	マーケティング①　小売業のマーケティング戦略の考え方、マーケティング戦略の方法の説明ができる。
5回目	マーケティング②　マーケティングリサーチの実施方法、顧客戦略の展開方法の説明ができる。
6回目	マーケティング③　販売促進の企画と実践、商圏分析の立案と実施方法の説明ができる。
7回目	マーケティング④　出店立地の選定と出店戦略の立案、業態の手順と実践の説明ができる。
8回目	販売・経営管理①　販売管理者の基本業務、販売管理者の法令知識の説明ができる。
9回目	販売・経営管理②　販売事務管理に求められる経営分析の説明ができる。
10回目	販売・経営管理③　店舗組織体制と従業員管理の説明ができる。
11回目	販売・経営管理④　店舗施設の維持管理の説明ができる。
12回目	ストアオペレーション、マーケティング、販売・経営管理①の説明ができる。
13回目	ストアオペレーション、マーケティング、販売・経営管理②の説明ができる。
14回目	前期試験
15回目	総評
準備学習時間外学習	講義の中で問題集の問題を解いていきます。一度解いた問題を何度も解き直して下さい。
評価方法	定期テスト（100%）
受講生へのメッセージ	講義では問題集の問題を中心に行っていきます。

【使用教科書・教材・参考書】

リテールマーケティング　2級問題集　最新版Part2（一ツ橋書店）　ストアオペレーション、マーケティング、販売・経営管理編

2023年度　授業概要

学　科　：　薬業科

科目名	ドラッグストア総論Ⅰ	必修選択	必須	年次	2	担当教員	姪原　裕子
						実務経験	○
（英）	Drug store general discussin Ⅰ	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	くすり登録販売者コース			（単位）	2	曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ドラッグストアでは一般用医薬品に対する相談やアドバイスの他に、一般のお客様への接客応対やクレームの対応など、一般用医薬品の知識以外のことが多く求められる。また、お客様によってはより詳しいアドバイスを求める方もいる。実際にあったケースをあげつつ、グループでどのような対応が適切かを考える。7回目以降は、罹患率の高い疾患についてグループワークを行う。

※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

授業を通して、ドラッグストアにおいて臨機応変な接客や対応を行うようにできる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	ドラッグストアでの接客の在り方を考え、説明することができる。
3回目	ドラッグストアでの接客の在り方、クレームの対応について考え、自分の考えを述べることができる。
4回目	ドラッグストアでの電話応対や、実際にあったお客様の会話を例に挙げ、自らの考えを述べることができる。
5回目	ドラッグストアで実際にあったお客様とのトラブルを例に挙げ、自らの考えを述べることができる。
6回目	ドラッグストアで実際にあった従業員同士のトラブルを例に挙げ、自らの考えを述べることができる。
7回目	我が国の罹患率の高い疾患を調べ、疾患の特徴や生活のアドバイスを説明することができる。
8回目	我が国の罹患率の高い疾患を調べ、疾患の特徴や生活のアドバイスを説明することができる。
9回目	我が国の罹患率の高い疾患を調べ、疾患の特徴や生活のアドバイスを説明することができる。
10回目	我が国の罹患率の高い疾患を調べ、疾患の特徴や生活のアドバイスを説明することができる。
11回目	我が国の罹患率の高い疾患を調べ、疾患の特徴や生活のアドバイスを説明することができる。
12回目	我が国の罹患率の高い疾患を調べ、疾患の特徴や生活のアドバイスを説明することができる。
13回目	我が国の罹患率の高い疾患を調べ、疾患の特徴や生活のアドバイスを説明することができる。
14回目	前期期末試験
15回目	前期期末試験の解説
準備学習時間外学習	授業の内容によっては、一般用医薬品の成分やサプリメントの効能効果を述べなければいけません、忘れている用語があったら復習するようにして下さい。
評価方法	期末試験80% 出席20%
受講生へのメッセージ	実際に業務に向けて、今のうちからわからない用語の復習や、欠席しないように体調管理を心がけてください。

【使用教科書・教材・参考書】

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	漢方学 Traditional chinese medicine	必修選択	選択	年次	2	担当教員	姪原裕子
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	くすり登録販売者コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ドラッグストアや薬局、処方箋医薬品、様々なところで漢方薬と接するようになりました。特にドラッグストアでは気軽に購入できる医薬品になり、自然由来であることと、自分なりの解釈と経験から勘違いして購入する消費者が多いです。例えば"風邪＝葛根湯"という考えが浸透していますが、葛根湯や麻黄湯に含まれる成分には血圧を上げる成分が含まれており、高血圧、心臓病や腎臓病は不向きとなっております。ならばこの場合、どのような漢方薬を勧めるのが正解か、どのように説明するか考えられるようになってほしいです。様々な漢方薬がありますが、個々の生薬や漢方薬を理解し、どのようにして体に作用するのか東洋医学と西洋医学の視点から考えて、またそれをわかりやすい説明で消費者に出来るように行えるようになりましょう。
※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

自然由来で体に優しい漢方薬ですが、成分やその他の医薬品との併用で副作用として体に害を及ぼすことがあります。効果効能を東洋医学と西洋医学と比較し一般の消費者の方に漢方薬の正しい使い方を説明できるようになりましょう。
【目標①】東洋医学の知識と漢方薬の知識を活かし、医薬品販売時に最適な漢方薬を選択説明する事が出来る。
【目標②】漢方薬の使用上の注意や一般用医薬品との併用時の注意などの説明が出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	【目標①②】肩こり・首の痛み、月経不順・月経困難に対する漢方薬の選択・説明が出来る。
2回目	【目標①②】下痢・四肢の痛みに対する漢方薬の選択・説明が出来る。
3回目	【目標①②】食欲不振・性欲減退に対する漢方薬の選択・説明が出来る。
4回目	【目標①②】易疲労・頭痛・片頭痛に対する漢方薬の選択・説明が出来る。
5回目	【目標①②】盗汗（寝汗）・多汗に対する漢方薬の選択・説明が出来る。
6回目	【目標①②】のどの異物感、冷え性に対する漢方薬の選択・説明が出来る。
7回目	【目標①②】腹痛、不眠に対する漢方薬の選択・説明が出来る。
8回目	【目標①②】便秘、眩暈感・立ちくらみ・に対する漢方薬の選択・説明が出来る。
9回目	【目標①②】腰痛、かぜ症候群、インフルエンザに対する漢方薬の選択・説明が出来る。
10回目	【目標①②】気管支炎、気管支喘息に対する漢方薬の選択・説明が出来る。
11回目	【目標①②】急性胃炎・慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍に対する漢方薬の選択・説明が出来る。
12回目	【目標①②】急性肝炎・慢性肝炎に対する漢方薬の選択・説明が出来る。
13回目	【目標①②】胆嚢炎・胆石症・過敏性腸症候群に対する漢方薬の選択・説明が出来る。
14回目	後期試験
15回目	後期試験解説
準備学習時間外学習	実習先のドラッグストアや薬局で漢方薬を扱っていれば、東洋医学の知識以外の使用上の注意やそれぞれの漢方薬効果効能など確認し、本授業での予習や復習に役立ててください。一般用医薬品での漢方薬では裏面に様々な情報が記載されているので、アルバイト中に目を通してみるといいでしょう。
評価方法	後期試験：100% この割合で後期の成績を算出します。
受講生へのメッセージ	漢方薬で、ピンとくるのは葛根湯あたりだと思います。しかし、漢方薬は何故効果があるのでしょうか？市販薬の○○に効果があると記載はあるもののエビデンスはまだまだ少ないです。漢方薬を本格的に学習したのは私が大阪府で教員養成学科に通っていたころです。ここでは「傷寒論」という昔の文献からひとつひとつの文章を解説し学習していました、その頃の私も漢方薬に関してあまりピンとは来てませんでしたが、様々な病気を経験し、それらひとつひとつの処方箋には必ずと言っていいほど漢方薬が処方されていました。そこから漢方薬への興味が出てきたのを覚えています。今は様々な事柄に訳が分からないでしょうが、それぞれの事柄には必ずきっかけがあります。漢方についての興味の発端がこの授業から始まれば幸いです。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書
寺澤捷年著；JJNブックス絵でみる和漢診療学，医学書院

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	サプリメントⅠ Supplement Ⅰ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	姪原　裕子
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	くすり登録販売者コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

高齢化社会に向けて、需要者の自己の健康の管理・維持への関心が高まっています。ドラッグストアで扱うサプリメントに含まれる栄養素を学ぶことで、需要者個人に今必要な栄養素やサプリメント、健康食品を勧められるようになりましょう。実際の授業では聞き馴染みの深い5大栄養素から始めます。聞いたことがある栄養素は具体的にどのようなことに良いのか、身体ではどのような作用をするのか、また、欠乏した際、身体にどのような変化を及ぼすのか、実際ドラッグストアにおいてどのような問い合わせを受けるのかを合わせて授業を行っていきます。

※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

5大栄養素の身体での効能・効果に関する授業を行い、それから栄養機能食品に含まれる成分、栄養素が効果を発揮する身体の部位の解剖生理を挟みながら、各種栄養素の効能・効果、過剰症・欠乏症、関与する疾患が説明できるようになりましょう。
【目標①】水溶性ビタミンの効果・効能、過剰症・欠乏症、含まれる食品が説明できる。
【目標②】脂溶性ビタミンの効果・効能、過剰症・欠乏症、含まれる食品が説明できる。
【目標③】ミネラルの効果・効能、過剰症・欠乏症、含まれる食品が説明できる。
【目標④】機能性表示食品の効果・効能、過剰症・欠乏症について説明できる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	ビタミン、栄養素の種類が説明できる。サプリメントの法的分類について説明できる。
3回目	【目標①】水溶性ビタミン（ビタミンB1、ビタミンB2）の体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。
4回目	【目標①】水溶性ビタミン（ビタミンB6、ビタミンB12）の体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。
5回目	【目標①】水溶性ビタミン（ナイアシン・パントテン酸・葉酸）の体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。
6回目	【目標①】水溶性ビタミン（ビタミンC、ビオチン）の体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。
7回目	【目標②】脂溶性ビタミンの概要、脂溶性ビタミン（ビタミンA、ビタミンD）の体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。
8回目	【目標②】脂溶性ビタミン（ビタミンK、ビタミンE）の体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。
9回目	【目標③】ミネラルの概要、ミネラル（カリウム・カルシウム・マグネシウム）の体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。
10回目	【目標③】ミネラル（亜鉛・鉄・銅）の体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。
11回目	【目標③】タンパク質、各種脂肪酸の体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。
12回目	【目標④】機能性表示食品の概要、視覚器に効果のある機能性表示食品について説明することができる。
13回目	【目標④】消化器に効果のある機能性表示食品について説明することができる。
14回目	期末試験
15回目	期末試験解説
準備学習時間外学習	今後の授業でもよく出てくる言葉（栄養素の名前、人体の部位、疾患の名称）が多いので、授業後も復習を行ってください。
評価方法	期末試験100%とします。
受講生へのメッセージ	ドラッグストア、薬局、コンビニエンスストア等でよく見かける栄養素を中心に行っています。お客様からの問い合わせはもちろん、自らの生活でも栄養素の知識を取り入れる事で、未然に病気を防げたり、ほかの人にも勧めたり、健康のアドバイスをすることが出来ます。また、自ら積極的に摂取することで効果効能を体験し、幅広く栄養素を知ることができます。

【使用教科書・教材・参考書】

日本能率協会マネジメントセンター　サプリメントマスター検定公式テキスト

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	サプリメントⅡ Supplement Ⅱ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	姪原　裕子
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	くすり登録販売者コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

高齢化社会や、生活習慣など、様々な要因で消費者の健康志向は最近さらに向上しています。ドラッグストアでは医薬品の問い合わせの他、健康食品やサプリメントに関わる問い合わせも多くなっています。例えば、医薬品に頼らず健やかに日々を過ごしたい、また偏った食生活で不足した栄養素を補いたいがどの商品、メーカーが自分に合っているがわからない、ダイエットで使用するプロテイン、サプリメントがわからないなど、日々の消費者の相談問い合わせなどから、自ら疾病を予防する生活や健康的な生活への関心が高まっているのがわかります。また、その年に流行った病気や生活習慣病に関する事、季節の病（花粉症やかぜ症候群）、特定の成分が論文発表されることにより、新しいサプリメントの発売や一定の時期に特定のサプリメントの流行するなど、その年その時で消費者のサプリメントへの関心は左右されます。この授業ではサプリメントの種類、働きはもちろん、サプリメントの歴史、需要の傾向を学び、幅広い知識を身につける事で、サプリメントの基礎的な知識や様々な問い合わせに適応できる能力や、個々の消費者に対応するサプリメントの選別出来る能力を学習していきます。
※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

栄養素・サプリメントの知識やサプリメントの応用の深化を目標に、登録販売者に必要な知識を学んでいきます。生活習慣病、生活習慣病の予防とサプリメントの応用に関すること、日常生活でのサプリメントの取り入れ方、サプリメントの種類を学んでいきます。
≪具体的な目標≫
【目標①】サプリメントの概要や世間のサプリメントの関心について説明する事ができる。
【目標②】生活習慣別にサプリメント選択することが出来る。
【目標③】生活習慣病を学び、サプリメントの素材、成分や正しい使用方法について説明することが出来る。

授業計画・内容	
1回目	【目標①】サプリメントの概要、世間のサプリメントの関心についてについて説明する事ができる。
2回目	【目標②】人間に必要な栄養素について説明する事が出来る。
3回目	【目標②】【目標③】生活習慣病の概要、高血圧や肥満のリスク要因について説明することが出来る。
4回目	【目標②】【目標③】糖尿病、悪性新生物、心疾患・脳血管疾患とそのリスク要因について説明することが出来る。
5回目	【目標②】【目標③】慢性閉塞性肺疾患、高尿酸血症、骨粗鬆症とそのリスク要因について説明することが出来る。
6回目	【目標②】【目標③】ストレス、アレルギーとそのリスク要因について説明することが出来る。
7回目	【目標②】【目標③】生活習慣病の予防について説明する事が出来る。
8回目	【目標②】【目標③】食生活の改善の重要性について説明する事が出来る。
9回目	【目標②】【目標③】心疾患・脳血管障害の種類、呼吸器疾患の種類、リスク要因を理解して説明することができる。
10回目	【目標②】【目標③】骨粗鬆症と骨折について、ストレス、アレルギー症状のリスク要因を理解して説明することができる。
11回目	【目標②】【目標③】生活習慣病の予防、食生活改善での健康管理について理解して説明することができる。
12回目	【目標②】【目標③】生活習慣別（欠食・ストレスの多い生活）のサプリメントの選択について理解して説明することが出来る。
13回目	【目標②】【目標③】生活習慣別（テレワークが多い、外食が多い、飲酒・喫煙の習慣）のサプリメントの選択について理解して説明することが出来る。
14回目	期末試験
15回目	期末試験　解説
準備学習時間外学習	人体や疾患に関する用語やサプリメントの成分や効能に関しては、卒業後でもよく耳にする言葉ですので授業ごとに復習するようにしましょう。
評価方法	前期試験（80%）、出席点（20%）
受講生へのメッセージ	この授業以外にも様々な知識を学び、覚えて整理するのが大変と思いますが、どの教科のどの知識も将来必ず必要性が出てきます。覚えては忘れての繰り返しで、心が折れてしまう時があると思います。しかし、大変なのは本当に今だけで、将来学校で学び、苦労して覚えた知識が様々な形に役に立つ時が絶対に来ます。大切なのは諦めない心と学び続ける意識です。成績や出席も大切ですが、それらの心や意識の上に成績や出席が成り立つと思いますので、少しずつ頑張っていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

日本能率協会マネジメントセンター　サプリメントマスター検定公式テキスト

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	ドラッグストア総論Ⅱ Over the Counter Medicines Ⅱ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	姪原　裕子
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	くすり登録販売者					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

これから少子高齢化がさらに進み「超高齢社会」を迎えようとしている。2040年問題が立ちはだかるなかで登録販売者の活躍が期待されている。ここでは、セルフメディケーションを支えていく立場であることを再認識し、現場に出た際スムーズに応対ができるよう適切なOTC薬選択のための情報(症状の詳細・アレルギーや副作用の有無・服用中の医薬品の有無・生活背景など)を聴取するコミュニケーション技術を学ぶ。

※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

現代の日本の現状と課題点から登録販売者の社会的役割を理解する。いち販売者として、行動と発言に責任を持ちお客様の身体に親身になってアドバイスできるようになる。会社や店舗、本人の信頼を得るためのプラスの情報である養生法をお伝えできる。

	授業計画・内容
1回目	日本が直面する超高齢社会の医療における問題点について説明できる
2回目	セルフメディケーションについて説明できる
3回目	登録販売者の期待される役割について説明できる
4回目	登録販売者が行う、販売または受診勧奨までの一連の流れの確認事項について説明できる
5回目	【風邪薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる
6回目	【風邪薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる
7回目	【頭痛薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる
8回目	【頭痛薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる
9回目	【胃腸薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる
10回目	【胃腸薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる
11回目	【止瀉・瀉下】症状聴取・商品選択の手順を説明できる
12回目	【止瀉・瀉下】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる
13回目	【点眼薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる、ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる
14回目	前期テスト
15回目	前期テストの解説・復習
準備学習時間外学習	この講義では実際に今販売されている一般用医薬品製品を例に挙げながら学習していきます。実習中の方もそうでない方も、ドラッグストアの医薬品売り場に陳列してある商品をしっかり観察し、よく売れる商品やテレビCMなどでよく耳にする商品は手にとりしっかり見ておいてください。より一層理解が深まります。
評価方法	定期テスト(100%)
受講生へのメッセージ	現場に出た際、登録販売者試験の学習内容だけでは知識不足に気付かされることと思います。リアルに使うスキルを身につけておくと自身の自信もつきスムーズに業務に慣れていけるはずです。卒業後、業界の即戦力となり活躍してくれることを願います。

【使用教科書・教材・参考書】

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	ドラッグストア総論Ⅲ Over the Counter MedicinesⅢ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	姪原　裕子
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	くすり登録販売者コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

これから少子高齢化がさらに進み「超高齢社会」を迎えようとしている。2040年問題が立ちはだかるなかで登録販売者の活躍が期待されている。ここでは、セルフメディケーションを支えていく立場であることを再認識し、現場に出た際スムーズに応対ができるよう適切なOTC薬選択のための情報(症状の詳細・アレルギーや副作用の有無・服用中の医薬品の有無・生活背景など)を聴取するコミュニケーション技術を学ぶ。

※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

現代の日本の現状と課題点から登録販売者の社会的役割を理解する。いち販売者として、行動と発言に責任を持ちお客様の身体に親身になってアドバイスできるようになる。会社や店舗、本人の信頼を得るためのプラスの情報である養生法をお伝えできる。

授業計画・内容	
1回目	日本が直面する超高齢社会の医療における問題点について説明できる
2回目	セルフメディケーションについて説明できる
3回目	登録販売者の期待される役割について説明できる
4回目	登録販売者が行う、販売または受診勧奨までの一連の流れの確認事項について説明できる
5回目	【風邪薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる
6回目	【風邪薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる
7回目	【頭痛薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる
8回目	【頭痛薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる
9回目	【胃腸薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる
10回目	【胃腸薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる
11回目	【止瀉・瀉下】症状聴取・商品選択の手順を説明できる
12回目	【止瀉・瀉下】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる
13回目	【点眼薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる、ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる
14回目	前期テスト
15回目	前期テストの解説・復習
準備学習時間外学習	この講義では実際に今販売されている一般用医薬品製品を例に挙げながら学習していきます。実習中の方もそうでない方も、ドラッグストアの医薬品売り場に陳列してある商品をしっかり観察し、よく売れる商品やテレビCMなどでよく耳にする商品は手にとりしっかり見ておいてください。より一層理解が深まります。
評価方法	定期テスト(100%)
受講生へのメッセージ	現場に出た際、登録販売者試験の学習内容だけでは知識不足に気付かされることと思います。リアルに使うスキルを身につけておくと自身の自信もつきスムーズに業務に慣れていけるはずです。卒業後、業界の即戦力となり活躍してくれることを願います。

【使用教科書・教材・参考書】

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	東洋医学 Oriental medicine	必修選択	選択	年次	1	担当教員	姪原　裕子
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	くすり登録販売者コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ドラッグストアや薬局では、軽度の風邪や発熱、肌荒れなど特定の症状を持って来店する消費者ばかりではなく、体のだるさや軽度の不眠など不定愁訴を訴えてくる消費者も少なくはないです。特定の症状が無い症状をもった消費者において、この単元で学習する東洋医学を用いて一般用医薬品を選択・説明することで消費者の満足度をあげることとともに、もともとある登録販売者の知識に＋αで東洋医学の知識があることで考え方が多方向に広がります。東洋医学とは何なのか、東洋医学を西洋医学におきかえると何あたるのか？また、そのことを医薬品を購入しようとしてる消費者にはどのように説明するか、東洋医学だけではなく、実践に繋がるような知識を学習したいと思います。

※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、ドラッグストアでの実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実

【到達目標】

木曜日の漢方学との知識と併せ、実務研修や正規の登録販売者の実践に向けた知識を学習していきたいと思います。
【目標①】病名のついていない症候群や症状に対して自分なりに東洋医学の知識を用いて説明ができる。
【目標②】漢方薬を買おうとしている消費者の顔色や体を目視し適切な状態を予測する事が出来る。

授業計画・内容	
1回目	東洋医学の歴史と成り立ちが述べられるようになる。
2回目	東洋医学での生体の捉え方である陰陽学説が説明できるようになる。
3回目	東洋医学での病因の捉え方である気血津液弁証の気の異常が説明できるようになる。
4回目	東洋医学での病因の捉え方である気血津液弁証の血が説明できるようになる。
5回目	東洋医学での病因の捉え方である気血津液弁証の津液の説明できるようになる。
6回目	東洋医学での生体と病因に関係する「肝」「心」の病態生理が説明できるようになる。
7回目	東洋医学での生体と病因に関係する「脾」「肺」の病態生理が説明できるようになる。
8回目	東洋医学での生体と病因に関係する「腎」「六腑」の病態生理が説明できるようになる。
9回目	東洋医学での疾病のステージ分類である六病位の病態生理が説明できるようになる。
10回目	東洋医学での四診「望診」を用い、適切な市販漢方薬を選択する事ができる。
11回目	東洋医学での四診「問診」を用い、適切な市販漢方薬を選択する事ができる。
12回目	東洋医学での四診「腹診」を用い、適切な市販漢方薬を選択する事ができる。
13回目	東洋医学での四診「脈診」を用い、適切な市販漢方薬を選択する事ができる。
14回目	後期試験
15回目	後期試験解説
準備学習時間外学習	各単元後での復習と、実生活や実務研修中にも様々な事柄を東洋医学に置き換えて考える練習を行ってください。漢方学での授業と併せて、過去の症例を読むこともあるので、文章を読む癖（小説や新聞など）をつけておくとなおいいです。
評価方法	後期試験100% この割合で後期の成績を算出します。
受講生へのメッセージ	東洋医学は中国の伝統的な医学の事です、はじめのうちは馴染みの無い言葉が多く出てきて戸惑うでしょうが、実務経験や研修後の登録販売者として活用できるような知識を学習していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書
寺澤捷年著；JJNブックス絵でみる和漢診療学，医学書院

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	簿記・販売 Bookkeeping	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	森田　道稔
						実務経験	
		授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 2	開講区分	後期
コース	くすり登録販売者コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

マーケティングの基本的な考え方などの知識や技術を身に付け、販売担当者として接客や売り場づくりができるようになる。
ドラッグストア等で必要な知識を習得し、店舗運営や販売の仕事に役立てることができるようになる。（ストアオペレーション、マーケティング、販売・経営管理）

【到達目標】

マーケティングの基本的な考え方などの知識や技術を学習し、ドラッグストア等の店舗運営に役立てる。
ドラッグストア等での販売担当者として必要な知識を習得する。

授業計画・内容	
1回目	ストアオペレーション（基礎編）　①　ストアオペレーションの基本
2回目	ストアオペレーション（基礎編）　②　包装技術の基本
3回目	ストアオペレーション（基礎編）　③　ディスプレイの基本
4回目	マーケティング（基礎編）　①　小売業のマーケティングの基本、顧客満足経営の基本
5回目	マーケティング（基礎編）　②　顧客満足経営の基本、商圏の設定と出店の基本
6回目	マーケティング（基礎編）　③　商圏の設定と出店の基本、リージョナルプロモーション（売場拠点の狭域型販売促進）の基本
7回目	マーケティング（基礎編）　④　リージョナルプロモーション（売場拠点の狭域型販売促進）の基本、顧客志向型売場づくりの基本
8回目	販売・経営管理（基礎編）　①　販売員の役割の基本、販売員の法令知識
9回目	販売・経営管理（基礎編）　②　販売員の法令知識、小売業の計数管理
10回目	販売・経営管理（基礎編）　③　小売業の計数管理、店舗管理の基本
11回目	ストアオペレーション（基礎編）、マーケティング（基礎編）、販売・経営管理（基礎編）　総まとめ
12回目	ストアオペレーション（応用編）　①　店舗運営サイクルの実践と管理
13回目	ストアオペレーション（応用編）　②　戦略的ディスプレイの実施方法
14回目	前期試験
15回目	総評
準備学習 時間外学習	授業の中で演習問題を解いていきます。一度解いた演習問題を何度も解き直して下さい。
評価方法	定期テスト（100%）
受講生へのメッセージ	授業ではハンドブックの内容の講義を行い、随時、演習問題を解いていきます。 ハンドブックの復習と演習問題の解き直しを行って下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

販売士ハンドブック＜基礎編＞　下巻・販売士ハンドブック＜応用編＞　下巻

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	流通・小売業 Retail Business	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	森田　道稔
						実務経験	
		授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 2	開講区分	後期
コース	くすり登録販売者コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

マーケティングの基本的な考え方などの知識や技術を身に付け、販売担当者として接客や売り場づくりができるようになる。
ドラッグストア等で必要な知識を習得し、店舗運営や販売の仕事に役立てることができるようになる。（小売業の類型、マーチャンダイジング）

【到達目標】

マーケティングの基本的な考え方などの知識や技術を学習し、ドラッグストア等の店舗運営に役立てる。
ドラッグストア等での販売担当者として必要な知識を習得する。

授業計画・内容	
1回目	小売業の類型（基礎編）　①　流通における小売業の基本、組織形態別小売業の基本
2回目	小売業の類型（基礎編）　②　組織形態別小売業の基本、店舗形態別小売業の基本的役割
3回目	小売業の類型（基礎編）　③　店舗形態別小売業の基本的役割、商業集積の基本
4回目	小売業の類型（基礎編）　④　小売業の類型まとめ
5回目	マーチャンダイジング（基礎編）　①　商品の基本、マーチャンダイジングの基本
6回目	マーチャンダイジング（基礎編）　②　マーチャンダイジングの基本、商品計画の基本
7回目	マーチャンダイジング（基礎編）　③　販売計画および仕入計画の基本、価格設定の基本
8回目	マーチャンダイジング（基礎編）　④　価格設定の基本、在庫管理の基本
9回目	マーチャンダイジング（基礎編）　⑤　在庫管理の基本、販売管理の基本
10回目	マーチャンダイジング（基礎編）　⑥　マーチャンダイジングまとめ
11回目	小売業の類型（基礎編）、マーチャンダイジング（基礎編）　総まとめ
12回目	小売業の類型（応用編）　①　流通と小売業の役割
13回目	小売業の類型（応用編）　②　組織形態別小売業の運営特性
14回目	前期試験
15回目	総評
準備学習 時間外学習	授業の中で演習問題を解いていきます。一度解いた演習問題を何度も解き直して下さい。
評価方法	定期テスト（100%）
受講生へのメッセージ	授業ではハンドブックの内容の講義を行い、随時、演習問題を解いていきます。 ハンドブックの復習と演習問題の解き直しを行って下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

販売士ハンドブック＜基礎編＞　上巻・販売士ハンドブック〈応用編〉　上巻

2023年度　授業概要

学　科　：　薬業科

科目名（英）	美容概論Ⅰ Introduction to Beauty Ⅰ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山崎　裕美
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	美容アドバイザーコース					曜日・時限	月曜：4限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

美容とは顔や髪、肌などを美しく整えるということ。美しく整えるために皮膚の構造やしくみ・肌トラブルと対処法・化粧品の特徴や成分などの基礎知識が必要です。その上でスキンケア化粧品やメイクアップ化粧品、メイクアップテクニック、顔分析について理解し、日本化粧品検定試験2・3級の取得を目指す。

※実務者経験：　美容クリエーター・ヘアメイクアップアーティスト。25年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業、内面・外面・精神面を整える三面美容を主としたサロンを運営するなど幅広く活動している。　またメイクアップ技術検定協会の認定講師やコスメコンシェルジュインストラクター、アロマタッチ、メンタル美容セラピスト、リンパケアセラピスト、腸セラピスト、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

スキンケアとメイクアップにおいて必要な基礎知識を習得する。
日本化粧品検定試験2・3級を取得することができる。
スキンケアとメイクアップに必要な知識を習得し、その知識を基に悩みや必要に応じたアドバイスができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション　・　科目の目標を理解する・検定内容を把握する　・　道具の確認と使い方を把握する
2回目	「まちがえがちな美容知識」について説明ができる ①
3回目	「まちがえがちな美容知識」について説明ができる ②
4回目	「皮膚の構造・しくみと働き・機能」について説明ができる ①
5回目	「皮膚の構造・しくみと働き・機能」について説明ができる ②
6回目	「肌タイプの見分け方・肌悩み（7つ）の原因とお手入れ」について説明ができる ①
7回目	「肌タイプの見分け方・肌悩み（7つ）の原因とお手入れ」について説明ができる ②
8回目	「肌タイプの見分け方・肌悩み（7つ）の原因とお手入れ」について説明ができる ③
9回目	「メイクアップの基本テクニック」について説明ができる
10回目	「肌悩みに応じた化粧品の使い方」について説明ができる
11回目	「肌を老化させるさまざまな要因・紫外線が肌に与える影響」について説明ができる
12回目	「効果的なマッサージの必要性と方法・美しい肌をつくる生活習慣」について説明ができる
13回目	練習問題を解き間違えた箇所の見直しと復習をする
14回目	問題を解き間違えた箇所や苦手箇所を見直し克服する
15回目	定期試験　：　筆記試験　＜　日本化粧品検定試験2級の範囲　60問　＞
準備学習 時間外学習	テキストをよく理解し学習を進めていって下さい。 毎回必ず復習を行って下さい。 問題集を活用し繰り返し問題を解く事で、問題の傾向を知り苦手分野が見えてきます。
評価方法	小テストにて知識の理解を評価する。 定期試験にて知識の理解・定着度の評価を行う。 ●小テスト（20%） ●定期試験（80%） 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	この授業では、まずメイクアップの実技に入る前の下準備として、スキンケアとメイクアップに必要となる知識や心構えをしっかり身に付けていきます。 そのため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、必ず予習復習をして授業に臨んでください。。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：日本化粧品検定試験　2.3級 公式テキスト
参考書：日本化粧品検定試験　2.3級 公式問題集

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	アロマテラピー （Aromatherapy）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	倉本　寿子
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	美容アドバイザーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

アロマテラピーは香りを楽しみながら心と身体をトータルにサポートする自然療法である。ストレスを抱える現代人の心強い味方であり、近年は個人で楽しむだけでなく、ビジネスとしても拡大している。美容や健康、各サロンや化粧品、日用雑貨などもアロマが付加価値として注目されている。また健康増進や病気予防のため、医療や介護、ボランティアなどの現場でも取り入れられるようになった。様々な活用の場が広がるアロマの基本を理解し、AEAJ認定アロマテラピー検定1級取得を目指す。本授業修了時に各々の説明ができる。

※実務経験：2008年12月にAEAJ認定アロマテラピーインストラクターを取得。九州各校にてアロマテラピー、リフレクソロジー、ハーブ関連の講師業務、エステティックサロンでのセミナーや接客、カウンセリング、施術等を行う。

【到達目標】

AEAJ認定アロマテラピー検定1級・2級に準じる基礎知識、具体的な利用方法やセルフケアを修得する。授業の後半は実習を行い、香りの奥深さや実践方法を体感できる。

＜具体的な目標＞

・AEAJ認定アロマテラピー検定1級・2級において、合格点への到達。

・安全かつ正しい知識で、アロマテラピーを行うことができる。

・精油の香りや特徴、注意事項を理解し、アドバイスすることができる。

授業計画・内容	
1回目	アロマテラピーの定義、精油の定義について説明できる。 ／ 精油のプロフィール①
2回目	注意事項や安全性について説明できる。 ／ 精油のプロフィール②
3回目	精油の抽出法や作用について説明できる。 ／ 精油のプロフィール③
4回目	アロマテラピーの利用法①について説明できる。 ／ 精油のプロフィール④
5回目	精油と環境、基材について説明できる。 ／ 精油のプロフィール⑤
6回目	アロマテラピーの利用法②について説明できる。 ／ 精油のプロフィール⑥
7回目	アロマテラピーメカニズムについて説明できる。 ／ 精油のプロフィール⑦
8回目	睡眠、ストレス、女性ホルモン、スキンケアについて説明できる。 ／ 精油のプロフィール⑧
9回目	精油の希釈濃度について説明できる。 ／ 精油のプロフィール⑨ ／ トリートメントオイル作り
10回目	（セルフ）ハンドトリートメント
11回目	アロマテラピーの歴史について説明できる。 ／ 精油のプロフィール⑩
12回目	アロマテラピー関連法規について説明できる。 ／ 精油のプロフィール⑪
13回目	試験対策
14回目	定期試験
15回目	試験解説
準備学習時間外学習	AEAJ認定アロマテラピー検定1級と定期試験で問われる精油は30種類あります。それぞれ様々な特徴があり、正しく理解する必要があります。授業で学んだことは復習することを心掛けて下さい。プリントを配布しますので、自分で整理・確認できるようにしましょう。
評価方法	筆記試験100%
受講生へのメッセージ	香りが苦手な方は無理に香らなくても大丈夫です。楽しみながら学びましょう。アロマテラピー検定対策の授業でもありますので、欠席がないよう体調管理に気を付けて下さいね。

【使用教科書・教材・参考書】

AEAJ　アロマテラピー検定　公式テキスト

2023年度　授業概要

学　科　：　薬業科

科目名（英）	メイクアップテクニックⅠ Make Up Technique Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	山﨑　裕美
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	美容アドバイザーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

メイクアップにおいては、直接人の肌に触れる為、衛生管理・皮膚生理学・肌トラブルと対処法・色彩学・用途別アイテムの特徴・使用感などの基礎知識が必要です。
その上でスキンケアやメイクアップテクニック、顔分析について理解し、本授業終了時には日本メイクアップ知識検定試験（ベーシック）の取得ができるようになる。

※実務者経験：　美容家・ヘアメイクアップアーティストとして独立。20年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業など幅広く活動している。
またメイクアップ技術検定協会の認定講師やコスメコンシェルジュインストラクター、アロマタッチ、メンタルヒーリングや美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

メイクアップにおいて必要な基礎知識を習得する。
メイクアップに必要な知識を習得し、その知識を基に悩みや必要に応じたアドバイスができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション　・　科目の目標を理解する・検定内容を把握する　・　テキスト「 メイクアップツール 」について説明ができる
2回目	テキスト「 顔分析（顔を知る） 」について説明ができる
3回目	テキスト「 顔分析（肌を知る） 」について説明ができる
4回目	テキスト「 スキンケア理論 」について説明ができる
5回目	テキスト「 メイクアップの基礎理論 」について説明ができる
6回目	テキスト「 ベースメイク理論 」について説明ができる
7回目	テキスト「 ポイントメイクアップ理論 」① について説明ができる
8回目	テキスト「 ポイントメイクアップ理論 」② について説明ができる
9回目	テキスト「 修整メイクアップ 」について説明ができる
10回目	問題を解く（解答、解説を聞き理解する）①
11回目	問題を解く（解答、解説を聞き理解する）②
12回目	問題を解き間違えた箇所や苦手箇所を見直し克服する ①
13回目	問題を解き間違えた箇所や苦手箇所を見直し克服する ②
14回目	定期試験　：　筆記試験　＜　日本メイクアップ知識検定試験（ベーシック）の模擬試験も兼ねる　100問　＞
15回目	試験のフィードバック　・　検定に向けて今まで習得してきた事を全て説明ができる
準備学習 時間外学習	テキストをよく理解し学習を進めていって下さい。 毎回必ず復習を行って下さい。 問題集を活用し繰り返し問題を解く事で、問題の傾向を知り苦手分野が見えてきます。
評価方法	小テストにてメイクアップの知識の理解を評価する。 定期試験にてメイクアップの知識の理解・定着度の評価を行う。 ●小テスト（20%） ●定期試験（80%） 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	この授業では、まずメイクアップの実技に入る前の下準備として、メイクアップに必要となる知識や心構えをしっかり身に付けていきます。 そのため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、必ず予習復習をして授業に臨んでください。。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：日本メイクアップ知識検定試験（ベーシック）公式テキスト
参考書：日本メイクアップ知識検定試験（ベーシック）公式問題集

2023年度　授業概要

学　科　：　薬業科

科目名（英）	メイクアップテクニックⅡ Make Up Technique Ⅱ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	山﨑　裕美
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	美容アドバイザーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日本メイクアップ技術検定試験3級合格を目指すために必要な知識・技術を身に付けることが重要です。
テキストを読み込み、理解の定着を確認しながら授業を進めていく。
技術（手技・手順）を身に付ける為、反復練習を行う。

※実務者経験：　美容家・ヘアメイクアップアーティストとして20年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業など幅広く活動している。
またJMA認定講師やメイクアップアドバイザー、コスメコンシェルジュインストラクター、アロマタッチ、メンタル美容セラピスト、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

検定試験3級合格に向けて必要な知識・技術を身に付けることができる。
顔の分析、ゴールデンバランスを理解した上で、理想やイメージに合わせたメイクアップを施すことができるようになる。
知識や技術だけでなく、声かけによるモデルへの配慮などヒューマンスキルの向上を図る。

授業計画・内容	
1回目	検定内容を理解する　・　道具の種類や使い方を理解する　・　セティングができる
2回目	顔型の種類、理想的なパーツのバランス、修正方法を習得する
3回目	セッティング～スキンケアまでの手順、手技のレベルアップを図る　（ウィッグ使用）
4回目	クレンジング～スキンケアの復習・ベースメイクの手順、手技を習得する　（ウィッグ使用）
5回目	ティング～クレンジング～スキンケア～ベースメイクの復習・ハイライト、ローライト、チークの手技を習得する
6回目	クレンジング～ベースメイク　（3級検定内容）　までを30分で仕上げる技術を習得する
7回目	クレンジング～ベースメイク　（3級検定内容）　アイブロウの基本を理解し技術を習得する
8回目	クレンジング～ベースメイク　（3級検定内容）　アイメイクの基本を理解し技術を習得する
9回目	クレンジング～ベースメイク　（3級検定内容）　アイブロウ、アイメイク技術のレベルアップを図る
10回目	クレンジング～ベースメイク　（3級検定内容）　チーク、リップの基本理解し技術を習得する
11回目	クレンジング～フルメイクの施術を行う　（各パーツを美しく仕上げる）
12回目	フルメイクのレベルアップを図る　（左右のバランス、ムラ、ゆがみ、グラデーションなど）
13回目	クレンジング～ベースメイク　（3級検定内容）　検定通りに行う、似合わせポイントメイクの施術を行う
14回目	定期試験（検定の模擬試験も兼ねる）　・・・　実技試験
15回目	検定試験（日本メイクアップ技術検定試験3級）
準備学習 時間外学習	毎日のスキンケアやメイクで手順や手技を確認する。 また,技術の復習や苦手部分の練習をし、確実に身に付けることが望ましい。
評価方法	小テストにてスキンケアの手順の理解を評価する。 定期試験にてスキンケアからフルメイクアップまでの施術と仕上がりを評価する。 ●小テスト（20%） ●定期試験（80%） 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。 講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。 実習がメインとなる授業ため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：日本メイクアップ技術検定試験公式テキスト3級2級
教材：メイク道具一式

2023年度　授業概要

学　科　：　薬業科

科目名（英）	美容概論Ⅱ Introduction to Beauty Ⅱ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	山﨑　裕美
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	美容アドバイザーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

美容とは顔や髪、肌などを美しく整えるということ。美しく整えるために皮膚の構造やしくみ・肌トラブルと対処法・化粧品の特徴や成分などの基礎知識が必要です。その上でスキンケア化粧品やメイクアップ化粧品、メイクアップテクニック、顔分析について理解し、日本化粧品検定試験2・3級の取得を目指す。

※実務者経験：　美容クリエーター・ヘアメイクアップアーティスト。25年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業、内面・外面・精神面を整える三面美容を主としたサロンを運営するなど幅広く活動している。　またメイクアップ技術検定協会の認定講師やコスメコンシェルジュインストラクター、アロマタッチ、メンタル美容セラピスト、リンパケアセラピスト、腸セラピスト、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

スキンケアとメイクアップにおいて必要な基礎知識を習得する。
日本化粧品検定試験2・3級を取得することができる。
スキンケアとメイクアップに必要な知識を習得し、その知識を基に悩みや必要に応じたアドバイスができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション　・　科目の目標を理解する・検定内容を把握する　・　道具の確認と使い方を把握する
2回目	「 まちがえがちな美容知識 」について説明ができる ①
3回目	「 まちがえがちな美容知識 」について説明ができる ②
4回目	「皮膚の構造・しくみと働き・機能 」について説明ができる ①
5回目	「皮膚の構造・しくみと働き・機能 」について説明ができる ②
6回目	「 肌タイプの見分け方・肌悩み（7つ）の原因とお手入れ」について説明ができる ①
7回目	「 肌タイプの見分け方・肌悩み（7つ）の原因とお手入れ」について説明ができる ②
8回目	「 肌タイプの見分け方・肌悩み（7つ）の原因とお手入れ」について説明ができる ③
9回目	「メイクアップの基本テクニック 」について説明ができる
10回目	「肌悩みに応じた化粧品の使い方 」について説明ができる
11回目	「肌を老化させるさまざまな要因・紫外線が肌に与える影響 」について説明ができる
12回目	「効果的なマッサージの必要性と方法・美しい肌をつくる生活習慣」について説明ができる
13回目	練習問題を解き間違えた箇所の見直しと復習をする
14回目	問題を解き間違えた箇所や苦手箇所を見直し克服する
15回目	定期試験　：　筆記試験　＜　日本化粧品検定試験2級の範囲　60問　＞
準備学習時間外学習	テキストをよく理解し学習を進めていって下さい。 毎回必ず復習を行って下さい。 問題集を活用し繰り返し問題を解く事で、問題の傾向を知り苦手分野が見えてきます。
評価方法	小テストにて知識の理解を評価する。 定期試験にて知識の理解・定着度の評価を行う。 ●小テスト（20%） ●定期試験（80%） 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	この授業では、まずメイクアップの実技に入る前の下準備として、スキンケアとメイクアップに必要となる知識や心構えをしっかり身に付けていきます。 そのため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、必ず予習復習をして授業に臨んでください。。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：日本化粧品検定試験　2.3級 公式テキスト
参考書：日本化粧品検定試験　2.3級 公式問題集

2023年度　授業概要

学　科：　薬業科

科目名（英）	トータルビューティーⅠ （ Total Beauty Ⅰ）	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	山崎　裕美
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	美容アドバイザーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

メイクアップにおいては、お客様のあらゆる要望に応えられる知識と技術が必要とされるため、様々なメイクアップテクニックや最新のトレンドをチェックし、お客様が要望するイメージをくみ取り、それを具現化・再現する技術を身に付ける。また、ヘア・メイク・ネイル・ファッションの知識・技術のほか、トータルバランス力とコーディネート力を習得する授業を行う。

※実務者経験：　美容クリエーター・ヘアメイクアップアーティスト。25年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業、内面・外面・精神面を整える三面美容を主としたサロンを運営するなど幅広く活動している。　またメイクアップ技術検定協会の認定講師やコスメコンシェルジュインストラクター、アロマタッチ、メンタル美容セラピスト、リンパケアセラピスト、腸セラピスト、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

ヘアアレンジの基本テクニック（ブロッキング、ピニング、コテ巻き、編み込みなど）を習得する。
参考資料（配布プリント）、雑誌やコレクションなどを参考に、それを再現する為の技術、やり方を習得する。
ヘア、メイク、ネイル、ファッションに一貫性をもたせる事ができる。
トータルバランスを考えトレンドやイメージなどコンテストを意識したヘアメイクの作品を制作することができる。

授業計画・内容	
1回目	科目の目的、授業の流れのを理解する　・　道具の種類、使い方、頭の形、各部分の名称を理解する　・　ブロッキングの仕方を習得する
2回目	ピニング、ゴムの結び方、逆毛の立て方を習得する
3回目	アイロンの巻き方を習得する　（フォアード、リバース、ミックス、波ウェーブ）
4回目	編み込みの仕方を習得する　（表、裏、片編み）、ツイスト、フィッシュボーン
5回目	面の作り方を習得する　（夜会巻）
6回目	アップスタイルの作り方を習得する　（カールアップ）
7回目	ルーズなスタイルの作り方を習得する　（カールアップ）
8回目	イメージに合わせたトータルコーディネート（ヘア・メイク・ネイル・ファッション）を理解する　＜キュート、ナチュラル＞ ①
9回目	イメージに合わせたトータルコーディネート（ヘア・メイク・ネイル・ファッション）を理解する　＜エレガント、クール＞ ②
10回目	ヘア＆メイクフォトコンテストのエントリー作品を考えデザイン画を作成する
11回目	ヘア＆メイクフォトコンテストのエントリー作品を決定し実習を行う
12回目	作品のレベルアップを図る①
13回目	作品のレベルアップを図る②
14回目	定期試験　（メイク・ヘア・衣装のトータルで仕上げる）
15回目	作品制作　（メイク・ヘア・衣装のトータルで仕上げ撮影をする）
準備学習 時間外学習	最新のトレンドを意識して、雑誌やショーなどのヘアメイク,ネイル、ファッションを分析、研究しておくこと。 また、技術の復習や苦手部分の練習をし、確実に身に付けることが望ましい。
評価方法	小テストにてデザイン画の完成度を評価する。 定期試験にてヘア・メイク・ネイル・ファッションの知識・技術、トータルバランス力とコーディネート力の理解・定着度（実技試験）の評価を行う。 ●小テスト（20%） ●定期試験（80%） 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。 講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。 実習がメインとなる授業ため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：配布プリント
教材：ヘア道具一式（ピン類、コーム、ブラシ、スプレー、ワックス、アイロン各種、ゴム、ウィッグ、クランプ）・メイク道具一式

2023年度　授業概要

学　科：　薬業科

科目名（英）	トータルビューティーⅡ （ Total Beauty Ⅱ ）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	山崎　裕美
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	美容アドバイザーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

美容とは、内面と外見の両方からのアプローチが重要となります。マッサージにより血流やリンパ液の流れを促す事で、引き締めや肌のトーンアップをはかる。
また、自分の悩みや顔を分析し、理想やイメージに合わせたメイクアップを施すことができる技術を習得する授業を行う。

※実務者経験：　美容クリエーター・ヘアメイクアップアーティスト。25年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業、内面・外面・精神面を整える三面美容を主としたサロンを運営するなど幅広く活動している。　またメイクアップ技術検定協会の認定講師やコスメコンシェルジュインストラクター、アロマタッチ、メンタル美容セラピスト、リンパケアセラピスト、腸セラピスト、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

美容において必要な基礎知識を習得する。（ セルフフェイシャルケア技術を習得し内面からの美を目指す ）
悩み別メイクアップ技術、イメージに合わせたメイクアップ技術を習得しメイクアップによるセルフプロデュースができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	科目の目的、授業の流れのを理解する・顔の筋肉、リンパの流れを理解する
2回目	セルフフェイシャルケアの知識と技術を理解する ①（フェイシャルリンパケア）
3回目	セルフフェイシャルケアの知識と技術を理解する ②（ブラシによるフェイシャルリンパケア）
4回目	セルフプロデュースのイメージや理想を明確にする
5回目	セルフメイク ① ベースメイク （ 顔型の補正、肌トラブルのカバーの仕方を習得する ）looop使用
6回目	セルフメイク ② アイブロウ （ 眉のイメージ、自分に合った眉の描き方と左右対称、ムラなく自然に仕上げる修正技術習得する ）looop使用
7回目	セルフメイク ③ アイメイク （ 目幅（縦、横）、目と目の間隔のバランス、つり目・たれ目の補正、イメージ別アイメイク技術を習得する ）looop使用
8回目	セルフメイク ④ チーク・リップ （ バリエーションを理解しテクニックを習得する・形と色とイメージの違いについて説明ができる ）looop使用
9回目	各悩み別、理想やイメージ別メイクを習得する ①　looop使用
10回目	各悩み別、理想やイメージ別メイクを習得する ②　looop使用
11回目	各悩み別、理想やイメージ別メイクを習得する ③　セルフメイク実技
12回目	各悩み別、理想やイメージ別メイクを習得する ④　セルフメイク実技
13回目	今まで習得した知識、技術を活用し、理想やイメージに合わせたセルフメイクアップを施すことができる
14回目	定期試験 （今まで習得した知識、技術を活用し、理想やイメージに合わせたセルフメイクアップを施すことができる）
15回目	試験のフィードバック ・ 苦手部分を克服し習得する
準備学習 時間外学習	毎回授業の復習を行って下さい。 自分の毎日のケアに取り入れるようにしてみて下さい。 自分の顔分析をし、長所・短所を客観的に捉えられることが必要です。 理想の顔やなりたいイメージを明確に持つように心がけて下さい。
評価方法	定期試験にてメイクアップの知識・技術の理解・定着度（実技試験）、職業人としてのマナーや所作を確認、評価を行う。 ●定期試験（100%）
受講生へのメッセージ	配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。 講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。 実習がメインとなる授業ため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：配布プリント
教材：手持ちのメイク道具一式、鏡、メイク落とし、綿棒、ダッカール

2023年度　授業概要

学　科：　薬業科

科目名（英）	メイクアップテクニックⅢ Make Up TechniqueⅢ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	山﨑　裕美
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	美容アドバイザーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日本メイクアップ技術検定試験3級合格を目指すために必要な知識・技術を身に付けることが重要です。
フルメイクアップの技術を身に付け美しく仕上げることができるようになる。
技術（手順・手技）を身に付ける為、反復練習を行いレベルアップを図る。 各パーツのポイントや修正メイクを理解し施せるよう練習していく。

※実務者経験：　美容家・ヘアメイクアップアーティストとして20年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業など幅広く活動している。
またJMA認定講師やメイクアップアドバイザー、コスメコンシェルジュインストラクター、アロマタッチ、メンタル美容セラピスト、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

検定試験3級合格に必要な知識や技術を身に付ける。
顔の分析、ゴールデンバランスを理解した上で、理想やイメージに合わせたメイクアップを施すことができるようになる。
ポイントメイクアップの技術の基本を身に付けフルメイクアップができるようになる。
知識や技術だけでなく、声かけによるモデルへの配慮などヒューマンスキルの向上を図る。

授業計画・内容	
1回目	顔の各パーツの名称や皮膚の構造・しくみ・働きについて説明できる
2回目	手指消毒～クレンジング～スキンケアの手順・手技を習得する （ウィッグ使用）
3回目	セッティング～クレンジング～スキンケアの練習・レベルアップを図る （相モデル）
4回目	セッティング～クレンジング～スキンケア～ベースメイクの練習・レベルアップを図る （相モデル）
5回目	セティング～クレンジング～スキンケア～ベースメイク （ハイライト、ローライト、チークまで） 反復練習を行いレベルアップを図る
6回目	クレンジング～ベースメイク （3級検定内容） までを30分で仕上げる技術を習得する
7回目	クレンジング～ベースメイク （3級検定内容） アイブロウの基本を理解し技術を習得する
8回目	クレンジング～ベースメイク （3級検定内容） アイメイクの基本を理解し技術を習得する
9回目	クレンジング～ベースメイク （3級検定内容） アイブロウ、アイメイク技術のレベルアップを図る
10回目	クレンジング～ベースメイク （3級検定内容） チーク、リップの基本理解し技術を習得する
11回目	クレンジング～フルメイクの施術を行う （各パーツを美しく仕上げる）
12回目	フルメイクのレベルアップを図る （左右のバランス、ムラ、ゆがみ、グラデーションなど）
13回目	クレンジング～ベースメイク （3級検定内容） 検定通りに行う、似合わせポイントメイクの施術を行う
14回目	定期試験（検定の模擬試験も兼ねる） ・・・ 実技試験
15回目	検定試験（日本メイクアップ技術検定試験3級）
準備学習 時間外学習	毎日のスキンケアやメイクで手順や手技を確認し、セルフメイクでポイントメイクの復習やレベルアップをはかる。 また、技術の復習や苦手部分の練習をし、確実に身に付けることが望ましい。
評価方法	小テストにてスキンケアの手順の理解を評価する。 定期試験にてスキンケアからフルメイクアップまでの施術と仕上がりを評価する。 ●小テスト（20%） ●定期試験（80%） 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。 講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。 実習がメインとなる授業ため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：日本メイクアップ技術検定試験公式テキスト3級2級
教材：メイク道具一式

2023年度　授業概要

学　科：　薬業科

科目名（英）	メイクアップテクニックⅣ Make Up Technique Ⅳ	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	山崎　裕美
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	美容アドバイザーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

メイクアップにおいては、お客様のあらゆる要望に応えられる知識と技術が必要とされるため、様々なメイクアップテクニックや最新のトレンドをチェックし、お客様が要望するイメージをくみ取り、それを具現化・再現する技術を身に付ける。本授業終了時にはヘア＆メイクフォトコンテストにエントリーする作品が作れるようになり入賞を目指す。

※実務者経験：　美容クリエーター・ヘアメイクアップアーティスト。25年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業、内面・外面・精神面を整える三面美容を主としたサロンを運営するなど幅広く活動している。　またメイクアップ技術検定協会の認定講師やコスメコンシェルジュインストラクター、アロマタッチ、メンタル美容セラピスト、リンパケアセラピスト、腸セラピスト、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

1年次の基礎をベースに技術のレベルアップに加え、応用技術として様々なメイクアップの種類やテクニックを身に付け習得する。
自由な発想でヘアメイクに挑戦することができる。
メイクアップのパターンやイメージ、応用技術を習得し、それを活かし作品づくりのアイデア、イメージを膨らませ、クオリティーの高い作品を制作することができる。

授業計画・内容	
1回目	応用技術を習得する （ベースメイク…ハーフマット肌・マット肌）
2回目	応用技術を習得する （ベースメイク…ツヤ肌・パール肌）
3回目	応用技術を習得する （アイメイク…スモーキーアイズ）
4回目	応用技術を習得する （アイメイク…ダブルライン）
5回目	応用技術を習得する （アイメイク…多色使いのカラフルメイク）
6回目	イメージ別メイクの特徴を説明できる （キュート・フレッシュ）
7回目	イメージ別メイクの特徴を説明できる （エレガント・クール）
8回目	デザイン画の描き方を習得する （コレクションやステージメイクを参考に4パターン）
9回目	デザイン画を基に再現する （実践）
10回目	デザイン画を基に再現する （実践）
11回目	ヘア＆メイクフォトコンテストのエントリー作品を決定し実習を行う
12回目	作品のレベルアップを図る①
13回目	作品のレベルアップを図る②
14回目	定期試験 （メイク・ヘア・衣装のトータルで仕上げる）
15回目	作品制作 （メイク・ヘア・衣装のトータルで仕上げ撮影をする）
準備学習 時間外学習	最新のトレンドを意識して、雑誌やショーなどのヘアメイクを分析、研究しておくこと。 また、技術の復習や苦手部分の練習をし、確実に身に付けることが望ましい。
評価方法	小テストにてデザイン画の完成度を評価する。 定期試験にてメイクアップの知識・技術の理解・定着度（実技試験）、職業人としてのマナーや所作を確認、評価を行う。 ●小テスト（20%） ●定期試験（80%） 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。 講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。 実習がメインとなる授業ため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：配布プリント
教材：メイク道具一式・ヘア道具一式・ウィッグ・クランプ

2023年度　授業概要

学　科：　薬業科

科目名（英）	トータルビューティーⅢ Total BeautyⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	山﨑　裕美
						実務経験	○
		授業 形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	美容アドバイザーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日本メイクアップ技術検定試験2級合格を目指すために必要な知識・技術を身に付けることが重要です。
テキストの内容を理解し実技の手技・手順とリンクさせ覚えて再現できるように進めていく。
苦手部分の反復練習を行い、克服と技術の定着、スキルアップにつながるよう授業を実施していく。

※実務者経験：　美容家・ヘアメイクアップアーティストとして20年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業など幅広く活動している。
またJMA認定講師やメイクアップアドバイザー、コスメコンシェルジュインストラクター、アロマタッチ、メンタル美容セラピスト、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

検定試験2級合格に必要な知識や技術を身に付けることができるようになる。（各パーツのバランス、プロポーション）
メイクアップにおいては、あらゆる要望に応えられる知識と技術が必要とされるため、要望するイメージをくみ取り、それを具現化・再現する技術を身に付ける。
知識や技術だけでなく、声かけによるモデルへの配慮などヒューマンスキルの向上を図る。

授業計画・内容	
1回目	3級と2級の技術の違いを理解し、違う箇所の技術を習得する　・　クレンジング～スキンケアまでの技術の復習と練習を行う
2回目	ファンデーションブラシを使ったベースメイクのテクニックを習得する
3回目	セッティング～クレンジング～スキンケア～フルメイクのレベルアップを図る
4回目	セッティング～クレンジング～スキンケア～フルメイクまでを50分で仕上げる技術を習得する
5回目	セティング～スキンケア・ベースメイクのレベルアップを図る
6回目	クレンジング～ベースメイク・アイブロウのレベルアップを図る
7回目	クレンジング～アイブロウ・アイメイクのレベルアップを図る（特に切れ長ライン）
8回目	クレンジング～アイメイク・チーク・リップのレベルアップを図る
9回目	クレンジング～フルメイクのレベルアップを図る（タイム取り）
10回目	フルメイクの施術を行う（各パーツを美しく仕上げられるよう練習・苦手部分の練習）
11回目	フルメイクの施術を行う（似合わせ・カラーバランスを学び練習）
12回目	苦手部分の強化、反復練習とレベルアップを図る
13回目	セッティング～既定のフルメイク、セッティングの直し、終了までを検定通りに施術を行う
14回目	定期試験（検定の模擬試験も兼ねる）・・・　実技試験
15回目	検定試験（日本メイクアップ技術検定試験2級）
準備学習 時間外学習	毎日のスキンケアやメイクアップで手技・手順や手技を確認する。 雑誌などでツヤメイクやラインなどを意識して見る。 技術の復習や苦手部分の練習をし、確実に身に付けることが望ましい。
評価方法	小テストにてスキンケアの手順の理解を評価する。 定期試験にてスキンケアからフルメイクアップまでの施術と仕上がりを評価する。 ●小テスト（20%） ●定期試験（80%） 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。 講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。 実習がメインとなる授業ため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：日本メイクアップ技術検定試験公式テキスト3級2級
教材：メイク道具一式

2023年度　授業概要

学　科　：　薬業科

科目名（英）	トータルビューティーⅣ Total BeautyⅣ	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	山﨑　裕美
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	美容アドバイザーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ビューティーカウンセリングに必要となる知識や心構えをしっかり身に付けていきます。
お客様のあらゆるニーズや悩みに応えるため、皮膚・肌についての知識（皮膚の構造・しくみ・肌タイプ・肌トラブル）とそれに加え、商品（スキンケア商品・メイクアップ商品）の特徴や知識を理解することが重要です。それを踏まえた上で、お客様へのカウンセリング・肌分析からアドバイス・クロージングまでの流れを理解しスキルアップを図る。

※実務者経験：　美容家・ヘアメイクアップアーティストとして20年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業など幅広く活動している。
またJMA認定講師やメイクアップアドバイザー、コスメコンシェルジュインストラクター、アロマタッチ、メンタル美容セラピスト、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

皮膚・肌についての知識（皮膚の構造・しくみ・肌タイプ・肌トラブル）・スキンケア商品・メイクアップ商品についての知識を身に付け、お客様の肌悩みと肌の状態を理解し、
肌別カウンセリング法を習得する。
お客様の要望や悩みに応じたカウンセリングとアドバイス、商品提案ができるようになる。
幅広い層のお客様に対応できるコミュニケーション力、接客力の向上を図る。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション ・ 科目の必要性、目標を理解する （カウンセリング＆アドバイス、接客スキルの必要性を理解する）
2回目	1年次の復習 ・・・ 皮膚の構造 （表皮・真皮・皮下組織・付属器官）、肌タイプ （ノーマル肌・ドライ肌・オイリー肌・コンビネーション肌）について説明できる
3回目	1年次の復習 ・・・ 肌トラブルとその原因・対処法 （しみ・しわ・乾燥・くすみ・たるみ・毛穴・ニキビ・クマ）について説明できる
4回目	スキンケア商品 （ブースター・化粧水・乳液・美容液・クリーム） それぞれの役割と特徴を説明できる ①
5回目	スキンケア商品 （ブースター・化粧水・乳液・美容液・クリーム） それぞれの役割と特徴を説明できる ②
6回目	ベースメイクアップ商品 （下地・コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラー・フェイスパウダー） それぞれの役割と特徴を説明できる ①
7回目	ベースメイクアップ商品 （下地・コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラー・フェイスパウダー） それぞれの役割と特徴を説明できる ②
8回目	肌タイプ・肌トラブルに対しての商品や使用アイテムを理解し説明できる （お客様別カウンセリング～商品セレクト～使い方の説明） ①
9回目	肌タイプ・肌トラブルに対しての商品や使用アイテムを理解し説明できる （お客様別カウンセリング～商品セレクト～使い方の説明） ②
10回目	カウンセリング・肌分析からアドバイス・クロージングまでの流れを理解し実践できるようになる ① （デモンストレーション）
11回目	カウンセリング・肌分析からアドバイス・クロージングまでを実践できるようになる ② （お客様ご来店～カウンセリング～アドバイスのロールプレイング）
12回目	カウンセリング・肌分析からアドバイス・クロージングまでを実践できるようになる ③ （お客様ご来店～カウンセリング～アドバイスのロールプレイング）
13回目	お客様ご来店～カウンセリング～アドバイス～商品選定、商品説明、使用方法のレクチャー～クロージングのロールプレイング・苦手部分の見直し、克服ができる
14回目	定期試験 ： お客様ご来店～カウンセリング～アドバイス～商品選定、商品説明、使用方法のレクチャー～クロージングのロールプレイング （1人約20分程度）
15回目	試験のフィードバック ・ カウンセリングとアドバイス、接客スキルについてより深く理解する
準備学習 時間外学習	講義をよく聞き理解し学習を進めていって下さい。 毎回必ず復習を行い、確実に身に付けることが望ましい。
評価方法	小テストにて肌トラブルや悩みに応じたアドバイスと商品提案の知識と理解度を評価する。 定期試験にてカウンセリング～アドバイス～商品選定、商品説明、使用方法のレクチャー～クロージングまでのロールプレイングと、その接客力を評価する。 ●小テスト（20%） ●定期試験（80%） 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。 講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取り、いつでも見直せる様にしておいて下さい。 忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、必ず予習復習をして授業に臨んでください。

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：日本メイクアップ技術検定試験公式テキスト3級2級
　　配布プリント、カウンセリングシート

2023年度　授業概要

学　科：　薬業科

科目名（英）	トータルビューティーⅤ Total Beauty Ⅴ	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	山﨑　裕美
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	美容アドバイザーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ビューティーカウンセリングに必要となる知識や心構えをしっかり身に付けていきます。
お客様のあらゆるニーズや悩みに応えるため、皮膚・肌についての知識（皮膚の構造・しくみ・肌タイプ・肌トラブル）とそれに加え、商品（スキンケア商品・メイクアップ商品）の特徴や知識を理解することが重要です。それを踏まえた上で、お客様へのカウンセリング・肌分析からアドバイス・クロージングまでの流れを理解しスキルアップを図る。

※実務者経験：　美容家・ヘアメイクアップアーティストとして20年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業など幅広く活動している。
またJMA認定講師やメイクアップアドバイザー、コスメコンシェルジュインストラクター、アロマタッチ、メンタル美容セラピスト、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

皮膚・肌についての知識（皮膚の構造・しくみ・肌タイプ・肌トラブル）・スキンケア商品・メイクアップ商品についての知識を身に付け、お客様の肌悩みと肌の状態を理解し、
肌別カウンセリング法を習得する。
お客様の要望や悩みに応じたカウンセリングとアドバイス、商品提案ができるようになる。
幅広い層のお客様に対応できるコミュニケーション力、接客力の向上を図る。

	授業計画・内容
1回目	オリエンテーション　・　科目の必要性、目標を理解する　（カウンセリング＆アドバイス、接客スキルの必要性を理解する）
2回目	皮膚の構造　（表皮・真皮・皮下組織・付属器官）、肌タイプ　（ノーマル肌・ドライ肌・オイリー肌・コンビネーション肌）について説明できる
3回目	肌トラブルとその原因・対処法　（しみ・しわ・乾燥・くすみ・たるみ・毛穴・ニキビ・クマ）について説明できる
4回目	スキンケア商品　（ブースター・化粧水・乳液・美容液・クリーム）　それぞれの役割と特徴を説明できる　①
5回目	スキンケア商品　（ブースター・化粧水・乳液・美容液・クリーム）　それぞれの役割と特徴を説明できる　②
6回目	ベースメイクアップ商品　（下地・コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラー・フェイスパウダー）　それぞれの役割と特徴を説明できる　①
7回目	ベースメイクアップ商品　（下地・コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラー・フェイスパウダー）　それぞれの役割と特徴を説明できる　②
8回目	肌タイプ・肌トラブルに対しての商品や使用アイテムを理解し説明できる　（お客様別カウンセリング～商品セレクト～使い方の説明）　①
9回目	肌タイプ・肌トラブルに対しての商品や使用アイテムを理解し説明できる　（お客様別カウンセリング～商品セレクト～使い方の説明）　②
10回目	カウンセリング・肌分析からアドバイス・クロージングまでの流れを理解し実践できるようになる　①　（デモンストレーション）
11回目	カウンセリング・肌分析からアドバイス・クロージングまでを実践できるようになる　②　（お客様ご来店～カウンセリング～アドバイスのロールプレイング）
12回目	カウンセリング・肌分析からアドバイス・クロージングまでを実践できるようになる　③　（お客様ご来店～カウンセリング～アドバイスのロールプレイング）
13回目	お客様ご来店～カウンセリング～アドバイス～商品選定、商品説明、使用方法のレクチャー～クロージングのロールプレイング・苦手部分の見直し、克服ができる
14回目	定期試験　：　お客様ご来店～カウンセリング～アドバイス～商品選定、商品説明、使用方法のレクチャー～クロージングのロールプレイング　（1人約20分程度）
15回目	試験のフィードバック　・　カウンセリングとアドバイス、接客スキルについてより深く理解する
準備学習 時間外学習	講義をよく聞き理解し学習を進めていって下さい。 毎回必ず復習を行い、確実に身に付けることが望ましい。
評価方法	小テストにて肌トラブルや悩みに応じたアドバイスと商品提案の知識と理解度を評価する。 定期試験にてカウンセリング～アドバイス～商品選定、商品説明、使用方法のレクチャー～クロージングまでのロールプレイングと、その接客力を評価する。 ●小テスト（20%） ●定期試験（80%） 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。 講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取り、いつでも見直せる様にしておいて下さい。 忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、必ず予習復習をして授業に臨んでください。

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：日本メイクアップ技術検定試験公式テキスト3級2級
　　配布プリント、カウンセリングシート

2023年度　授業概要

学　科　：　薬業科

科目名（英）	美容総合Ⅰ General Introdustion to Beauty Care Ⅰ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	山﨑　裕美
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	美容アドバイザーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

美容とは、内面と外見の両方からのアプローチが重要となります。マッサージにより血流やリンパ液の流れを促す事で、引き締めや肌のトーンアップをはかる。
また、自分の悩みや顔を分析し、理想やイメージに合わせたメイクアップを施すことができる技術を習得する授業を行う。

※実務者経験：　美容家・ヘアメイクアップアーティストとして20年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業、腸セラピーや肌質改善のお手伝いなど幅広く活動している。　またメイクアップアドバイザーやコスメコンシェルジュインストラクター、アロマタッチ、フェイシャルエステ、腸セラピスト、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

美容において必要な基礎知識を習得する。（ フェイシャル、ヘッド、ハンドマッサージの技術を習得し内面からの美を目指す ）
悩み別メイクアップ技術、イメージに合わせたメイクアップ技術を習得しセルフメイクができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	科目の目的、授業の流れのを理解する・顔の筋肉、リンパの流れを理解する
2回目	マッサージの知識と技術を理解する ①（ フェイシャルマッサージ ）
3回目	マッサージの知識と技術を理解する ②（ フェイシャルマッサージ ）
4回目	マッサージの知識と技術を理解する ③（ ヘッドマッサージ ）
5回目	マッサージの知識と技術を理解する ④（ ヘッドマッサージ ）
6回目	マッサージの知識と技術を理解する ⑤（ ハンドマッサージ ）
7回目	マッサージの知識と技術を理解する ⑥（ 各悩み別マッサージ ）
8回目	セルフメイク ①　ベースメイク（ 顔型の補正、肌トラブルのカバーの仕方を習得する ）
9回目	セルフメイク ②　アイブロウ（ 眉のイメージ、自分に合った眉の描き方と左右対称、ムラなく自然に仕上げる修正技術習得する ）
10回目	セルフメイク ③　アイメイク（ 目幅（縦、横）、目と目の間隔のバランス、つり目・たれ目の補正、イメージ別アイメイク技術を習得する ）
11回目	セルフメイク ④　チーク・リップ（ バリエーションを理解しテクニックを習得する・形と色とイメージの違いについて説明ができる ）
12回目	セルフメイク ⑤　各悩み別、理想やイメージ別メイクを習得する
13回目	今まで習得した知識、技術を活用し、理想やイメージに合わせたセルフメイクアップを施すことができる
14回目	定期試験　（今まで習得した知識、技術を活用し、理想やイメージに合わせたセルフメイクアップを施すことができる）
15回目	試験のフィードバック　・　苦手部分を克服し習得する
準備学習時間外学習	毎回授業の復習を行って下さい。　自分の毎日のお手入れに取り入れるようにしてみて下さい。 自分の顔分析をし、長所・短所を客観的に捉えられることが必要です。 理想の顔やなりたいイメージを明確に持つように心がけて下さい。
評価方法	定期試験にてメイクアップの知識・技術の理解・定着度（実技試験）、職業人としてのマナーや所作を確認、評価を行う。 ●定期試験（100%）
受講生へのメッセージ	配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。 講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。 実習がメインとなる授業ため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：配布プリント
教材：手持ちのメイク道具一式、鏡、メイク落とし、タオル、ティッシュ、綿棒、ダッカール

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	美容総合Ⅱ General Introdustion to Beauty Care Ⅱ	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	山﨑　裕美
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	美容アドバイザーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

トータルビューティーにおいては、ヘア・メイク・ネイル・ファッションの知識・技術のほか、トータルバランス力とコーディネート力が必要とされる。
そのため、様々なテクニックや最新のトレンドをチェックし理解しておく必要がある。
お客様が要望するイメージをくみ取り、それを具現化・再現する技術を習得する授業を行う。
イメージに合わせたメイクとヘアスタイルがつくれるようになり、本授業終了時にはヘア＆メイクフォトコンテストにエントリーする作品が作れるようになり入賞を目指す。
※実務者経験：　美容家・ヘアメイクアップアーティストとして20年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業など幅広く活動している。
またメイクアップアドバイザーやコスメコンシェルジュインストラクター、アロマタッチ、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

参考資料（配布プリント）、雑誌やコレクションなどを参考に、それを再現する為の技術、やり方を習得する。
ネイル、ファッション、ヘア、メイクに一貫性をもたせる事ができる。
ヘアアレンジの基本テクニック（ブロッキング、ピニング、コテ巻き、編み込みなど）を習得する。
トータルバランスを考えトレンドやイメージなどコンテストを意識したヘアメイクの作品を制作することができる。

授業計画・内容	
1回目	科目の目的、授業の流れのを理解する　・　道具の種類、使い方、頭の形、各部分の名称を理解する　・　ブロッキングの仕方を習得する
2回目	ピニング、ゴムの結び方、逆毛の立て方を習得する
3回目	アイロンの巻き方を習得する　（フォアード、リバース、ミックス、波ウェーブ）
4回目	編み込みの仕方を習得する　（表、裏、片編み）、ツイスト、フィッシュボーン
5回目	面の作り方を習得する　（夜会巻）
6回目	アップスタイルの作り方を習得する　（カールアップ）
7回目	ルーズなスタイルの作り方を習得する　（カールアップ）
8回目	イメージに合わせたトータルコーディネート（ヘア・メイク・ネイル・ファッション）を理解する　＜キュート、エレガント、クール、ナチュラル＞ ①
9回目	イメージに合わせたトータルコーディネート（ヘア・メイク・ネイル・ファッション）を理解する　＜キュート、エレガント、クール、ナチュラル＞ ②
10回目	ヘア＆メイクフォトコンテストのエントリー作品を考えデザイン画を作成する
11回目	ヘア＆メイクフォトコンテストのエントリー作品を決定し実習を行う
12回目	作品のレベルアップを図る ①
13回目	作品のレベルアップを図る ②
14回目	定期試験　（メイク・ヘア・衣装のトータルで仕上げる）
15回目	作品制作　（メイク・ヘア・衣装のトータルで仕上げ撮影をする）
準備学習 時間外学習	最新のトレンドを意識して、雑誌やショーなどのヘアメイク,ネイル、ファッションを分析、研究しておくこと。 また、技術の復習や苦手部分の練習をし、確実に身に付けることが望ましい。
評価方法	小テストにてデザイン画の完成度を評価する。 定期試験にてヘア・メイク・ネイル・ファッションの知識・技術、トータルバランス力とコーディネート力の理解・定着度（実技試験）の評価を行う。 ●小テスト（20%） ●定期試験（80%） 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。 講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。 実習がメインとなる授業ため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：　配布プリント・雑誌
教材：　ヘア道具一式　・メイク道具一式　・ネイル道具一式

2023年度 授業概要

学 科 ：薬業科

科目名（英）	調剤請求事務Ⅰ Medical Processor Ⅰ (Pharmacy)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	吉川 美代
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	調剤薬局					曜日・時限	金曜日・1限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

診療報酬請求事務の仕事は、受付・会計・カルテ管理・オペレータ業務・医療費の請求など多岐にわたる。実務に対応できる能力とスキルを習得し即戦力として活躍できる実力を身につけ実践する。

※実務経験：2011年10月～2016年9月まで、整形外科クリニックを始め4つの医療機関に勤務し窓口業務・総括指導・レセプト作成・レセプト点検・受付指導等に携わる。

【到達目標】

調剤薬局スタッフとしての活躍の場を広げ、調剤報酬請求事務の基礎知識と請求方法を学び、資格取得できる。

＜具体的な目標＞
・処方箋の内容を理解し把握できる
・調剤請求が出来、レセプト作成ができる
・薬剤料の計算ができる

授業計画・内容	
1回目	医薬分業、保険調剤を理解し説明できる
2回目	処方箋の流れを理解し説明できる
3回目	調剤技術基本料の算定を理解し説明できる
4回目	薬学管理料の算定を理解し説明できる
5回目	調剤料の算定を理解し説明できる
6回目	薬剤料の計算を理解し説明できる
7回目	処方箋の点数算定（1）力価の計算を把握できる
8回目	処方箋の点数算定（2）1剤の算定を理解し説明できる
9回目	処方箋の点数算定（3）麻薬・向精神薬等の算定を理解し説明できる
10回目	処方箋の点数算定（4）一包化加算の算定を理解し説明できる
11回目	処方箋の点数算定（5）自家製剤加算が算定を理解し説明できる
12回目	処方箋の点数算定（6）計量混合加算が算定を理解し説明できる
13回目	処方箋の点数算定（7）お試し、長期投与の算定を理解し説明できる
14回目	定期試験
15回目	試験のフィードバック 苦手問題を理解し把握する
準備学習時間外学習	毎回講義の復習、課題（宿題）が必要です。
評価方法	学期末試験（100%）で知識・技能の到達評価を行う。
受講生へのメッセージ	魅力：医療知識が身につきます。日本全国勤務地が選べます。そして勤務経験があれば再就職しやすいです。 授業計画：この授業で身につける能力を毎回講義します。体調管理に気をつけて欠席しない様にしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：調剤報酬テキスト

2023年度　授業概要

学　科：　薬業科

科目名（英）	医療関連法規 Related Regulations	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岡田　一哉
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	調剤薬局コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療関連法規や医療保険制度などを中心とした「制度」についての学習のポイントを押さえて説明を行い、理解不十分なところについての質疑応答、検定（2年次に予定）合格を目指しての練習問題とその解説を繰り返します。

実務経験：現在医療機関にて医療事務スタッフとして勤務しており、その知識と経験を通じて教育を行う。

【到達目標】

①医療機関の組織や医事課の仕事、窓口業務に必須となる医療保険制度のしくみについて説明ができる。
②「医療現場が求める人材」としての資質や守秘義務などについて説明ができる。
③小テストや課題提出により、理解を深めながら、今後受験が予定（2023年度11月）されている「医療秘書技能検定3級」取得を目指す。

授業計画・内容	
1回目	（目標①～③）保険請求事務と医療保障制度について説明ができる。
2回目	（目標①～③）医療保険制度と保険給付について説明ができる。
3回目	（目標①～③）後期高齢者医療制度、その他の社会保障制度について説明ができる。
4回目	（目標①～③）医療機関の概要と、医療にまつわる歴史について説明ができる。
5回目	（目標①～③）公費負担医療制度（主に生活保護、感染症、障害など）について説明ができる。
6回目	（目標①～③）病院内の組織や役割、医事業務、レセプト提出とその後の審査について説明ができる。
7回目	（目標①～③）特定機能病院、地域医療支援病院などについて、また療養担当規則及び諸法規について説明ができる。
8回目	（目標①～③）保険外併用療養費、他保険（労災・自賠責・介護保険・DPCなど）について説明ができる。
9回目	（目標①～③）医療に関連した学説、法則、用語などについて説明ができる。
10回目	（目標①～③）医療関連法規全般についての追加説明などを行い、説明ができるようになる。
11回目	（目標①～③）医療機関で働く職員の各職種について（特に医師の法律に関すること、事務職員の配置される課に関することなど）を理解し、説明ができる。
12回目	（目標①～③）任意継続や高額療養など窓口で相談される内容について、併せて適切な窓口応対について、理解、説明ができる。
13回目	（目標①～③）保険診療の対象とならないもの、償還払いの対象となるものについて理解、説明ができる。
14回目	後期定期試験
15回目	定期試験の解説、前期講座のまとめ
準備学習時間外学習	●宿題を適宜指示します。 ●配布した資料、解いた問題などは、各自で工夫をして整理の事。整理状況やまとめ方を、随時確認、評価の対象とします。クリアーファイルに挟んだだけの物は、整理したとは見なさないので、注意のこと。
評価方法	●理解度の確認のための小テストを随時実施する。（25%） ●定期試験（学科）（50%） ●出席と授業態度（25%） 総合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	努力は報われるものであることを肝に銘じて、自分で問題を解き、整理をし、わからない事は放置せずに質問などではっきりカタを付ける事を習慣づけてください。

【使用教科書・教材・参考書】

レジュメおよび資料、練習問題を用意して、適宜配付します。

2023年度　授業概要

学　科　：　薬業科

科目名（英）	診療報酬請求事務Ⅰ Medical Processor Basic Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岡田　一哉
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	調剤薬局コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療費の正確な算定やレセプト作成には、カルテを正確に読む力が求められるため、医学用語、医学、検査、薬理学等々、関連科目における知識の習得が必須です。これらのすべての科目が、「医療事務」に通じていることを認識して、総合的な技術のレベルアップを図ります。

実務経験：現在医療機関にて医療事務スタッフとして勤務しており、その知識と経験を通じて教育を行う。

【到達目標】

①医療機関の組織や医事課の仕事、窓口業務に必須となる医療保険制度のしくみが理解できる。
②外来および入院医療費算定における診療報酬点数表の見方や関連基礎知識が習得できる。
③外来および入院医療費算定ルール並びにレセプト（診療報酬明細書）作成技術が習得できる。
④「医療現場が求める人材」としての資質や守秘義務などについて理解できる。
⑤小テストや課題提出により、算定知識やレセプト作成技術を向上させながら、「医療秘書技能検定3級（2023年度11月実施）」取得を目指す。

授業計画・内容	
1回目	（目標①～⑤）保険制度のしくみ、請求事務の流れ、点数表の見方について、説明ができる。
2回目	（目標①～⑤）レセプト用紙の書き方、頭書きについて、実際に記入をする事で、説明ができる。
3回目	（目標①～⑤）「初診料」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
4回目	（目標①～⑤）「再診料」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
5回目	（目標①～⑤）「再診料」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
6回目	（目標①～⑤）「医学管理」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
7回目	（目標①～⑤）「医学管理」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
8回目	（目標①～⑤）「投薬」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
9回目	（目標①～⑤）「投薬」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
10回目	（目標①～⑤）「注射」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
11回目	（目標①～⑤）「処置」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
12回目	（目標①～⑤）「処置」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
13回目	後期講座の内容の確認、補足説明、復習を行う。
14回目	後期定期試験
15回目	定期試験の解説、前期講座のまとめ
準備学習時間外学習	●宿題を適宜指示します。 ●配布した資料、解いた問題などは、各自で工夫をして整理の事。整理状況やまとめ方を、随時確認、評価の対象とします。クリアーファイルに挟んだだけの物は、整理したとは見なさないので、注意のこと。
評価方法	●理解度の確認のための小テストを随時実施する。（25%） ●定期試験（学科及び実技）（50%） ●出席と授業態度（25%） 総合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	努力は報われるものであることを肝に銘じて、自分で問題を解き、整理をし、わからない事は放置せずに質問などではっきりカタを付ける事を習慣づけてください。

【使用教科書・教材・参考書】

診療点数早見表、レセプト作成テキストブック
保険診療基本法令テキストブック
医療秘書技能検定實問題集

2023年度　授業概要

学　科：　薬業科

科目名（英）	診療報酬請求事務Ⅱ Medical Processor Basic Ⅱ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岡田　一哉
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	調剤薬局コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療費の正確な算定やレセプト作成には、カルテを正確に読む力が求められるため、医学用語、医学、検査、薬理学等々、関連科目における知識の習得が必須です。これらのすべての科目が、「医療事務」に通じていることを認識して、総合的な技術のレベルアップを図ります。

実務経験：現在医療機関にて医療事務スタッフとして勤務しており、その知識と経験を通じて教育を行う。

【到達目標】

①医療機関の組織や医事課の仕事、窓口業務に必須となる医療保険制度のしくみが理解できる。
②外来および入院医療費算定における診療報酬点数表の見方や関連基礎知識が習得できる。
③外来および入院医療費算定ルール並びにレセプト（診療報酬明細書）作成技術が習得できる。
④「医療現場が求める人材」としての資質や守秘義務などについて理解できる。
⑤小テストや課題提出により、算定知識やレセプト作成技術を向上させながら、「医療秘書技能検定3級（2023年度11月実施）」取得を目指す。

授業計画・内容	
1回目	（目標①～⑤）保険制度のしくみ、請求事務の流れ、点数表の見方について、説明ができる。
2回目	（目標①～⑤）レセプト用紙の書き方、頭書きについて、実際に記入をする事で、説明ができる。
3回目	（目標①～⑤）「初診料」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
4回目	（目標①～⑤）「再診料」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
5回目	（目標①～⑤）「再診料」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
6回目	（目標①～⑤）「医学管理」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
7回目	（目標①～⑤）「医学管理」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
8回目	（目標①～⑤）「投薬」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
9回目	（目標①～⑤）「投薬」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
10回目	（目標①～⑤）「注射」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
11回目	（目標①～⑤）「処置」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
12回目	（目標①～⑤）「処置」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。
13回目	後期講座の内容の確認、補足説明、復習を行う。
14回目	後期定期試験
15回目	定期試験の解説、前期講座のまとめ
準備学習時間外学習	●宿題を適宜指示します。 ●配布した資料、解いた問題などは、各自で工夫をして整理の事。整理状況やまとめ方を、随時確認、評価の対象とします。クリアーファイルに挟んだだけの物は、整理したとは見なさないので、注意のこと。
評価方法	●理解度の確認のための小テストを随時実施する。（25%） ●定期試験（学科及び実技）（50%） ●出席と授業態度（25%） 総合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	努力は報われるものであることを肝に銘じて、自分で問題を解き、整理をし、わからない事は放置せずに質問などではっきりカタを付ける事を習慣づけてください。

【使用教科書・教材・参考書】

診療点数早見表、レセプト作成テキストブック
保険診療基本法令テキストブック
医療秘書技能検定實問題集

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科1年生

科目名（英）	調剤報酬Ⅱ Dispensing Fee Billing Ⅱ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	吉川　美代
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	調剤薬局コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

診療報酬請求事務の仕事は、受付・会計・カルテ管理・オペレータ業務・医療費の請求など多岐にわたる。実務に対応できる能力とスキルを習得し即戦力として活躍できる実力を身につけ実践する。

※実務経験：2011年10月～2016年9月まで、整形外科クリニックを始め4つの医療機関に勤務し窓口業務・総括指導・レセプト作成・レセプト点検・受付指導等に携わる。

【到達目標】

調剤薬局スタッフとしての活躍の場を広げ、調剤報酬請求事務の基礎知識と請求方法を学び、資格取得できる。

＜具体的な目標＞
目標①処方箋の内容を理解し把握できる
目標②調剤請求が出来、レセプト作成ができる
目標③薬剤料の計算ができる

授業計画・内容	
1回目	（目標①②）医薬分業、保険調剤を理解し説明できる
2回目	（目標①②）処方箋の流れを理解し説明できる
3回目	（目標①②）調剤技術基本料の算定を理解し説明できる
4回目	（目標①②）薬学管理料の算定を理解し説明できる
5回目	（目標①②）調剤料の算定を理解し説明できる
6回目	（目標①②③）薬剤料の計算を理解し説明できる
7回目	（目標①②③）処方箋の点数算定（1）力価の計算を把握できる
8回目	（目標①②③）処方箋の点数算定（2）1剤の算定を理解し説明できる
9回目	（目標①②③）処方箋の点数算定（3）麻薬・向精神薬等の算定を理解し説明できる
10回目	（目標①②③）処方箋の点数算定（4）一包化加算の算定を理解し説明できる
11回目	（目標①②③）処方箋の点数算定（5）自家製剤加算が算定を理解し説明できる
12回目	（目標①②③）処方箋の点数算定（6）計量混合加算が算定を理解し説明できる
13回目	（目標①②③）処方箋の点数算定（7）お試し、長期投与の算定を理解し説明できる
14回目	（目標①②③）処方箋の点数算定（8）Dr指示の算定を理解し説明できる
15回目	（目標①②③）1件のレセプト作成ができ説明できる
準備学習　時間外学習	（目標①②③）毎回講義の復習、課題（宿題）が必要です。
評価方法	学期末試験（100%）で知識・技能の到達評価を行う。
受講生へのメッセージ	魅力：医療知識が身につきます。日本全国勤務地が選べます。そして勤務経験があれば再就職しやすいです。 授業計画：この授業で身につける能力を毎回講義します。体調管理に気をつけて欠席しない様にしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：調剤報酬テキスト

2023年度　授業概要

学　科：　薬業科

科目名（英）	診療報酬請求事務Ⅲ Medical ProcessorBasic Ⅲ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	岡田　一哉
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	調剤薬局コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療費の正確な算定やレセプト作成には、カルテを正確に読む力が求められるため、医学用語、医学、検査、薬理学等々、関連科目における知識の習得が必須です。これらのすべての科目が、「医療事務」に通じていることを認識して、総合的な技術のレベルアップを図ります。

実務経験：現在医療機関にて医療事務スタッフとして勤務しており、その知識と経験を通じて教育を行う。

【到達目標】

①医療機関の組織や医事課の仕事、窓口業務に必須となる医療保険制度のしくみが理解できる。
②外来および入院医療費算定における診療報酬点数表の見方や関連基礎知識が習得できる。
③外来および入院医療費算定ルール並びにレセプト（診療報酬明細書）作成技術が習得できる。
④「医療現場が求める人材」としての資質や守秘義務などについて理解できる。
⑤小テストや課題提出により、算定知識やレセプト作成技術を向上させながら、「医療秘書技能検定3級（11月実施）」取得を目指す。

授業計画・内容	
1回目	（目標②③⑤）検定試験の概要についての説明より、努力目標を定める。手術（麻酔）について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
2回目	（目標②③⑤）検査について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
3回目	（目標②③⑤）検査について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
4回目	（目標②③⑤）検査について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
5回目	（目標②③⑤）画像診断について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
6回目	（目標②③⑤）画像診断について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
7回目	（目標②③⑤）画像診断について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
8回目	（目標①～⑤）医療秘書技能検定3級検定（医療事務）対策に取り組む。
9回目	（目標②③⑤）入院について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
10回目	（目標②③⑤）入院について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
11回目	（目標②③⑤）入院について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
12回目	（目標②③⑤）自賠責、労災について、説明と簡単なレセプト作成を通して理解ができる。
13回目	（目標①～⑤）まとめの練習問題を通して、総合的な理解ができる。
14回目	（目標①～⑤）前期定期試験
15回目	（目標①～⑤）定期試験の解説、まとめ
準備学習時間外学習	●宿題を適宜指示します。 ●配布した資料、解いた問題などは、各自で工夫をして整理の事。整理状況やまとめ方を、随時確認、評価の対象とします。クリアーファイルに挟んだだけの物は、整理したとは見なさないので、注意のこと。
評価方法	●理解度の確認のための小テストを随時実施する。（25%） ●定期試験（学科及び実技）（50%） ●出席と授業態度（25%） 総合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	努力は報われるものであることを肝に銘じて、自分で問題を解き、整理をし、わからない事は放置せずに質問などではっきりカタを付ける事を習慣づけてください。

【使用教科書・教材・参考書】

診療点数早見表、レセプト作成テキストブック
保険診療基本法令テキストブック
医療秘書技能検定實問題集

2023年度　授業概要

学　科：　薬業科

科目名（英）	調剤報酬Ⅲ Dispensing Fee Billing Ⅲ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	岡田　一哉
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	15 1	開講区分	前期
コース	調剤薬局コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

国の政策でもある医薬分業に伴い、保険調剤薬局での調剤報酬について学習します。調剤報酬の正確な算定やレセプト作成には、カルテを正確に読む力が求められるため、用語、薬局での業務内容、薬および療法の種類や効果、処方箋を取り扱ううえでのルールや。報酬を算定するうえでのルール、調剤報酬を構成する管理料や加算などについて勉強し、実技としてレセプトの作成に取り組み、総合的な技術のレベルアップを図ります。

実務経験：現在医療機関にて医療事務スタッフとして勤務しており、その知識と経験を通じて教育を行う。

【到達目標】

①保険調剤薬局の仕事、窓口業務に必須となる保険制度のしくみが理解できる。
②算定におけるルールや関連基礎知識が習得できる。
③レセプト（診療報酬明細書）作成技術が習得できる。
④「現場が求める人材」としての資質や接遇、守秘義務などについて理解できる。
⑤小テストや課題提出により、算定知識やレセプト作成技術を向上させながら、「検定試験2級（7月実施予定）」取得を目指す。

授業計画・内容	
1回目	（目標①～③）調剤報酬のしくみ、薬剤関連法規、保険薬局・薬剤師、調剤録などについて、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
2回目	（目標②③⑤）処方箋を取り扱う上での注意事項、後発医薬品、薬の作用などについて、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
3回目	（目標②③⑤）薬剤料、調剤技術基本料、介護保険（居宅療養管理指導）について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
4回目	（目標②③⑤）薬学管理料、特定保険医療材料料、その他加算、レセプト記載上の注意事項について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
5回目	（目標②③⑤）レセプト作成を通して、麻薬等の取扱について理解ができる。
6回目	（目標②③⑤）レセプト作成を通して、計量混合加算について理解ができる。
7回目	（目標②③⑤）レセプト作成を通して、自家製剤加算、嚥下困難者加算について理解ができる。
8回目	（目標②③⑤）レセプト作成を通して、レセプト・処方箋が複数枚にわたる問題について理解ができる。
準備学習時間外学習	●宿題を適宜指示します。 ●配布した資料、解いた問題などは、各自で工夫をして整理の事。整理状況やまとめ方を、随時確認、評価の対象とします。クリアーファイルに挟んだだけの物は、整理したとは見なさないので、注意のこと。
評価方法	●理解度の確認のための小テストを随時実施する。（25%） ●定期試験（学科及び実技）（50%） ●出席と授業態度（25%） 総合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	努力は報われるものであることを肝に銘じて、自分で問題を解き、整理をし、わからない事は放置せずに質問などではっきりカタを付ける事を習慣づけてください。

【使用教科書・教材・参考書】

調剤報酬請求事務専門士公式テキスト
検定試験対策としての過去の問題や類似問題

2023年度　授業概要

学　科：　薬業科

科目名（英）	調剤報酬特別講座 Dispensing Fee Billing Special Course	必修選択	必修	年次	2	担当教員	岡田　一哉
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	調剤薬局コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

国の政策でもある医薬分業に伴い、保険調剤薬局での調剤報酬について学習します。調剤報酬の正確な算定やレセプト作成には、カルテを正確に読む力が求められるため、用語、薬局での業務内容、薬および療法の種類や効果、処方箋を取り扱ううえでのルールや。報酬を算定するうえでのルール、調剤報酬を構成する管理料や加算などについて勉強し、実技としてレセプトの作成に取り組み、総合的な技術のレベルアップを図ります。

実務経験：現在医療機関にて医療事務スタッフとして勤務しており、その知識と経験を通じて教育を行う。

【到達目標】

①保険調剤薬局の仕事、窓口業務に必須となる保険制度のしくみが理解できる。
②算定におけるルールや関連基礎知識が習得できる。
③レセプト（診療報酬明細書）作成技術が習得できる。
④「現場が求める人材」としての資質や接遇、守秘義務などについて理解できる。
⑤小テストや課題提出により、算定知識やレセプト作成技術を向上させながら、「検定試験2級（7月実施予定）」取得を目指す。

授業計画・内容	
1回目	（目標①～③）調剤報酬のしくみ、薬剤関連法規、保険薬局・薬剤師、調剤録などについて、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
2回目	（目標②③⑤）処方箋を取り扱う上での注意事項、後発医薬品、薬の作用などについて、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
3回目	（目標②③⑤）薬剤料、調剤技術基本料、介護保険（居宅療養管理指導）について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
4回目	（目標②③⑤）薬学管理料、特定保険医療材料料、その他加算、レセプト記載上の注意事項について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。
5回目	（目標②③⑤）レセプト作成を通して、麻薬等の取扱について理解ができる。
6回目	（目標②③⑤）レセプト作成を通して、計量混合加算について理解ができる。
7回目	（目標②③⑤）レセプト作成を通して、自家製剤加算、嚥下困難者加算について理解ができる。
8回目	（目標②③⑤）レセプト作成を通して、レセプト・処方箋が複数枚にわたる問題について理解ができる。
9回目	（目標②③⑤）レセプト作成を通して、時間外・休日・深夜加算、夜間・早朝等加算について理解ができる。
10回目	（目標②③⑤）レセプト作成を通して、一包化についての加算の取扱について理解ができる。
11回目	（目標①～⑤）検定試験2級対策に取り組む。
12回目	（目標①～⑤）検定試験2級対策に取り組む。
13回目	（目標①～⑤）検定試験2級対策に取り組む。
14回目	（目標①～⑤）検定試験2級対策に取り組む。
15回目	（目標①～⑤）前期定期試験
準備学習時間外学習	●宿題を適宜指示します。 ●配布した資料、解いた問題などは、各自で工夫をして整理の事。整理状況やまとめ方を、随時確認、評価の対象とします。クリアーファイルに挟んだだけの物は、整理したとは見なさないので、注意のこと。
評価方法	●理解度の確認のための小テストを随時実施する。（25%） ●定期試験（学科及び実技）（50%） ●出席と授業態度（25%） 総合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	努力は報われるものであることを肝に銘じて、自分で問題を解き、整理をし、わからない事は放置せずに質問などではっきりカタを付ける事を習慣づけてください。

【使用教科書・教材・参考書】

調剤報酬請求事務専門士公式テキスト
検定試験対策としての過去の問題や類似問題

2023年度 授業概要

学 科 : 薬業科

科目名（英）	医療事務特別講義 I Medical Affairs Special Lecture I	必修選択	必修	年次	2	担当教員	吉川 美代
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	15 1	開講区分	前期
コース	調剤薬局コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療関連法規・医療保険制度を学び理解し、診療報酬請求事務の仕事に活かし、また、受付・会計・カルテ管理・オペレータ業務・医療費の請求など多岐にわたる実務に対応できる能力とスキルを習得し、即戦力として活躍できる実力を身につけ実践する。

※実務経験：2011年10月～2016年9月まで、整形外科クリニックを始め4つの医療機関に勤務し窓口業務・総括指導・レセプト作成・レセプト点検・受付指導等に携わる。

【到達目標】

・法規特有の用語法を理解できる
・法規、制度を理解する
・目条文を正しく理解する
・医療秘書技能検定3級資格を取得する

	授業計画・内容
1回目	法を学ぶための基礎知識を理解できる
2回目	医療関連法規に関する基本用語を理解できる
3回目	社会保障の枠組みを理解できる
4回目	医療法について理解できる
5回目	健康保険法について理解できる
6回目	国民健康保険法について理解できる
7回目	後期高齢者医療制度について理解できる
8回目	公費負担医療制度について理解できる
準備学習時間外学習	毎回講義の復習、課題（宿題）が必要です。
評価方法	定期試験100%で成績評価します。
受講生へのメッセージ	魅力：医療知識が身につきます。日本全国勤務地が選べます。そして、勤務経験あれば再就職しやすいです。 授業計画：この授業で身につける能力を毎回講義します。体調管理に十分配慮してください。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：診療点数早見表 医学通信社

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	臨床医学Ⅱ Clinical Medicine Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	松本　澄久
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	調剤薬局					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

人体の構成、細胞から見た人体、呼吸器系、循環器系、血液系、消化・吸収系、内分泌系、腎尿路系、生殖系と人体の発生、運動器、感覚系、神経系など人体のしくみと働き、さらに、医療用語、臨床医学などを講義して、それらがわかるようになる。

実務経験：　病院・医務室で30年の臨床経験。准看護学院等で講義の実績。

到達目標

医療秘書技能検定試験の3級検定合格。

	授業計画・内容
1回目	①人体の構成、医療用語、臨床医学について説明できる
2回目	②細胞から見た人体、医療用語、臨床医学について説明できる
3回目	③呼吸系、医療用語、臨床医学について説明できる
4回目	④循環系、医療用語、臨床医学似ついて説明できる
5回目	⑤血液系、医療用語、臨床医学について説明できる
6回目	⑥消化・吸収系、医療用語、臨床医学について説明できる
7回目	確認テスト
8回目	⑦内分泌系、医療用語、臨床医学について説明できる
9回目	⑧腎尿路系、医療用語、臨床医学について説明できる
10回目	⑨生殖系と人体の発生、医療用語、臨床医学について説明できる
11回目	⑩運動器、医療用語、臨床医学について説明できる
12回目	⑪感覚系、医療用語、臨床医学について説明できる
13回目	⑫神経系、医療用語、臨床医学について説明できる
14回目	終講テスト
15回目	テスト結果発表、説明
準備学習時間外学習	
評価方法	終講テストに確認テストと出席状況を参考にして採点
受講生へのメッセージ	検定合格に向けて頑張ろう

【使用教科書・教材・参考書】

（参考書）新看護学Ⅰ　専門基礎Ⅰ　人体のしくみとはたらき（医学書院）.診療情報管理士テキスト・診療情報管理1（基礎・医学編）
新医療秘書実務シリーズ　医学用語（建帛社）
新医療秘書医学シリーズ　臨床医学Ⅰ－内科（建帛社）

２０２３年度　授業概要

学　科　：医療事務ビジネス科

科目名（英）	コンピュータ関連知識 Basic Medical Informatics	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員 実務経験	森田　道稔
コース	調剤薬局コース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	前期

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療情報システムの理解と基礎技術を資格取得レベルで習得できるようになる。

（コンピュータ基礎知識・仕組み・ネットワーク）

【到達目標】

医事コンピュータ技術検定試験第Ⅱ領域「コンピュータ関連知識」分野の3級、2級レベルの合格点を取れるようになり、その知識の説明が出来る。

授業計画・内容	
1回目	コンピュータの基礎知識①（コンピュータの情報表現①）
2回目	コンピュータの基礎知識②（コンピュータの情報表現②、コンピュータの仕組みと動作①）
3回目	コンピュータの基礎知識③（コンピュータの仕組みと動作②、ソフトウェア①）
4回目	コンピュータの基礎知識④（ソフトウェア②）
5回目	医事コンピュータ検定試験３級　検定対策①（過去問題集）
6回目	医事コンピュータ検定試験３級　検定対策②（過去問題集）
7回目	医事コンピュータ検定試験３級　検定対策③（過去問題集）
8回目	医事コンピュータ検定試験３級　検定対策④（過去問題集）
9回目	インターネットと情報活用①（ネットワークの基礎とインターネット①）
10回目	インターネットと情報活用②（ネットワークの基礎とインターネット②）
11回目	インターネットと情報活用③（情報活用の基礎①）
12回目	インターネットと情報活用④（情報活用の基礎②）
13回目	保健医療情報システムの基礎知識
14回目	前期試験
15回目	総評
準備学習 時間外学習	授業の中で過去問を解いていきます。一度解いた過去問は何度も解き直しをして下さい。
評価方法	各単元ごとのミニテスト（２０％） 定期テスト（８０％）
受講生へのメッセージ	講義と過去問を中心に行っていきます。検定試験に合格出来るように過去問の解き直しを行って下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

改訂　医事コンピュータ関連知識（医療秘書教育全国協議会　編）

2023年度　授業概要

学　科　：薬剤料2年生

科目名（英）	医事コンピュータⅠ Medical Informatics Ⅰ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	吉川　美代
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	調剤薬局					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

診療報酬請求事務の仕事は、受付・会計・カルテ管理・オペレータ業務・医療費の請求など多岐にわたる。実務に対応できる能力とスキルを習得し即戦力として活躍できる実力を身につけ実践する。

※実務経験：2011年10月～2016年9月まで、整形外科クリニックを始め4つの医療機関に勤務し窓口業務・総括指導・レセプト作成・レセプト点検・受付指導等に携わる。

【到達目標】

診療報酬請求事務の「基礎」の確認から、診療行為を漏れなく確実・迅速に入力をマスターし、正確な診療報酬明細書の入力ができる。

＜具体的な目標＞
目標①診療録の記載内容がわかる
目標②診療行為の入力ができる

授業計画・内容	
1回目	（目標①②）患者情報（患者登録）の入力ができる
2回目	（目標①②）病名登録の入力ができる
3回目	（目標①②）カルテ症例（外来）初診料・再診料の入力ができる
4回目	（目標①②）カルテ症例（外来）医学管理等の入力ができる
5回目	（目標①②）カルテ症例（外来）在宅医療の入力ができる
6回目	（目標①②）カルテ症例（外来）投薬料・注射料の入力ができる
7回目	（目標①②）カルテ症例（外来）処置料の入力ができる
8回目	（目標①②）カルテ症例（外来）手術料・麻酔料の入力ができる
9回目	（目標①②）カルテ症例（外来）検査料①検体検査の入力ができる
10回目	（目標①②）カルテ症例（外来）検査料②生体検査・病理診断の入力ができる
11回目	（目標①②）カルテ症例（外来）画像診断①X－Pの入力ができる
12回目	（目標①②）カルテ症例（外来）画像診断②CT・MRIの入力ができる
13回目	（目標①②）カルテ症例（外来）リハビリテーション、精神科専門医療、放射線治療の入力ができる
14回目	（目標①②）カルテ症例（外来）各項目コメント等の入力ができる
15回目	（目標①②）1件のレセプトが入力ができる
準備学習　時間外学習	（目標①②）毎回講義の復習、課題（宿題）が必要です。
評価方法	学期末試験（100%）で知識・技能の到達評価を行う。
受講生へのメッセージ	魅力：医療知識が身につきます。日本全国勤務地が選べます。そして勤務経験があれば再就職しやすいです。 授業計画：この授業で身につける能力を毎回講義します。体調管理に気をつけて欠席しない様にしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：診療点数早見表　医学通信社
　　カルテ例題集　ケアアンドコミュニケーション株式会社

２０２３年度　授業概要

学　科　：医療事務ビジネス科

科目名（英）	医事コンピュータ・医療事務 Medical　Informatic s /Medical Affairs	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	岡田　一哉
						実務経験	○
ｺｰｽ	調剤薬局コース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	15 1	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療機関にて医療事務スタッフとして勤務している教員が、医療機関で使用されている医事コンピュータの使用技術と保険請求の一連の流れ、それらのオペレータ業務について講義をする。また、医療業界の重要な役割を担う事の認識を高め、カルテ事例からの入力を確実に行い、正確なレセプトを作成できるよう教授する。

実務経験：現在医療機関にて医療事務スタッフとして勤務しており、その知識と経験を通じて教育を行う。

【到達目標】

①医療事務コンピュータの正しい操作ができるようになる。
②医療事務で学習した算定知識をもとに、正確で迅速な医事会計ができるようになる。
③医事コンピュータ検定試験（6月実施）の合格を目指す。

授業計画・内容	
1回目	コンピュータの取扱方法、医療機関や患者の登録、病名入力等について理解できる。
2回目	医事コンピュータ検定試験（外来・実技問題）対策として、実技問題に即して入力を行う。
3回目	医事コンピュータ検定試験（外来・実技問題）対策として、実技問題に即して入力を行う。
4回目	医事コンピュータ検定試験（外来・実技問題）対策として、実技問題に即して入力を行う。
5回目	医事コンピュータ検定試験（外来・実技問題）対策として、実技問題に即して入力を行う。
6回目	介護保険請求を入力して行う。
7回目	処方箋の入力、調剤報酬請求事務を行う。
8回目	診断書、診療情報提供書、退院時要約、傷病手当金などの主治医意見書などの入力をする。
準備学習時間外学習	●宿題を適宜指示します。 ●配布した資料、解いた問題などは、各自で工夫をして整理の事。整理状況やまとめ方を、随時確認、評価の対象とします。クリアーファイルに挟んだだけの物は、整理したとは見なさないので、注意のこと。
評価方法	●理解度の確認のための小テストを随時実施する。（25%） ●定期試験（実技中心だが、一部学科を含む）（50%） ●出席と授業態度（25%） 総合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	努力は報われるものであることを肝に銘じて、自分で問題を解き、整理をし、わからない事は放置せずに質問などではっきりカタを付ける事を習慣づけてください。

【使用教科書・教材・参考書】

医事ナビカルテ例題集
診療点数早見表

2023年度　授業概要

学　科　：薬剤料2年生

科目名（英）	医事コンピュータⅡ Medical Informatics Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	吉川　美代
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	調剤薬局					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

診療報酬請求事務の仕事は、受付・会計・カルテ管理・オペレータ業務・医療費の請求など多岐にわたる。実務に対応できる能力とスキルを習得し即戦力として活躍できる実力を身につけ実践する。

※実務経験：2011年10月～2016年9月まで、整形外科クリニックを始め4つの医療機関に勤務し窓口業務・総括指導・レセプト作成・レセプト点検・受付指導等に携わる。

【到達目標】

診療報酬請求事務の「基礎」の確認から、診療行為を漏れなく確実・迅速に入力をマスターし、正確な診療報酬明細書の入力ができる。

＜具体的な目標＞
目標①診療録の記載内容がわかる
目標②診療行為の入力ができる

授業計画・内容	
1回目	（目標①②）患者情報（患者登録）の入力ができる
2回目	（目標①②）病名登録の入力ができる
3回目	（目標①②）カルテ症例（外来）初診料・再診料の入力ができる
4回目	（目標①②）カルテ症例（外来）医学管理等の入力ができる
5回目	（目標①②）カルテ症例（外来）在宅医療の入力ができる
6回目	（目標①②）カルテ症例（外来）投薬料・注射料の入力ができる
7回目	（目標①②）カルテ症例（外来）処置料の入力ができる
8回目	（目標①②）カルテ症例（外来）手術料・麻酔料の入力ができる
9回目	（目標①②）カルテ症例（外来）検査料①検体検査の入力ができる
10回目	（目標①②）カルテ症例（外来）検査料②生体検査・病理診断の入力ができる
11回目	（目標①②）カルテ症例（外来）画像診断①X－Pの入力ができる
12回目	（目標①②）カルテ症例（外来）画像診断②CT・MRIの入力ができる
13回目	（目標①②）カルテ症例（外来）リハビリテーション、精神科専門医療、放射線治療の入力ができる
14回目	（目標①②）カルテ症例（外来）各項目コメント等の入力ができる
15回目	（目標①②）1件のレセプトが入力ができる
準備学習　時間外学習	（目標①②）毎回講義の復習、課題（宿題）が必要です。
評価方法	学期末試験（100%）で知識・技能の到達評価を行う。
受講生へのメッセージ	魅力：医療知識が身につきます。日本全国勤務地が選べます。そして勤務経験があれば再就職しやすいです。 授業計画：この授業で身につける能力を毎回講義します。体調管理に気をつけて欠席しない様にしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：診療点数早見表　医学通信社
　　カルテ例題集　ケアアンドコミュニケーション株式会社

2023年度　授業概要

学　科　：薬業科

科目名（英）	医療事務特別講義Ⅱ Medical Affairs Special Lecture Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	吉川　美代
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	15 1	開講区分	後期
コース	調剤薬局					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療関連法規・医療保険制度を学び理解し、診療報酬請求事務の仕事に活かし、また、受付・会計・カルテ管理・オペレータ業務・医療費の請求など多岐にわたる実務に対応できる能力とスキルを習得し、即戦力として活躍できる実力を身につけ実践する。

※実務経験：2011年10月～2016年9月まで、整形外科クリニックを始め4つの医療機関に勤務し窓口業務・総括指導・レセプト作成・レセプト点検・受付指導等に携わる。

【到達目標】

・法規特有の用語法を理解できる
・法規、制度を理解する
・目条文を正しく理解する
・医療秘書技能検定3級資格を取得する

	授業計画・内容
1回目	労災保険制度・自動車損害賠償責任保険法について理解できる
2回目	保険外併用療養費について理解できる
3回目	保健医療機関及び保険医療療養担当規則について理解できる
4回目	保健医療機関及び保険医療療養担当規則について理解できる
5回目	検定対策（毎回学習した内容を練習問題で理解し把握する）
6回目	検定対策（毎回学習した内容を練習問題で理解し把握する）
7回目	試験
8回目	試験のフィードバック、苦手問題を理解し把握する
準備学習時間外学習	毎回講義の復習、課題（宿題）が必要です。
評価方法	定期試験100％で成績評価します。
受講生へのメッセージ	魅力：医療知識が身につきます。日本全国勤務地が選べます。そして、勤務経験あれば再就職しやすいです。 授業計画：この授業で身につける能力を毎回講義します。体調管理に十分配慮してください。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：診療点数早見表　医学通信社